アルクの日本語テキスト●ALC Press Japanese Textbook Series

新傾向対応

合格できる!

1級日本語能力試験対策
模擬テスト2回分つき

You Can Pass It!
Preparing for the Japanese Language Proficiency Test

Wit… …valent
of T… …e Tests

石崎… …井江ミサ子

アルク

アルクの日本語テキスト●ALC Press Japanese Textbook Series

合格できる！

新傾向対応

1級日本語能力試験対策
模擬テスト2回分つき

You Can Pass It!
Preparing for the Japanese Language Proficiency Test Level One
With the Equivalent of Two Practice Tests

石崎晶子／古市由美子／井江ミサ子

アルク

目　次

日本語能力試験

合格への準備と対策

◆出題の傾向と分析

◆解き方のポイント

はじめに

「日本語能力試験」は、日本語を母語としない人たちの、日本語の力を測り、認定するためにできた試験です。1984年に第1回が行われ、以来毎年1回世界各地で実施されています。1998年には、34の国と地域の、84都市で、約13万人が受験しました。1級と2級は留学生の大学入学選考にも用いられています。このように「日本語能力試験」は日本語の力を測る各種の試験の中でも、特に重要な位置を占めるものです。

「日本語能力試験」1級の認定基準は、「高度な文法・漢字（2,000字程度）・語彙（10,000語程度）を習得し、社会生活をする上で必要であるとともに、大学における学習·研究の基礎としても役立つような、総合的な日本語能力」と規定されています。漢字2,000字というと、新聞や雑誌などで用いられている漢字とほぼ同数です。語彙は成人の母語話者の語彙量が約50,000語と言われますから、日常的な話題にはほぼ対応できる語彙量と考えていいでしょう。試験という形で、力が測られるとき、漠然と分かっているというレベルでは、十分に力を発揮することはできません。自分の知識を整理し、弱点を補い、試験のやりかたに慣れておくことが必要です。

この本の前半は、過去の出題形式に合わせた解説です。問題ごとに、どのような勉強が必要か、問題を解くときどのような注意が必要かなど、実践的な学習のためのヒントとなるものです。解説の部分は、これから学習を進める人たちが勉強しやすいように、2級レベル以上の漢字・語彙にはふりがなをつけました。後半は、実際の試験と同じ形式の模擬試験になっていますので、時間配分の通りに行えば、今の時点での能力を知る手がかりになるはずです。

「日本語能力試験」は、1年に1回です。本番で、やり方に慣れていなかったために、実力が発揮できなかったということがないよう、十分な準備をしておくことが必要です。

この本が、学習者のみなさんのお役に立つことを願っています。

1999年10月

著　者

文字・語彙

文字・語彙の問題は、問題Ⅰから問題Ⅵまであります。それぞれ、次のような内容の問題になっています。

漢字
- 問題Ⅰ　漢字の正しい読み方を選ぶ。（約15問）
- 問題Ⅱ　ひらがなで書くと同じになる語を選ぶ。（約５問）
- 問題Ⅲ　正しい書き方の漢字を選ぶ。（約15問）
- 問題Ⅳ　同じ漢字を使う語を選ぶ。（約５問）

語彙
- 問題Ⅴ　文の中に入る適切な語を選ぶ。（約15問）
- 問題Ⅵ　多義語（複数の意味を持つ語）の問題 —— 同じ意味で使われている文を選ぶ。（約10問）

文字・語彙の問題では、正確な知識とそれを使い分ける力が求められます。このような力を養うには、毎日の積み重ねが大切です。例えば、辞書を引くとき、必要な部分だけ見て満足していませんか。ついでにちょっとその前後を見ると、いろいろな情報が得られるはずです。どのような点に注意して勉強すればよいか、それぞれの問題について詳しく見ていきましょう。

問題Ⅰ〈漢字の読み方〉

例

英雄の生涯(1)を描いた(2)物語は、…

（１）生涯	1　しょがい	2　しょうがい	3　しょかい	4　しょうかい
（２）描いた	1　ひびいた	2　みちびいた	3　かいた	4　えがいた

例の（１）は、漢字の正確な読み方を問う問題です。このような問題では、次のような点に注意する必要があります。

◇長音か、長音でないか。　例：後悔　○こうかい　×こかい
◇濁音（゛）か、濁音でないか。　例：郊外　○こうがい　×こうかい
◇促音（っ）が入るか、入らないか。　例：国会　○こっかい　×こかい
◇撥音（ん）が入るか、入らないか。　例：今回　○こんかい　×こかい

「後悔、郊外、国会、今回」のように似た読み方の語もたくさんありますから、正確に覚えることが大切です。

どのぐらい正確に覚えているか、試してみましょう。

正解　問題Ⅰ　例（1）—2、（2）—4

文字・語彙

文字・語彙の問題は、問題Ⅰから問題Ⅵまであります。それぞれ、次のような内容の問題になっています。

漢字
- 問題Ⅰ　漢字の正しい読み方を選ぶ。（約15問）
- 問題Ⅱ　ひらがなで書くと同じになる語を選ぶ。（約５問）
- 問題Ⅲ　正しい書き方の漢字を選ぶ。（約15問）
- 問題Ⅳ　同じ漢字を使う語を選ぶ。（約５問）

語彙
- 問題Ⅴ　文の中に入る適切な語を選ぶ。（約15問）
- 問題Ⅵ　多義語（複数の意味を持つ語）の問題 —— 同じ意味で使われている文を選ぶ。（約10問）

文字・語彙の問題では、正確な知識とそれを使い分ける力が求められます。このような力を養うには、毎日の積み重ねが大切です。例えば、辞書を引くとき、必要な部分だけ見て満足していませんか。ついでにちょっとその前後を見ると、いろいろな情報が得られるはずです。どのような点に注意して勉強すればよいか、それぞれの問題について詳しく見ていきましょう。

問題Ⅰ〈漢字の読み方〉

例

英雄の<u>生涯</u>(1)を<u>描いた</u>(2)物語は、…

（１）生涯	1	しょがい	2	しょうがい	3	しょかい	4	しょうかい
（２）描いた	1	ひびいた	2	みちびいた	3	かいた	4	えがいた

例の（１）は、漢字の正確な読み方を問う問題です。このような問題では、次のような点に注意する必要があります。

◇長音か、長音でないか。　例：後悔　○こうかい　×こかい
◇濁音（゛）か、濁音でないか。　例：郊外　○こうがい　×こうかい
◇促音（っ）が入るか、入らないか。　例：国会　○こっかい　×こかい
◇撥音（ん）が入るか、入らないか。　例：今回　○こんかい　×こかい

「後悔、郊外、国会、今回」のように似た読み方の語もたくさんありますから、正確に覚えることが大切です。

どのぐらい正確に覚えているか、試してみましょう。

正解　問題Ⅰ　例（1）—2、（2）—4

ちょっと練習1　次の言葉は、どのように読みますか。答えは38ページにあります。

1	a 報道	b 暴動	c 冒頭	d 歩道	4	a 収容	b 受容	c 主要	d 重要
2	a 国境	b 故郷	c 公共	d 工業	5	a 用心	b 要旨	c 用事	d 四時
3	a 辛抱	b 進歩	c 司法	d 志望	6	a 所持	b 助詞	c 上司	d 障子

どのぐらいできましたか。日常生活では「なんとなく知っている」つもりになっていることが多いですが、試験では正確さが要求されます。

例の（2）は、漢字の訓読みの問題です。「行った（いった、おこなった）」のように、訓読みが2つ以上ある漢字もあります。文の意味に合った読みを選ぶことが大切です。また、次のようなものもよく出題されます。

◇2つ以上の音読みのある漢字の読み方。　　例：荷物　○にもつ　　×にぶつ
◇音読みと訓読みの区別。　　例：品物　○しなもの　×しなぶつ

これらは、漢字を見て意味が分かっても、語彙の知識がないと正しく答えられません。漢字と語彙をあわせて勉強するようにしましょう。

ちょっと練習2　次の言葉は、どう読みますか。答えは38ページにあります。

1	a 遺産	b 遺言	6	a 長生き	b 生意気	11	a 速い	b 速やか
2	a 体操	b 体裁	7	a 船便	b 小船	12	a 焦る	b 焦げる
3	a 興味	b 復興	8	a 家出	b 家主	13	a 怠ける	b 怠る
4	a 親切	b 一切	9	a 笑顔	b 笑い声	14	a 触れる	b 触る
5	a 反省	b 省略	10	a 納得	b 心得	15	a 厳か	b 厳しい

問題Ⅱ〈ひらがなで書くと同じになる語〉

例
下線をつけた言葉は、ひらがなでどう書きますか。同じひらがなで書く言葉を選びなさい。
やってしまってから、<u>後悔</u>しても遅い。
1　郊外　　2　公開　　3　効果　　4　交換

選択肢には、似た読み方の語が出ますから、問題Ⅰと同様に正確な読み方を知っていることが大切です。辞書を引くとき、その前後を見ると、

こうか　【効果】目的通
こうかい【公開】一般の
こうかい【後悔】後にな
こうがい【郊外】都会の
こうかん【交換】取り替

正解　問題Ⅱ　例—2

のように、同じ読み方の語、よく似た読み方の語が並んでいることがあります。そういう語を見つけたらチェックしておきましょう。

12～13ページにひらがなで書くと同じになる語のチェックリストを載せました。そちらも参考にしてください。

問題Ⅲ〈漢字の書き方〉

例

雑誌にけいさい(1)されたこの小説を読んだとき、心をゆさぶられ(2)・・・

(1) けいさい	1 掲載	2 揚載	3 掲栽	4 揚栽
(2) ゆさぶられ	1 震さぶられ		2 振さぶられ	
	3 揺さぶられ		4 翻さぶられ	

例の（1）は、「掲」と「揚」のように形の似た漢字を区別できるか、「載（さい）」と「栽（さい）」のように音読みが同じ漢字が使い分けられるかがポイントになっています。漢字には、「郊、効、校、絞」の「交（こう）」のように文字の一部が音を表すものがあります。これらは、形も音もよく似ていますから、特に注意が必要です。

ちょっと練習3　＿＿に入るのはどの字ですか。答えは38ページにあります。

	a	b	c	d	
1	＿迎（かんげい）	＿客（かんきゃく）	＿誘（かんゆう）	＿利（けんり）	（勧　歓　観　権）
2	＿長（ぎちょう）	＿牲（ぎせい）	意＿（いぎ）	＿式（ぎしき）	（犠　議　儀　義）
3	＿査（けんさ）	試＿（しけん）	保＿（ほけん）	＿約（けんやく）	（検　険　倹　験）
4	＿密（せいみつ）	＿潔（せいけつ）	＿止（せいし）	＿求（せいきゅう）	（静　精　清　請）
5	＿止（ぼうし）	寝＿（ねぼう）	＿害（ぼうがい）	脂＿（しぼう）	（防　妨　肪　坊）

例の（2）は、意味が似ている漢字の使い分けを問うものです。「揺」「振」「震」「翻」はいずれもものの動きを表しますが、「振」は「ふる（振る）」、「震」は「ふるえる（震える）」、「翻」は「ひるがえる（翻る）」と読みます。また、「合う」「会う」のように読み方は同じでも、意味によって使い分けが必要な漢字もあります。

ちょっと練習4　下線の言葉は、どのような漢字を書きますか。答えは38ページにあります。

1　a 夜がふける。　　b 若いのにふけて見える。
2　a 問題がとけた。　　b 氷がとけた。
3　a 荷物を車につむ。　　b 花をつむ。
4　a 人の失敗をせめる。　　b 敵をせめる。
5　a 飛行機にのる。　　b 記事が新聞にのる。

正解　問題Ⅲ　例（1）—1、（2）—3

問題Ⅳ〈同じ漢字を使う語〉

例

> 二重線（＿＿）の部分はどのような漢字を書きますか。同じ漢字を使うものを選びなさい。
>
> この野菜はえいようが豊富だ。
>
> 1　えいえんとも思えるぐらい時間が長く感じられた。
>
> 2　この店のえいぎょう時間は９時から６時までです。
>
> 3　台風のえいきょうで電車が遅れている。
>
> 4　この町は12世紀に交通の要所としてはんえいした。

上の例では、「栄養」「永遠」「営業」「影響」「繁栄」となります。同じ音読みを持つ漢字はたくさんあります。１字１字ではなく、熟語で覚えておくことが必要です。

ちょっと練習5　１つ間違っています。どれでしょう？　答えは38ページにあります。

1　a 結果（けっか）　b 結論（けつろん）　c 結算（けっさん）　d 結束（けっそく）

2　a 質素（しっそ）　b 酸素（さんそ）　c 素末（そまつ）　d 素材（そざい）

3　a 評価（ひょうか）　b 批評（ひひょう）　c 評判（ひょうばん）　d 評識（ひょうしき）

4　a 指摘（してき）　b 指防（しぼう）　c 指導（しどう）　d 指示（しじ）

5　a 複習（ふくしゅう）　b 複雑（ふくざつ）　c 複合（ふくごう）　d 重複（ちょうふく）

6　a 設計（せっけい）　b 設置（せっち）　c 施設（しせつ）　d 設触（せっしょく）

問題Ⅴ〈適切な語を選ぶ〉

例

> 近くに人がいると、気が＿＿＿集中できない。
>
> 1　ちって　　2　みだれて　　3　しずんで　　4　とんで

上の例は、「気がちる」で１つの慣用的な表現になっています。このような慣用表現には、「口が堅い（秘密を守れる）」「頭に来る（怒る）」「舌を巻く（感心する）」など、体の部分に関するものが多くあります。慣用表現は、１語１語が分かっても、意味が分からないものがあります。こういう表現に出会ったら、辞書などで確認しておきましょう。

このほか、よく出題されるものを挙げると、

◇意味の似た言葉の使い分け。

例：この練習は＿＿＿がなかった。　○効果　×成果　×効力

◇音の似た言葉の使い分け。

例：会議で反対を＿＿＿。　○となえた　×とがめた　×とだえた

◇副詞の使い方。

例：４月だというのに＿＿＿冬のようだ。　○まるで　×すっかり　×むしろ

◇外来語の使い方。

例：荷物はホテルの＿＿＿に預けてください。○フロント　×スタジオ　×ホール

正解　問題Ⅳ　例―4　問題Ⅴ　例―1

学習者の中には外来語が苦手だという人が多いようです。外来語は英語からできたものが多いですが、英語と発音や意味が変わっている場合があります。13～15ページに外来語のチェックリストを載せました。自分がどのくらい知っているかチェックしてみてください。

問題Ⅵ〈多義語（複数の意味を持つ言葉）〉

例

はじめの文と最も近い意味で使われているのはどれか。

ひ……ひに何度も間違い電話がかかる。

1　秋になると、急にひが短くなる。
2　冬は部屋の奥までひが差し込む。
3　ひが沈むと、急に寒くなった。
4　雨のひはなんとなく憂鬱だ。

言葉には複数の意味を持つものがたくさんあります。例の「ひ（日）」もそうした言葉の一つです。「日」には、「太陽」「太陽の熱や光」「昼間」「１日」などの意味があります。

どれが同じ意味で使われているかを判断するには、ほかの言い方に置き換えてみるといいでしょう。上の例の「日に何度も間違い電話がかかる」は「１日に何度も間違い電話がかかる」と言い換えることができます。同様に、１～４は次のように言い換えることが可能です。

1　秋になると、急に昼間の時間が短くなる。
2　冬は部屋の奥まで太陽の光が差し込む。
3　太陽が沈むと、急に寒くなった。
4　雨の１日はなんとなく憂鬱だ。

４は文としてはちょっと不自然ですが、例と同じ「１日」という意味で使われていることがはっきりします。辞書を引いていて、複数の意味が並んでいる言葉を見つけたら、どのような使い方があるか、どのような言い換えが可能かチェックしておきましょう。

ちょっと練習６　ほかの言葉で言い換えてみましょう。解答例は38ページにあります。

1　a 山田さんに手紙をだした。　b かばんからさいふをだした。
2　a コップをわってしまった。　b ウィスキーを水でわる。
3　a この町はあたらしい建物が多い。　b あたらしい上司は話のわかる人だ。
4　a ネクタイをとってのんびりする。　b 泥棒にさいふをとられた。
5　a あかるいから、電気を消しましょう。　b 彼はあかるく、楽しい人だ。

チェックリスト

□は知っている語と知らない語を区別するためのチェック欄です。
知っている語には ✓ をつけましょう。知らない語は辞書などで調べておきましょう。

1　ひらがなで書くと同じになる語

□いいん　委員 医院
□いこう　以降 意向 移行
□いし　医師 意志
□いじ　意地 維持
□いじょう　異常 以上
□いぜん　以前 依然
□いど　井戸 緯度
□いらい　以来 依頼
□いりょう　医療 衣料
□えんしゅう　円周 演習
□かいしゅう　改修 回収
□かいせい　快晴 改正
□かいそう　回送 階層
□かいだん　会談 階段
□がいとう　街頭 該当
□かいほう　介抱 開放 解放
□かくしん　革新 確信
□かこう　加工 下降 火口
□かせん　化繊 下線 河川
□かっき　活気 画期
□がっき　学期 楽器
□かてい　課程 過程 家庭 仮定
□かんかく　間隔 感覚
□かんご　漢語 看護
□かんこう　刊行 観光 慣行
□かんしゅう　観衆 慣習
□かんしょう　鑑賞 干渉
□かんじょう　感情 勘定
□かんせい　歓声 完成
□かんせん　幹線 感染
□かんそう　乾燥 感想
□かんよう　慣用 寛容
□かんりょう　官僚 完了
□きかく　規格 企画
□きかん　機関 季刊 器官 期間
□きけん　危険 棄権
□きげん　起源 機嫌 期限
□きこう　機構 気候
□きじ　記事 生地
□きしゃ　記者 汽車
□きしょう　気象 起床
□きたい　気体 期待
□きゅうこう　休講 急行
□きゅうそく　休息 急速
□きゅうりょう　給料 丘陵
□きょうか　教科 強化
□きょうかい　協会 教会 境界
□きょうぎ　協議 競技
□きょうじゅ　教授 享受
□きょうしゅう　郷愁 教習
□きんこう　均衡 近郊
□きんし　禁止 近視
□けいい　経緯 敬意
□けいかい　警戒 軽快
□けいき　契機 景気 計器
□けいじ　刑事 掲示
□けいたい　形態 携帯
□けっかん　欠陥 血管
□けっこう　結構 決行
□けっしょう　決勝 結晶
□げんこう　原稿 現行
□げんしょう　現象 減少
□げんてん　原点 原典 減点
□けんとう　検討 見当
□けんめい　懸命 賢明
□こうい　好意 行為
□こうえん　講演 公演 公園
□こうか　効果 硬貨 高価
□こうかい　航海 後悔 公開
□こうがい　公害 郊外
□こうぎ　講義 抗議
□こうきょう　公共 好況
□こうこう　高校 孝行
□こうしゃ　後者 校舎
□こうしゅう　公衆 講習
□こうしょう　交渉 高尚
□こうじょう　向上 工場
□こうせい　公正 構成
□こうそう　構想 高層 抗争
□こうそく　拘束 高速
□こうたい　交替 後退
□こうてい　肯定 校庭
□こうとう　口頭 高等
□こうどう　行動 講堂
□こうはい　後輩 荒廃
□こうひょう　公表 好評
□こうふく　降伏 幸福
□こうよう　紅葉 公用
□こうりつ　効率 公立
□さいきん　最近 細菌
□さいさん　採算 再三
□さいしゅう　最終 採集
□さんか　参加 酸化
□さんせい　賛成 酸性
□しかく　資格 四角 視覚
□しき　指揮 四季
□じき　時期 磁気 磁器
□しきゅう　至急 支給
□じこ　事故 自己

□ガイド
□ガイドブック
□カクテル
□カット
□カップ
□カテゴリー
□カムバック
□カメラマン
□カルテ
□カレー
□ガレージ
□カンニング
□キャッチ
□キャリア
□クイズ
□グレー
□クレーン
□ケース（場合・状況）
□コーナー
□コマーシャル
□コメント
□コンタクト（レンズ）
□コンテスト
□コントラスト
□コントロール
□コンパス
□サイクル
□サイズ
□サンキュー
□サンタクロース
□シート
□ジーパン
□システム
□シック
□シナリオ
□ジャズ
□ジャンパー
□ジャンプ
□ジャンボ
□ジャンル
□ショー
□ショック
□スタジオ
□スチーム
□ストライキ／スト
□ストレス
□ストロー
□ストロボ
□スプリング
□スペース
□スポーツカー
□スラックス
□セール
□セクション
□セックス
□ゼリー
□セレモニー
□センス
□ソース
□ソックス
□ソフト
□ソロ
□ダース
□タイトル
□タイピスト
□タイマー
□タイミング
□タイム
□タイムリー
□タイル
□ダウン
□ダブル
□タレント
□タワー
□ダンプ
□チームワーク
□チェンジ
□チャイム
□チャンネル
□ティッシュペーパー
□データ
□デザイン
□デコレーション
□デザート
□デッサン
□デモンストレーション
□テレックス
□トーン
□ドライ
□ドライクリーニング
□ドライバー
□ドライブイン
□トラブル
□トランジスター
□ドリル
□ナイター
□ナプキン
□ナンセンス
□ニュアンス
□ニュー
□ノイローゼ
□バー
□パート
□パジャマ
□バス（風呂）
□バッジ
□バッテリー
□バット
□パトカー
□パパ
□ハンガー
□パンク
□ビールス
□ビジネス
□ヒント
□ファイト
□ファイル
□ファン
□フィルター
□ブーツ

□ブーム
□フェリー
□ブザー
□フロント
□ペア
□ベース
□ベスト
□ベストセラー
□ボイコット
□ポイント
□ホース
□ポーズ
□ホール
□ポジション
□ポット
□ボルト
□ポンプ
□マーク

□マイクロホン
□マスコミ
□マッサージ
□ミス（Miss）
□ミスプリント
□ミセス
□ミュージック
□ムード
□メーカー
□メッセージ
□メディア
□メロディー
□モーテル
□モニター
□ヤング
□ユニーク
□ユニフォーム
□ライス

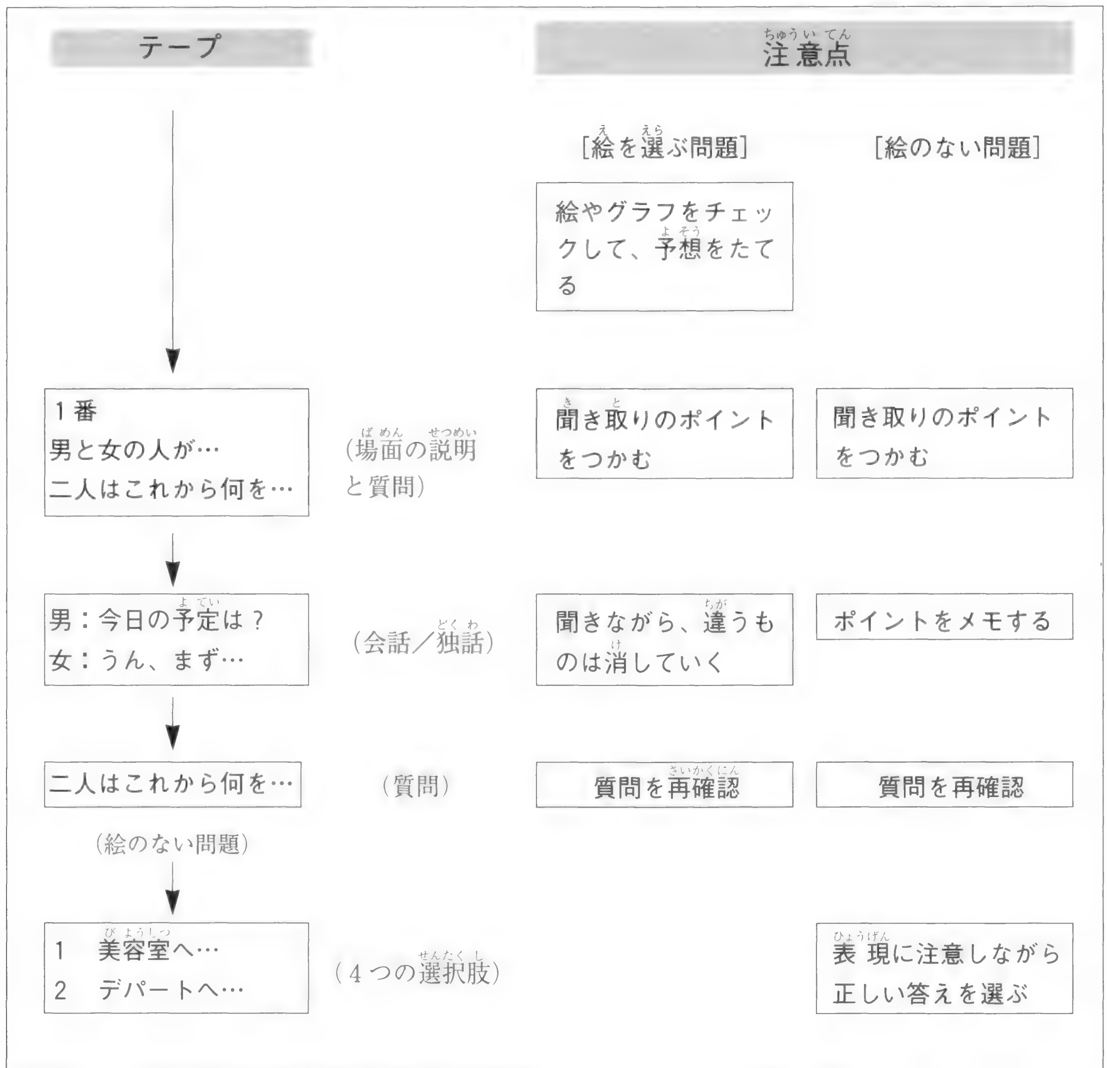
□ラベル
□ランプ
□リード
□ルーズ
□ルール
□レース
□レギュラー
□レッスン
□レディー
□レバー
□レンジ
□レンタカー
□レントゲン
□ロープウェイ
□ロープ
□ロマンチック
□ワット

聴　解

聴解の問題は問題Ⅰと問題Ⅱがあります。それぞれ、次のような内容の問題になっています。

問題Ⅰ　　話の内容に合った絵を選ぶ。（10～15問）
問題Ⅱ　　話を聞いた後で、４つの選択肢から正しいものを選ぶ。（12～17問）

聴解試験は見直したり、考えたりする時間があまりありません。試験の形式に慣れることが大切です。試験の流れを見てみましょう。



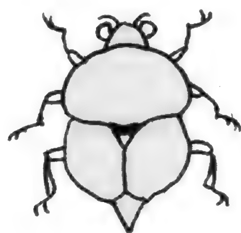
次に、よく出題される問題の形式を見ていきましょう。

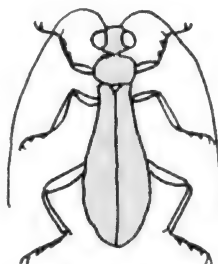
1　絵の説明

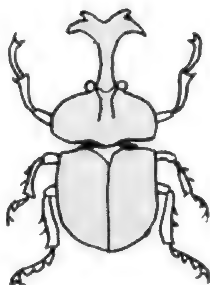
解答用紙の４枚の絵を見て、正しい絵を選びます。

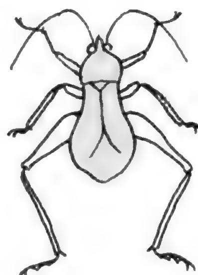
このタイプの問題では、動物や植物の形、ポスターや絵画、服装や人の顔などの具体的なものや、図形のような抽象的なものも取り上げられます。

例１

1


2


3


4


お父さんと子供が話しています。二人の話している虫はどれですか。

子：お父さん、これ、なんていう虫？
父：どれどれ…　ええと、図鑑で調べてみよう。
子：緑色で、ころっとして、お尻がとんがってるよ。
父：角はどうだ？
子：かぶと虫みたいな、かっこいい角があればよかったのになぁ。
父：そうか、残念だな。
子：足はみんな細くて短い。
父：羽は？
子：わかんない。でも、触っても飛ばないよ。
父：そうか。多分、これだな。

二人の話している虫はどれですか。

まず、絵を見て、どこが違うか、すばやくチェックします。この問題では、角があるかないか、体の形が丸いか細長いか、足の形はどうかなどがチェックポイントです。

次に、質問をよく聞いて、どんな場面か想像しましょう。家族の会話ならくだけた言葉遣いになります。お店の人や、会社での話なら、敬語を使うかもしれません。

この問題では、「お父さんと子供」が「虫」を見ながら話しています。質問は「二人の話している虫はどれか」ですから、絵を見てチェックした角や体の形を表現する言葉に集中して問題を聞きます。

問題を聞きながら、当てはまらない絵はどんどん消していきます。この問題では、「ころっとして」「お尻がとがっている」で、2が消えます。「角があればよかったのに」で角のないことがわかりますから、3が消えます。「足はみんな細くて短い」で、4が消えます。ですから、正しい答えは1になります。

このタイプの問題では同じような絵の「どこが違うか」を見つけて、それを言葉でどう表現するかという練習が必要です。

2　位置の説明

地図で道順を説明したり、物の置いてある場所を説明したりする問題です。

例2



男の人と女の人が星を見ながら話しています。二人が見ている星はどれですか。

女：ね、あの赤い星、なんていうのかな。
男：どれ。
女：ほら、あの一番高い木の上、ずうっと上がって。
男：うん。
女：3つ、小さい星が並んでるでしょ。
男：うん、三角形に。
女：そう。その右の角から、もう少し右を見て。教会の屋根とのちょうど中間ぐらい。
男：あ、あの赤い星。名前、わかんないなあ。

二人が見ている星はどれですか。

解答用紙の1枚の絵の中に1、2、3、4が書かれています。その中から正しい位置を選びます。

まず、絵を見て、絵の中に何が描かれているかチェックします。この問題ですと、木、教会、星などです。これらが位置を説明する目印になります。

ちょっと練習7　どの星ですか。答えは38ページにあります。

1　一番高い木と教会の屋根のてっぺんを結ぶ線のちょうど真ん中にある星です。

2　三角形の左下の星と右の星を結んだ線を右の方に延ばしたところにある星です。

3　三角形の上の星と右の星を結ぶ線と、一番低い木と一番高い木のてっぺんを結ぶ線の交わるところにある星です。

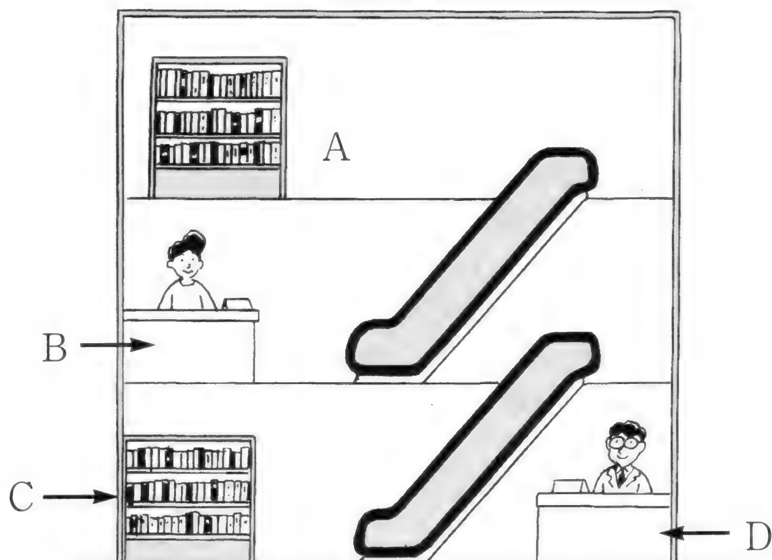
地図の問題ですと、「まっすぐ、～の角をまがる、～の向かい、～の先、～の手前」などのよく使う表現はもちろん、「つきあたり、～を出て～、～を背にして～」などの言い方も正しく聞き取れるようにしておきましょう。

3　順番

このタイプの問題には絵を順番に並べたものと、1枚の絵の中のA、B、C、DをA→Bで表したものがあります。順番の問題は予想がつきません。聞きながらメモをとるようにしましょう。

正解　例2－2

例3



1　B→A→D
2　B→C→A
3　D→A→B
4　D→C→A

女の人が本を探しています。女の人は、今どこにいて、これからどの順番でまわりますか。

女：すみません。
男：いらっしゃいませ。
女：あのう、日本語の辞書を探しているんですが。
男：国語辞典は３階でございます。
女：いいえ。あのう、外国人の友だちが使うんで、中国語と日本語の…。
男：あ、それでしたら、日本語のテキスト売り場になります。そのエスカレーターの向こうですが。
女：あそこですか。さっき、ちょっと見たんですけどあまり種類がないんですねえ。
男：申し訳ございません。今少し品薄でして…。もし、お決まりの辞書がございましたら、この上の階のカウンターで予約をうけたまわっておりますが。
女：そう…。じゃあ、予約するしかないかしらね。
男：ちょっとお待ちください。（紙を繰る音）あ、申し訳ございません。３階の辞書売り場にも一部置いてあるようですね。
女：そうですか。じゃ、先にそこを見て、なかったら、予約します。どうも。

女の人は、今どこにいて、これからどの順番でまわりますか。

正解　例３—３

順番の問題には、答に直接関係のない不必要な情報も入っています。聞き取れないところがあっても、大切な情報は言い直したり、聞き返したりしますので、あきらめないでとにかく流れをつかみましょう。

この問題の質問は「女の人は、今どこにいて、これからどの順番でまわりますか」ですから、「さっき見た」という過去の情報は無視します。

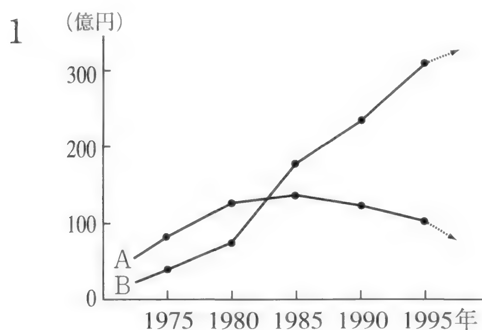
女の人が今いるところは、「エスカレーターの向こうに売り場のある」ところで、「上の階にカウンターがある」ところですから、Dです。

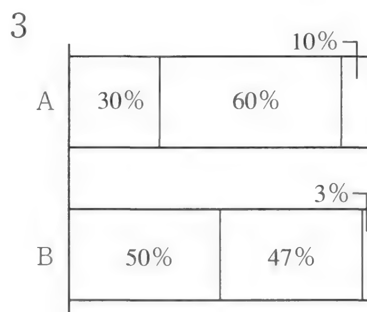
また、このタイプの問題では、途中で新しい情報が入ったり、気が変わったりして順番を変えることがよくあります。「先に／～の前に／まず」などのキーワードを正しく聞き取ることも大切です。

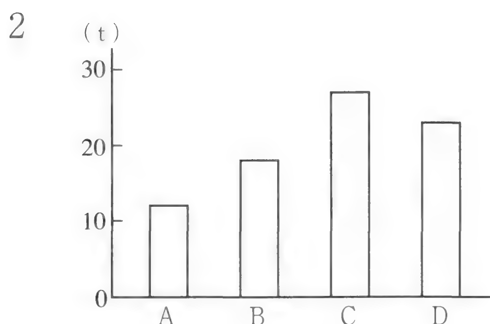
4　グラフ

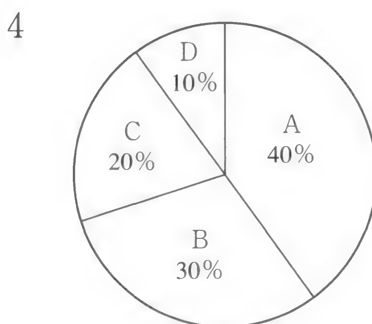
グラフの問題は毎年必ず出題されます。読解問題にも必ずグラフ問題が出ますので、グラフの見方、変化や割合の言い方はしっかり準備をしておきましょう。

グラフには、次のようなものがあります。









1は変化、2は量の比較、3、4は割合を表します。また、3、4を2つ並べて、割合の変化を表すこともあります。

ちょっと練習8　どのグラフのことですか。答えは38ページにあります。

1　Aが全体の4割を占めているが、Dは1割にすぎない。

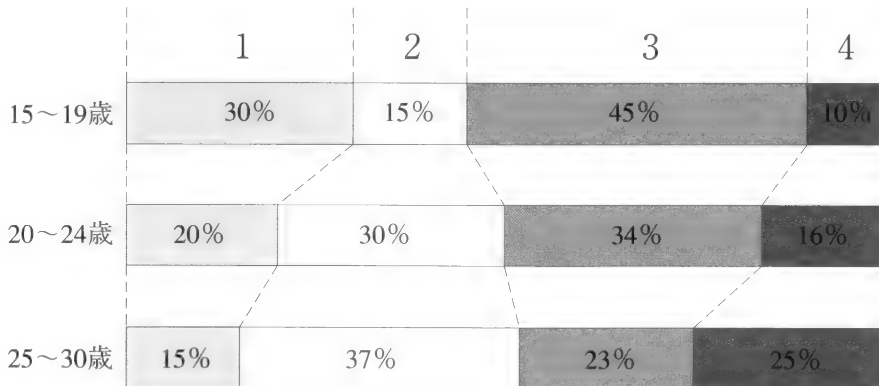
2　生産量はCが27トンで最も多く、次いでDが23トンにのぼっている。

3　余暇を自宅で過ごす人はAでは30%にすぎないが、Bでは半数におよんでいる。

4　Bは1983年にAを上回り、今後も増加していくと思われる。

グラフの形から、変化か比較か割合かをすばやく判断し、表現の予測をたてて、問題を聞きましょう。

例4



生活研究所の研究員がサラリーマンの最初のボーナスの使い道に関する調査結果を報告しています。親へのプレゼントの割合を示しているのは何番ですか。

ええ、では、会社員270名に実施したアンケート結果を報告いたします。今回の調査は15歳から30歳までの社員を対象に行いました。その結果、年齢の高い層ほど、レジャー資金が多く、年齢の低い層ほど、貯蓄、親へのプレゼントが多いことがわかりました。20歳から24歳になると貯蓄はいぜんとして、最も高い割合を占めていますが、親へのプレゼントは3位になっています。

親へのプレゼントの割合を示しているのは何番ですか。

グラフを見ると、1と3は年齢が高くなるほど割合が減っていて、2と4は年齢が高くなるほど増えていることがわかります。また、それぞれの年齢で一番割合の多いもの、一番割合の少ないものもチェックしておきましょう。

質問は「親へのプレゼント」が何番かです。「年齢の高い層ほど、レジャー資金が多く」で2と4は関係ないことがわかります。「年齢の低い層ほど、貯蓄、親へのプレゼントが多い」で1と3のどちらかになります。

正解　例4－1

次に20～24歳のグラフに注目します。「貯蓄はいぜんとして、最も高い割合を占めています」なので、3が貯蓄です。「親へのプレゼントは3位」なので、正解は1になります。

もし、全部わからなくても、「貯蓄はいぜんとして、最も高い割合を占めています」か「親へのプレゼントは3位」のどちらかが聞き取れれば、正解はわかりますからあわてないでください。

日ごろから新聞などのグラフを見て、言葉に置き換えてみる練習をしておくといいでしょう。

5　ひっくり返し

二人が話し合って、1つの結論を出します。会話の中にはいろいろな選択肢が出てきますが、最後に「やっぱり、～だ」と初めのほうの選択肢にもどります。

これは絵のある問題、絵のない問題の両方で、よく使われるパターンです。

例5

男の人と女の人が話しています。二人は何をプレゼントしますか。

女：ねえ、やす子さんの入学祝いのことだけど…。何がいいかな。
男：そうだな…。実用的なとこで、デパートの商品券。
女：それじゃあ記念にならないわ。ありきたりだけど、時計は？
男：時計？　そんなもん、今の子なら2つや3つもってるよ。
女：じゃあ、アクセサリーは？
男：若い子の好みなんてわからないよ。それに、大学に入ったって、そこで何を勉強して、卒業してから何をするかってことのほうが大事だろう。
女：そりゃそうだけど…。
男：記念品は卒業のときでいいさ。やっぱり今は新しい生活に必要なものを自分で選んでもらったほうがいいと思うよ。
女：そうねえ。

二人は何をプレゼントしますか。

1　商品券です
2　時計です
3　アクセサリーです
4　電気製品です

この問題では、

商品券：だめ → 時計：だめ → アクセサリー：だめ → やっぱり、商品券

となっています。反対に、

正解　例5―1

商品券：いい → 時計：いい → アクセサリー：いい → 一番いいのは商品券

というパターンもあります。

どちらにしても、商品券、時計などの品物の名前や「実用的」「記念」などのキーワードをできるだけメモしていきます。最後に「やっぱり、結局、それなら」などで、結論になります。

6　論説

どんな意見が述べられているか、聞き取る問題です。

例6

女の人がどうすれば子どもの数が増えるかについて話しています。女の人はどんなことが一番大切だと思っていますか。

最近、一人の女性が一生の間に産む子どもの数が減り続けています。自治体では保育所を増やしたり、税金を優遇するなどして、女性を支援しています。確かに、保育所は必要です。税金を安くすることも大切です。しかし、なにより大切なのは、父親がゆとりある生活をすることなのではないでしょうか。男性が5時に仕事を終えて帰ることができれば、保育所を新しく作る必要はないかもしれません。男性が家事や育児を楽しむ、これが自然に子どもの数を増やす社会なのだと思います。

女の人はどんなことが一番大切だと思っていますか。

1　保育所をたくさん作ることです
2　母親の税金を優遇することです
3　経済的なゆとりをつくることです
4　父親が育児に参加することです

日本語の会話では、自分の意見を言うとき、相手の意見をはっきり否定することはあまりしません。一般に言われていることや相手の意見を「確かに～」と一応認めてから「しかし～」と自分の意見を言います。こうした表現は聴解問題だけでなく、読解問題にもよく使われます。

この問題の質問は「女の人はどんなことが一番大切だと思っていますか」です。いろいろ大切なことがある中で、最も大切なことを聞き取ります。「なにより、なんといっても、一番」などの後が答えになります。注意して聞きましょう。

このタイプの問題には時事的なテーマが取り上げられることがあります。日ごろから新聞の投書欄などを読むようにしていると、表現だけでなく、時事的な語彙も増やすことができます。

正解　例6－4

ちょっと確認　<自分の意見を言うときの表現>

◇確かに減税は必要です。しかし、高齢者にとっては預金の利率が上がることのほうがもっと大切です。

◇これまで長い間、育児は女性の仕事と言われてきました。しかし、最近では、育児休暇を取る男性も増え始め、両親が共に育児に参加する時代になったと思います。

◇外交は国の仕事かもしれませんが、やはり私たち一人一人もいろいろな国の人たちと話し合っていかなければならないと思います。

7　キーワード

新しい傾向の問題です。短い会話の中のキーワードから推測して答を考えます。

例7

女の人が男の人に選んであげたのは何ですか。

女：じゃあ、最後にこれをしめて…。どう？
男：うん。やっぱり君が選ぶと違うな。シャツとぴったりだ。

女の人が選んであげたのは何ですか。

1　ネクタイです
2　帽子です
3　メガネです
4　指輪です

この問題では、答えは会話の中に直接出てきません。「しめる」「シャツとぴったり」をキーワードにして、「ネクタイ」を推測しなければなりません。

日常生活の会話では、すべてを言葉で表現しているわけではありません。話す人の表情や体の動きで意味のわかることもたくさんあります。試験ではテープを使うので、表情や動きはわかりません。必ず、テープの言葉の中にキーワードがあります。

こうした問題への対策は、教科書だけを勉強していてもなかなか身につきません。日本国内で勉強している人はテレビのドラマを見たり、日本人同士の会話を注意して聞いたりしてください。日本以外の場所で勉強している人はなかなかチャンスがありませんが、ビデオやマンガなど、できるだけ生の日本語に触れるようにしてください。

ちょっと確認　<注意するキーワード>

ネクタイは「ネクタイをする」でも間違いではありませんが、「しめる→ネクタイ」「かける→メガネ」というようにセットになった言い方に注意しましょう。

また、「駅に着く」「電気がつく」「服にしみが付く」などの「つく」は、字を見ればすぐにわかりますが、「ついた？」と聞いたとき、どの「つく」なのかを前後から判断しなければなりません。こういった同音異義語や「暑い（あつい）」「厚い（あつい）」のようなアクセントの違う同じ音の言葉も辞書などで調べながら正しく覚えるようにしましょう。

読解・文法

読解・文法の問題は、問題Ⅰから問題Ⅵまであります。それぞれ、次のような内容の問題になっています。

読解	問題Ⅰ	800字～1400字の長文（論文、論説）を読んで質問に答える問題。（1題 約7問）
	問題Ⅱ	800字～1400字の長文（エッセイ、小説、投書文）を読んで質問に答える問題。（1題 約7問）
	問題Ⅲ	120～300字の短文を読んで質問に答える問題。（約6題 約6問）
文法	問題Ⅳ	文中・文末に入る適切な表現を選ぶ。（22～27問）
	問題Ⅴ	適切な文末を選ぶ。（6～7問）
	問題Ⅵ	2つの文の関係から、文中に入る適切な表現を選ぶ。（5～8問）

試験は読解と文法を合わせて90分です。ゆっくり一語ずつを読んでいると時間が足りなくなるかもしれません。わからない漢字や言葉は気にせず、わかることから推測して文章全体の意味を把握しましょう。また、すでに持っている知識を十分に活用し、イメージをふくらませたり、予測しながら読みましょう。

文法は意味と使い方を理解することがとても大切です。習ったものは自分で整理し、文法形式だけでなくそれを含んだ文を覚えるようにしましょう。

各問題には、それぞれどのように考えれば答えが見つかるかポイントがありますから、問題を解きながら見ていきましょう。

問題Ⅰ～Ⅲ〈まとまった文章を読んで質問に答える〉

1　筆者はどう考えているか

例1

現代の父親は極端にいえば二つのパターンに分けることができよう。その一つは逃避型。仕事を理由に子供のことはすべて母親に押しつけ、自分は知らぬ顔の半兵衛を決め込んでいる（注1）というタイプだ。そして、ほかのもう一つは保父型とでも名づけようか。積極的に、自分が主になって育児に教育にしつけに活躍するというタイプである。当然、この二つはどちらも、ある意味で“父親らしさ”を失っている。逃避型は他人的過ぎるし、保父型（注2）の場合は母親的であり過ぎるわけだ。これでは、子供にとって両親のいる意味がない。

（斎藤茂太『立派な親ほど子供をダメにする』PHP研究所による）

（注1）知らぬ顔の半兵衛を決め込む：自分には関係ないと知らぬふりをする
（注2）保父：保育園で子供の世話をする男性

【問い】この文の筆者は、父親はどのようにあるべきだと考えているか。

1　父親は母親とは異なる独自の役割を担うべきだ。
2　父親は母親と育児の責任を分担するべきだ。
3　父親は教育者としての役割を担うべきだ。
4　父親は育児にかかわるべきではない。

「筆者はどう考えているか」という問題は、文章全体の意味をつかむことが大切です。何が、どうなっているのか、それに対して、筆者はどう考えているのかを読み取ります。長文は、最初と最後の段落に、筆者の主張が書かれていることが多いです。

答えを見つけるには、2つのパターンがあります。1つ目は、文章全体から要旨をつかむ場合です。つまり文章を短くまとめれば、筆者の考えになる場合です。この場合、筆者は自分の言いたいことを表現を変えて、繰り返し述べていることがあります。

2つ目は、筆者がどう考えているかを具体的に書いてなく、文章全体から読み取る場合です。この場合、筆者がなぜこの文章を書いたのかその目的を考えると、筆者の考えの手がかりになるでしょう。

この問題は2つ目の例です。文中では「逃避型」と「保父型」のどちらも“父親らしさ”を失っているとだけ書かれており、筆者の具体的な考えは書かれていません。しかし、このどちらのタイプも、他人的過ぎであり母親的過ぎであると批判していることから、筆者の考える父親のあるべき姿が読み取れます。

2　それはなぜか／どのような意味か

例2

多少、耳の痛いことがあっても、じっとこれを聴く。相手が言い終わったら、はじめてこちらの言うことを言う。このルールがはっきりしていなければ、対話などできるわけがない。両手が同時にタマを投げ合ったり、都合の悪いことはなにも聞こえず、聞こえてもすててしまい、都合のいいところだけをつまみ食いをする。そういう人間と人間が対話などすれば、話せば話すほどお互いに理解ができなくなってしまう（①）。

この点、われわれの耳は耳バカであるというより、自閉症（注1）的であるのかもしれない。

日本人が外国語の会話がうまくないというのは、いまや国際的にも定評のあるところとなっているらしいが、原因のひとつは、この自閉症の耳（②）にあるような気がする。

（外山滋比古『日本語の素顔』中央公論社による）

（注1）自閉症：人との対話を嫌い、自分だけの世界に生きている状態

【問1】①「話せば話すほどお互いに理解ができなくなってしまう」とあるが、それはなぜか。

1　相手の言うことをバカにしているから

2　自分勝手な聞き方しかできないから

3　話すスピードが速くてついていけないから

4　お互いの会話能力が低いから

【問2】②「自閉症の耳」とは、どのような耳か。

1　相手の言うことが聞こえない耳

2　外国語の会話が聞き取れない耳

3　都合のいいことしか聞こうとしない耳

4　痛みをともなう病気の耳

「それはなぜか」といった問題は、人物の態度や心情についての理由を答えるものが比較的多いです。この場合、その理由を見つけるために、その前後を注意深く読んでいきます。

例2では、「そういう人間が対話すれば」とありますから、そういう人間とはどんな人間かを考えると、話せば話すほどお互いが理解できなくなってしまう理由がわかります。

「どのような意味」といった問題は、文章の中で使われている意味を答えるものです。一般的に使われている意味や常識的な意味ではありません。ですから、文章のなかにその意味を説明しているところが必ずあります。長文では、問われている言葉の前後に目を通し、素早く説明箇所を探しましょう。答えは、説明している文を言い替えたり、要約していることが多いです。

例2では、「自閉症」という言葉の本来の意味は（注1）にある通りです。文中における意味は、2段落「この点～自閉症的であるのかもしれない。」とあるので、その前が説明になります。その説明を要約したものが答になります。

3　（　　　）に入れる

例3

旅をする時、目的をきめた上で、きちっとスケジュールを立て、前もって旅館を予約し、予算を立てて出発する人がいる。これに対して、目的もきめず、もちろんスケジュールなぞ気にせず、旅館の予約なぞ一切せず、予算を気にせず出発する人もいる。性格とかタイプの違いと言ってしまえばそれまでだが、ここにはやはり、スタイルの違いと言えるものがあるようである。直線的で厳格なスタイルが好きな人と、曲線的でルーズな道くさを喰うスタイルの好きな人との違いにそれは還元（注1）できるかも知れない。このように考えてみると旅もやはり人生の一種の縮図（注2）であるから、（　　　）。

（山口昌男『知の旅への誘い』岩波書店による）

正解　例2　問1―2　問2―3

（注１）道くさを喰う：途中でほかのことに時間を費やす
（注２）縮図：全体を小さく縮めて表したもの

【問い】（　　　）に入る適当なものを一つ選びなさい。

1　自分のスタイルをなるべく早く確立しなければならない
2　旅について言えることは、人生についても言えるようである
3　時間があるかぎり、旅をたくさんしたほうがよい
4　旅の途中で、人生について考えるべきである

「（　　　）に入れる」といった問題では、前後の文の関係を読み取ることが大切です。そのためには、関係が分かる接続詞やそれに類する表現に注意しながら読みます。

例３は、（　　　）の前に「このように考えてみると」とありますから、それ以前のまとめになるような文だと判断できます。また「旅もやはり人生の一種の縮図であるから」に続くので、前半の結果を表す内容になります。

長文問題には、（　　　）に接続詞を入れる問題が毎年出題されています。接続詞の場合は、特に前後の文の意味がどのような関係にあるかを判断し、適切な機能をもった接続詞を選びます。接続詞の後に理由がくるもの、前の文の反対の内容が続くものなど、機能ごとにまとめて、使い方を整理しておきましょう。

4　並べ替え

例４

後のＡ～Ｄは、それぞれア、イ、ウ、エのどこかに入る文です。

陸上で暮らす動物にとって、湖や川から得られる水は大きな価値をもっている。

それは、［　　ア　　］

しかし［　　イ　　］

どんな生物も［　　ウ　　］

その意味で、［　　エ　　］

そして、その水に対する行動も、そういった価値観に根ざしているとみることができるだろう。

正解　例３―２

A　水なしでは生きていけないからである。

B　水は、人間に限らず、あらゆる生物が、その価値を認めているといえる。

C　さばくで生きる生物が、水をどのようにして得ているのかをみると明らかであろう。

D　水の価値は、それが豊富な環境にある生物でも変わらない。

（水谷広『地球とうまくつきあう話』共立出版による）

【問い】　正しい組み合わせのものを選びなさい。

1	ア：A	イ：C	ウ：B	エ：D
2	ア：A	イ：B	ウ：D	エ：C
3	ア：C	イ：D	ウ：A	エ：B
4	ア：C	イ：B	ウ：A	エ：D

並べ替えの問題は、文章の展開がはっきりしている説明文やエッセイがよく出ます。この場合、最初や最後の文などから話題を考え、文章全体の意味を予測しましょう。文章全体を予測するには、図書のタイトルもヒントになります。そして、指示語や接続詞、「たとえば」「このように」などの文をつなぐ言葉から次に続く文を考えます。

例4では、（ア）は「それは」に続きますが、「それ」にあたるのは、前文の『水の価値』です。「それは＝『水の価値は』」という言葉の後に続く文を選びます。（イ）は「しかし」に続くので、（ア）の内容を否定するような文、あるいは逆の意味の文になります。このように、接続詞をヒントに前文との関係を考えながら選んでいきます。完成したら、必ず、読み返して文の流れを確認しましょう。

5　グラフ

例5

31ページのグラフは小学生と中学生の3000人に「親は自分のことを分かってくれていると思うか」と聞いた結果を表したものです。

【問い】　グラフの説明として正しいものを選びなさい。

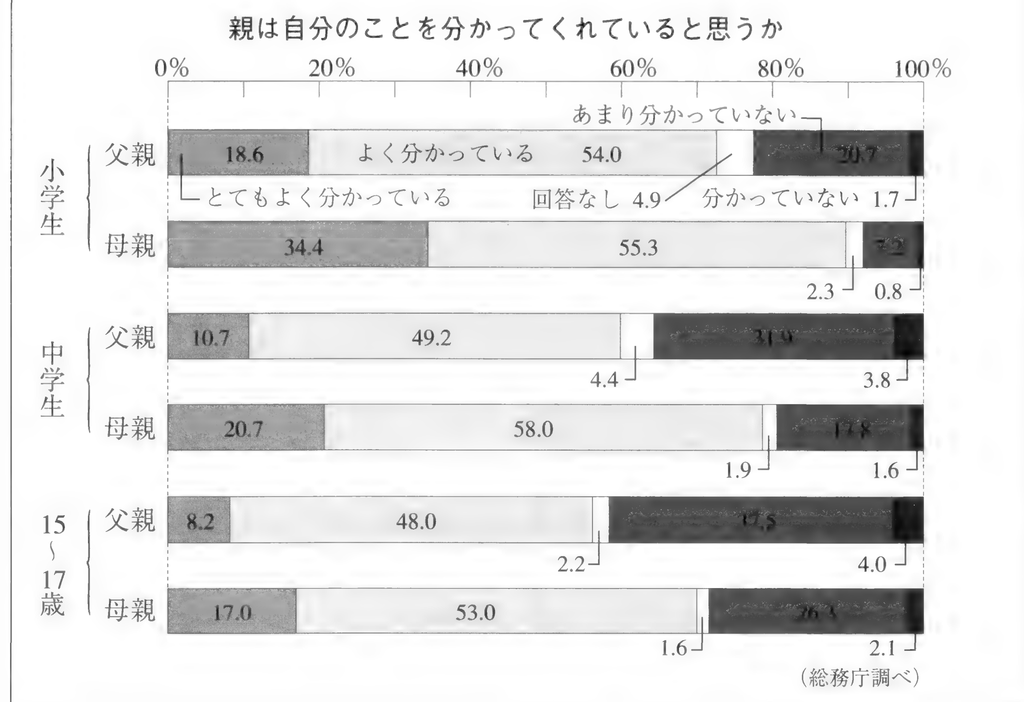
1　「よく分かっている」と答えた割合は、「とてもよく分かっている」と合わせせると、小・中学生及び15～17歳のいずれにおいても、父親が母親を上回っている。小学生は、母親に対して約70％で、中学生になると60％に下がってる。父親に対しては、小学生で90％強だが、中学生では約70％と激減している。

2　「よく分かっている」と答えた割合は、「とてもよく分かっている」と合わせると、小・中学生及び15～17歳のいずれにおいても、父親が母親を下回っているが、その差は各年代で異なっている。中学生と15～17歳では、約2割だが、小学生では約1割にとどまっている。

3　「よく分かっている」と答えた割合は、「とてもよく分かっている」と合わせると、小・中学生及び15～17歳のいずれにおいても、父親より母親の方が高い。小学生は、母親に対して約9割、中学生はそれよりやや下回る。父親に対しては、小学生で7割強、中学生では約6割になってしまう。

正解　例4―3

4　「よく分かっている」と答えた割合は、「とてもよく分かっている」と合わせると、小・中学生及び15～17歳のいずれにおいても、父親と母親はほぼ同数になっている。小・中学生では、この割合が過半数になるが、15～17歳では、半数に満たない。



グラフの問題は聴解と同様、いろいろなグラフが出題されますから、変化や割合の言い方は理解しておきましょう（21ページ参照）。問題には、グラフを見て、グラフの説明として正しい文章を選ぶものと、グラフの説明を読んで、その説明に合っているグラフを選ぶものがあります。グラフの説明文には、数字がいろいろ出てきますので、何を指したものか正確に把握することが大切です。

この問題で、「とてもよく分かっている」と「よく分かっている」を合わせた割合は、グラフから次のように整理できます。

母親：小学生………34.4+55.3=89.7%　（約９割）
　　：中学生………20.7+58.0=78.7%　（８割弱）
　　：15～17歳……17.0+53.0=70%　（７割）
父親：小学生………18.6+54.0=72.6%　（７割強）
　　：中学生………10.7+49.2=59.9%　（約６割）
　　：15～17歳……8.2+48.0=56.2%

この結果から、「よく分かっている」と答えた割合は、「とてもよく分かっている」と合わせると、いずれにおいても母親の方が父親より高いことがわかります。グラフの問題は、数字を正確に読み取り、整理するとわかりやすくなります。説明文では、合わせて９割と書いていますが、グラフの中の数字は２つあるいはそれ以上に分けて示されていることもありますから、注意しましょう。

正解　例5－3

問題Ⅳ〈文中・文末に適切な表現を選ぶ〉

文中や文末に適切な表現を入れる問題には次のようなものがあります。

1　助詞や助詞と同じような働きをするもの

例1

夏休み＿＿＿＿どこのプールも子供たちでにぎわっている。
1　にあって　2　であって　3　からあって　4　とあって

書き言葉にしか用いられないものや、硬い表現で用いるものがよく出題されます。ふだん聞きなれない言葉も多いですから、使い方や意味を確認し、まとめておきましょう。

例1のように、選択肢の形や意味が似ているので、正確に使い分けられるようにしましょう。

34～36ページに助詞と同じような働きをするもののチェックリストを載せました。これはよく出るものばかりですから、例文で意味と使い方を確認してください。

2　敬語表現

例2

10年ぶりに＿＿＿＿先生は、以前と変わらずお元気でした。	
1　お会いになった	2　拝見した
3　お目にかかった	4　会われた

どのような状況で、だれがだれに対して敬語を使っているのかを考えることが大切です。目上の人の動作を示す場合の「おっしゃる」「お～になる」などの尊敬語と、自分の動作をへりくだって表現する「お～する」「～せていただく」などの謙譲語を混同しないように整理しておきましょう。

例2の問題は、先生に対する謙譲語が使われます。「お会いになった」「会われた」は尊敬語で、「拝見した」は「見る」の謙譲語です。

3　形式名詞（「こと」「もの」「わけ」「ところ」など）

例3

受験勉強している＿＿＿＿友人が遊びに来た。
1　ところで　2　ところを　3　ところへ　4　ところが

例3のように、「ところ」に続く助詞によって意味が違ってきます。正確に使い分けられるようにしておきましょう。

4　接続表現

例4

いくら忙しい＿＿＿＿食事ぐらいゆっくり食べたい。
1　とはいえ　2　ともなると　3　と思いきや　4　とばかりに

正解　問題Ⅳ　例1－4　例2－3・例3－3　例4－1

文の前半と後半がどのような関係になっているかがポイントになります。「とはいえ」と「と思いきや」は前半と逆の意味の文が続きます。しかし「と思いきや」は意外だという気持ちを表しますから、ここでは適切ではありません。接続表現では、機能とニュアンスの両方を考えることが大切です。

このほか、「べき」「まい」「ごとき」などの書き言葉でよく使われる硬い表現も出ます。

問題Ⅴ〈適切な文章を選ぶ〉

文末に適切な表現を選ぶ問題です。この場合、文末に重要な意味やニュアンスが含まれています。

1　心情や状況を表す文末

例1　いくら上司といえども家族を侮辱するようなことを言われては、文句を＿＿＿＿。

1　言わないものでもない　　2　言おうにも言えない

3　言わずにはおかない　　4　言うにはあたらない

複雑な心情やニュアンスを表現するもの、込み入った状況を表現する文末がよく出題されます。このような問題では、文末と文の前半の関係を読み取ることが大切です。前半で述べられた状況に対し、後半でどのように展開しているか、意外な結末か当然の結果かなどを判断します。

例1では、前半の「いくら～いえども」という表現は、予想に反した文末になります。「言おうにも言えない」は言うことができないという意味で、「言うにはあたらない」は、言う必要がないという意味になり、「言わないものでもない」は意味が弱すぎます。そして、「～ずにはおかない」という文末は、否定の形ですが、「ず～ない」で、二重否定となり肯定の意味になるので注意しましょう。

否定の形を含んでいても、全体としては肯定的な意味になる文末表現はこのほかに、次のようなものがあります。

～極まりない　／　～ずにはおかない　／　～ずにはすまない　／　～でなくてなんだろ

～てやまない　／　～といったらない　／　～ないものでもない　／　～にかたくない

～を禁じ得ない　／　～余儀なくされる

36～37ページに大切な文末表現をチェックリストに載せましたので参考にしてください。

2　副詞の入った文末

例2　ただでさえ成績が悪いのに、まして授業にでなければ成績は＿＿＿＿。

1　上がるはずだ　　2　上がる一方だ

3　下がるかもしれない　　4　下がる一方だ

「まして」は、文の前半の内容に、より厳しい状況が加わり、「だから当然」という意味になります。副詞の中には、文の前半を受けて後半の意味を限定するものがありますから、このような副詞を見つけることがポイントになります。

問題Ⅵ　〈２つの文の関係から、文中に入る適切な表現を選ぶ〉

２つの文の関係のなかで状況を読み取り、自然な言葉を選ぶ問題です。

例

> 昨日言ったことをまだ怒っているのだろうか。いくら声をかけても、おまえなんか知らない＿＿＿＿横を向いた。
>
> 1　ともなく　　2　とばかりに　3　と相まって　4　ともなると

文法は文を作る時の決まりですが、その働きは、１つの文のなかだけではありません。文と文をつなぐ時もゆるやかな決まりがあります。ですから、１番目の文と２番目の文がどのような関係にあるかを読み取ることが大切です。

例では、１番目の文は何かを言って怒らせたという状況がわかります。そういう状況なので、声をかけても、横を向いたという事実を表す２番目の文につながっています。

「おまえなんか知らない＿＿＿＿横を向いた」というのは怒っていることを、言葉ではなくて態度で示していることですから「とばかりに」が答えになります。

このような問題は文法力だけでなく、自然な言葉を選べるような読解力も必要になってきます。

チェックリスト

□はチェック欄です。十分理解できているものには、✓をつけましょう。

1　助詞と同じような働きをするもの

□～あっての

観客あっての芝居だ。いくら芸術的でも見る人がいなければ意味がない。

□～からある

50キロからある石を、彼は片手で軽々と持ち上げた。

□～であれ

男であれ女であれ平和を願う気持ちに変わりはない。

□～てからというもの

嘘がばれてからというもの、彼はわたしの言葉を信じようとしない。

□～と相まって

携帯電話は、便利さを追究する時代の流れと相まって、飛躍的に普及した。

□～とあって

人気のある歌手のコンサートとあって、大勢の観客が押し寄せた。

正解　問題Ⅵ　例―2

□～といい～といい

社長といい、社員といい、まともに仕事のできる人は１人もいないんだから、あんな会社、倒産しても不思議はない。

□～といえども

夫婦といえども、暴力は許されない。

□～ときたら

山田さんときたら、シャツは裏返し、ズボンはしわくちゃ、靴下は左右バラバラで会社に来たのよ。もうあきれちゃった。

□～とは

仕事熱心な佐藤さんが休むとは、よほどのことにちがいない。

□～とばかりに

持っていきたいやつは勝手に持っていけとばかりに、道ばたに品物と粗末な料金箱が置いてある。

□～ともなると

子供も中学生ともなると親の言う通りにはならない。

□～ないまでも

わざわざ謝りに行かないまでも、せめてお詫びの手紙ぐらい書くものだ。

□～なくして

経済的自立なくして、一人前の大人とは言えない。

□～なしに

今回の失敗に対する反省なしに次に進んでも、また失敗するだけだ。

□～ならでは

ユーモアあふれる物語は、この作家ならではのものです。

□～なり

よほど疲れていたのだろう。布団に入るなり寝てしまった。

□～なりに

たとえ不合格になっても自分なりに精一杯努力したので悔いはない。

□～にあって

冬山での遭難という極限状態にあって冷静に行動できる人は少ない。

□～にして

彼は10歳にして天才ピアニストと呼ばれ注目を集めている。

□～に即して

事実に即して書かれた小説だけあって描写が生々しい。

□～にひきかえ

昨年にひきかえ今年は農作物の収穫がよくない。天候に恵まれなかったせいだろうか。

□～にもまして

70歳になるというのに、祖父は以前にもましてボランティア活動を熱心に行っている。

□～の至り

社長におほめにあずかるとは光栄の至りです

□～はおろか

給料日前になると１万円札はおろか、千円札も２、３枚しか残らない。

□～ばこそ

試合に勝つためだと思えばこそ苦しい練習にも耐えられる。

□～もさることながら

売れるかどうかは、商品のできもさることながら値段も大きく影響する。

□～をおいて

成功するには努力をおいてほかにまさるものはない。

□～をもって

新郎新婦のご入場ですから、拍手をもってお迎えください。

□～をよそに

受験生だというのに、親の心配をよそに遊んでばかりいる。

2　文末表現

□～しようにもできない

電車は事故で止まっているし、バスの便もない。これでは、帰ろうにも帰れない。

□～限りだ

長年やってきた研究が評価されたとは、喜ばしい限りだ。

□～きらいがある

彼は仕事はできるが、多少自分勝手なきらいがある。

□～極まりない

顔を会わせたのに、挨拶もしないなんて失礼極まりない。

□～始末だ

兄は会社もくびになり、とうとう親戚から借金までする始末だ。

□～ずにはすまない／ないではすまない

人のうちのガラスを割ったのだから、弁償しないではすまないだろう。

□～てやまない

親はいくつになっても子供の幸せを願ってやまないものだ。

□～というところだ

東京で１ＤＫのアパートなら、７、８万円というところだろう。

□～といったらない／～といったらありはしない（ありゃしない）

初めて胸に抱く我が子のかわいさといったらない。

□～ないものでもない

危険をともなう仕事なんてやりたくはないが、給料がよければやらないものでもない。

□～にあたらない

これだけ働く女性が増えているんだ。晩婚化が進んでいるといっても驚くにあたらない。

□～にかたくない

宇宙開発が人類の可能性を押し上げることは、想像にかたくない。

□～ばそれまでだ

論文の締切まで、全力でやってみるが、間に合わなければそれまでだ。

□～までだ／までのことだ

失敗したら、やり直すまでのことだ。あまり神経質になることはない。

□～までもない／までのことだ

こんな簡単な用件ならわざわざ来るまでもなかった。電話で済ませばよかった。

□～を禁じ得ない

無関係な人をお金のために次々に殺すなんて怒りを禁じ得ない。

□～を余儀なくされる／～を余儀なくさせる

会社の倒産で突如、失業を余儀なくされた。

ちょっと練習(れんしゅう)　解答(かいとう)

ちょっと練習1

1　a ほうどう　b ぼうどう
　c ぼうとう　d ほどう
2　a こっきょう　b こきょう
　c こうきょう　d こうぎょう
3　a しんぼう　b しんぽ
　c しほう　d しぼう
4　a しゅうよう　b じゅよう
　c しゅよう　d じゅうよう
5　a ようじん　b ようし
　c ようじ　d よじ
6　a しょじ　b じょし
　c じょうし　d しょうじ

ちょっと練習2

1　a いさん　b ゆいごん
2　a たいそう　b ていさい
3　a きょうみ　b ふっこう
4　a しんせつ　b いっさい
5　a はんせい　b しょうりゃく
6　a ながいき　b なまいき
7　a ふなびん　b こぶね
8　a いえで　b やぬし
9　a えがお　b わらいごえ
10　a なっとく　b こころえ
11　a はやい　b すみやか
12　a あせる　b こげる
13　a なまける　b おこたる
14　a ふれる　b さわる
15　a おごそか　b きびしい

ちょっと練習3

1　a 歓迎　b 観客
　c 勧誘　d 権利
2　a 議長　b 犠牲
　c 意義　d 儀式
3　a 検査　b 試験
　c 保険　d 倹約
4　a 精密　b 清潔
　c 静止　d 請求
5　a 防止　b 寝坊
　c 妨害　d 脂肪

ちょっと練習4

1　a 更ける　b 老けて
2　a 解ける　b 溶けた
3　a 積む　b 摘む
4　a 責める　b 攻める
5　a 乗る　b 載る

ちょっと練習5

1　c（決算）
2　c（粗末）
3　d（標識）
4　b（脂肪）
5　a（復習）
6　d（接触）

ちょっと練習6

1　a 山田さんに手紙を送った。
　b さいふをかばんの中から外へ移(うつ)した。
2　a コップを壊(こわ)してしまった。
　b ウィスキーを水でうすめる。
3　a この町はできて間(ま)もない建物が多い。
　b 今度の上司(じょうし)は話のわかる人だ。
4　a ネクタイをはずしてのんびりする。
　b 泥棒(どろぼう)にさいふをぬすまれた。
5　a 光(ひかり)が十分あるから、電気を消(け)しましょう。
　b 彼はいつも陽気(ようき)で、楽しい人だ。

ちょっと練習7

1―3　2―4　3―1

ちょっと練習8

1―4　2―2　3―3　4―1

日本語能力試験

1級模擬テスト

第1回



文字・語彙　（100点　45分）

問題Ⅰ　次の文の下線をつけた言葉は、どのように読みますか。その読み方をそれぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

問1　介護(1)に携わる(2)人手は圧倒的(3)に女性に偏っている(4)。

（1）介護　1 かんご　2 かいじょ　3 かいご　4 かんの

（2）携わる　1 たずさわる　2 かかわる　3 そなわる　4 くわわる

（3）圧倒的　1 あどうてき　2 あっていてき　3 あていてき　4 あっとうてき

（4）偏っている　1 へだたっている　2 おぎなっている　3 おちいっている　4 かたよっている

問2　正確な天気予報(1)のためには、かなり広い範囲から詳細な(2)データが持続的(3)に集められなければならない。

（1）予報　1 よぼう　2 よほう　3 ようほう　4 ようぼう

（2）詳細な　1 たさいな　2 めいさいな　3 しょうさいな　4 とうさいな

（3）持続的　1 とくぞくてき　2 じじょくてき　3 じぞくてき　4 とくじょくてき

問3　一羽(1)の動きに誘われて(2)、ビルの屋上で休息(3)していたハトが次々と飛び立ち、再び群が形成(4)された。

（1）一羽　1 ひとはね　2 ひとは　3 いっぱ　4 いちわ

（2）誘われて　1 おわれて　2 うばわれて　3 さそわれて　4 とらわれて

（3）休息　1 きゅうけい　2 きゅういき　3 きゅうし　4 きゅうそく

（4）形成　1 けいせい　2 けいしょう　3 けいじょう　4 けいちょう

問４　美術館は美術館本来の機能を果たす(1)と同時(どうじ)に、地域(2)の文化の拠点(3)としての役割を担う(4)ことが求められている。

（１）果たす　　１　はたす　　２　みたす　　３　わたす　　４　きたす

（２）地域　　１　じいいき　　２　ちいき　　３　ちき　　４　じいき

（３）拠点　　１　きょてん　　２　しょてん　　３　ちょてん　　４　こてん

（４）担う　　１　つぐなう　　２　うばう　　３　になう　　４　ともなう

問題Ⅱ　次の文の下線をつけた言葉は、ひらがなでどう書きますか。同じひらがなで書く言葉を１・２・３・４から一つ選びなさい。

（例）乗客が全員死亡という最悪の事態になった。

１　時代　　２　実体　　３　辞退　　４　次第

例の文の下線の言葉は、ひらがなで「じたい」と書きます。１～４の言葉はそれぞれ、１は「じだい」、２は「じったい」、３は「じたい」、４は「しだい」と書きます。例の文の「じたい（事態）」と３の「じたい（辞退）」はひらがなで同じ書き方ですから、正解は３です。

（１）彼はうそをついたことを後悔した。

１　誤解　　２　郊外　　３　公害　　４　航海

（２）コートを作るなら厚い生地がいいでしょう。

１　政治　　２　承知　　３　記事　　４　基地

（３）テレビは画期的な発明だった。

１　活気　　２　学期　　３　換気　　４　夏期

（４）日曜日に、街頭で募金をしていた。

１　街道　　２　該当　　３　感動　　４　回答

（５）犯罪の防止が求められている。

１　奉仕　　２　方針　　３　帽子　　４　母子

問題Ⅲ　次の文の下線をつけた言葉は、どのような漢字を書きますか。その漢字をそれぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

問1　工業のしんこう(1)は経済の重要な柱であり、そのせいさく(2)は国の発展と人々の生活に重大なえいきょう(3)をおよぼす(4)ものである。

(1) しんこう	1 進好	2 振興	3 信仰	4 新考
(2) せいさく	1 製作	2 成昨	3 制索	4 政策
(3) えいきょう	1 影郷	2 映郷	3 影響	4 映響
(4) およぼす	1 及ぼす	2 与ぼす	3 浸ぼす	4 泳ぼす

問2　女性が社会さんか(1)していくかてい(2)で、男性の労働かんねん(3)にも変化のきざし(4)が見られるようになった。

(1) さんか	1 賛加	2 参加	3 賛化	4 参化
(2) かてい	1 仮定	2 過程	3 家庭	4 下定
(3) かんねん	1 感念	2 堪念	3 観念	4 勧念
(4) きざし	1 予し	2 芽し	3 発し	4 兆し

問3　このワープロはテキストのへんしゅう(1)やいんさつ(2)、ほかん(3)に関する機能やそうさ(4)性が初期のものより向上している。

(1) へんしゅう	1 編集	2 遍収	3 篇集	4 偏収
(2) いんさつ	1 印札	2 印冊	3 印刷	4 印察
(3) ほかん	1 保官	2 保管	3 補官	4 補管
(4) そうさ	1 捜査	2 繰作	3 燥査	4 操作

問4　教授のじょげん(1)は非常にてきかく(2)で、その後の研究にゆうえき(3)なものであった。

(1) じょげん	1 所見	2 序見	3 助言	4 諸言
(2) てきかく	1 的確	2 肯正	3 適画	4 正角
(3) ゆうえき	1 有益	2 優益	3 重益	4 恵益

問題Ⅳ　次の文の下線をつけた言葉の二重線（＿＿）の部分は、どのような漢字を書きますか。同じ漢字を使うものを、１・２・３・４から一つ選びなさい。

（例）日本の生活でじんせいかんが変わった。

1　その映画にとてもかんどうした。

2　美術館で絵をかんしょうした。

3　友だちの家族は私をかんげいしてくれた。

4　私は星のかんそくが趣味です。

例の文の下線の言葉は「人生観」と書きます。1～4の言葉はそれぞれ、1は「感動」、2は「鑑賞」、3は「歓迎」、4は「観測」と書きます。例の文の「人生観」の「かん」と、4の「観測」の「かん」は同じ漢字ですから、正解は4です。

（1）戦争で右足にふしょうした。

1　大学のふぞく病院に入院した。

2　我が社では社員の交通費をふたんしている。

3　父はタイへふにんしています。

4　母は今ふざいです。

（2）外国でいろいろ珍しいたいけんをした。

1　課長と部長の意見はたいりつしている。

2　祖母は元気になって昨日たいいんした。

3　弟は私よりたいかくがいい。

4　彼女のたいどはとても立派だった。

（3）京都にはゆうめいなお寺がたくさんあります。

1　ゆうかんな消防士が子供を助けた。

2　どの民族もこゆうの文化を持っている。

3　姉はゆうしゅうな成績で大学を卒業した。

4　昨日、国のゆうじんが訪ねてきた。

（4）１年間のしゅうにゅうは400万円ぐらいです。

1　燃えないゴミのしゅうしゅうは金曜日です。

2　この家はしゅういを高い塀で囲まれている。

3　新しい社長がしゅうにんした。

4　間違えたところをしゅうせいしてください。

（5）気温が－20度までていかした。

1　この付近には金持ちのていたくが多い。

2　市民が軍にていこうしたので、クーデターは失敗した。

3　今回の作品は、この作家のものとしてはさいていの出来だ。

4　失業したので今月はてっていして節約した。

問題Ｖ　次の文の＿＿＿の部分に入れるのに最も適当なものを、１・２・３・４から一つ選びなさい。

（1）子供の教育で一番大切なことは、善悪を判断する力を＿＿＿ことだ。

1　もとめる　　2　やしなう　　3　まなぶ　　4　きたえる

（2）文学や芸術など＿＿＿会話のできる仲間がほしい。

1　有能な　　2　知的な　　3　利口な　　4　賢明な

（3）国で大きな地震があったが、家族みんな無事だという知らせに＿＿＿した。

1　はっと　　2　やっと　　3　むっと　　4　ほっと

（4）クリスマスのデパートは買い物客で＿＿＿。

1　もりあがる　　2　にぎわう　　3　はやる　　4　はかどる

（5）彼はみんなに自分の作品を＿＿＿すっかり自信をなくしてしまった。

1　けなされて　　2　せめられて　　3　とがめられて　　4　おしまれて

（6）会社の経営者と＿＿＿して、１年に７日、有給休暇が取れるようにした。

1　要求　　2　応対　　3　抗議　　4　交渉

（７）秋になると木々が紅葉し、山は赤や黄色の ＿＿＿ 色に変わる。

1　なごやかな　　2　さわやかな　　3　しとやかな　　4　あざやかな

（８）子供が試合で優勝し、＿＿＿ が高い。

1　背　　2　腰　　3　鼻　　4　目

（９）自分の誤りを認め、＿＿＿ のは勇気のいることだ。

1　あやつる　　2　あざわらう　　3　あらそう　　4　あらためる

（10）演奏が終わると、観客は ＿＿＿ を求めて拍手した。

1　メロディー　　2　メディア　　3　アンコール　　4　アプローチ

（11）山田さんは背が高くて、ひげを ＿＿＿ いる。

1　はやして　　2　つけて　　3　そだてて　　4　しげって

（12）拾ってきた子犬は、すぐにわたしに ＿＿＿ 、しっぽを振りながら後について歩くようになった。

1　まもって　　2　なついて　　3　あこがれて　　4　したって

（13）図書館は静かで、本のページを ＿＿＿ 音しかしなかった。

1　めくる　　2　たたむ　　3　あたる　　4　ひらく

（14）天気がいいので公園を ＿＿＿ 歩いた。

1　ぶらぶら　　2　ふらふら　　3　ばらばら　　4　はらはら

（15）テストの時間が短くて、もう一度見直す ＿＿＿ がなかった。

1　のこり　　2　あまり　　3　まとまり　　4　よゆう

問題Ⅵ　次の（1）から（10）の＿＿＿言葉の意味が、それぞれのはじめの文と最も近い意味で使われている文を、1・2・3・4から一つ選びなさい。

（例）ふる……別れるとき、彼女は小さく手をふった。

1　肉は焼く前に塩とこしょうをふってください。

2　順番が分からなくならないように、プリントに番号をふっておいたほうがいい。

3　彼は冷たく首を横にふって、わたしの頼みを聞こうともしなかった。

4　彼は3年も付き合っていた恋人をふって、留学した。

はじめに示された文の中の「ふった」は、「横に動かした」という意味です。1、2、4の「ふって」は、それぞれ、「全体に薄くかける」、「つける」、「交際を絶つ」といった意味ですが、3の「ふって」は、「横に動かす」という意味ですから、正解は3です。

（1）じかん……もう2時ですね。予定のじかんになったので、終わりにしましょう。

1　朝、じかんがなくて何も食べずに学校へ来た。

2　じかんをかけてていねいに作ったものは、出来がいい。

3　みなさんの都合のいいじかんを知らせてください。

4　何もしないうちにじかんがたってしまった。

（2）ところ……会議が今終わったところだ。

1　駅の改札のところで待っています。

2　ふつうなら1時間かかるところを40分で歩いた。

3　これから食事をするところなんですが、ごいっしょにいかがですか。

4　私の聞いたところでは、あと1週間はかかるということだった。

（3）とおす……言葉の勉強をとおして、外国の文化に触れる。

1　子供は遊びをとおして、人との付き合いかたを学ぶ。

2　全部の書類に目をとおしてから、契約書にサインした。

3　この辺は1年をとおして気候が温暖で、住みやすい。

4　金属は電気をとおしやすい。

（4）さす……時計の針が12時をさした。

1　雨が降り出したので、かさをさした。

2　コップに花をさして、テーブルに飾った。

3　目が疲れたので、目薬をさした。

4　田中さんは彼を指でさし、信用できない人だと言った。

（５）できる……彼は中国語とフランス語ができる。

１　駅の前に映画館ができた。

２　あしたのパーティーは用事ができて、行けなくなった。

３　この法律は50年以上前にできたので、現状と合わなくなっている。

４　この問題はやさしいから、誰にでもできる。

（６）なか……私には兄が３人いるが、上の兄と下の兄は東京に、なかの兄は外国に住んでいる。

１　この動物は水のなかに住んでいる。

２　箱のなかに何が入っているのだろう。

３　きょうはお忙しいなか、お集まりくださってありがとうございます。

４　注文した人は３カ月以内に欲しいと言い、製作者は５カ月はかかると言うので、なかを取って４カ月で完成させることにした。

（７）ぶつかる……困難にぶつかったとき、多くの人に助けてもらった。

１　分からない言葉にぶつかっても、すぐに辞書を引くのではなく、どんな意味か考えてみよう。

２　横を向いて歩いていたら、電柱にぶつかってしまった。

３　友人の結婚式と試験の日がぶつかって、友人の結婚式に出られなかった。

４　上司と意見がぶつかって、会社を辞めてしまった。

（８）からい……あの先生の評価はいつもからい。

１　胃が悪いので、からいものは食べられない。

２　海の水はどうしてからいのだろう。

３　彼は自分には甘いのに、他人にはからい。

４　魚を長く保存するために、うんとからく煮た。

（９）たのむ……芸術家は自分の才能しかたのむものがない。

１　彼は金の力をたのんで、強引に計画を実行した。

２　妹に手紙を出してほしいとたのんだ。

３　田中さんはたのまれたら、断れない性格だ。

４　山田さんは母親に子供の世話をたのんで、旅行に行った。

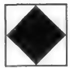
（10）のりこえる……さまざまな問題をのりこえて、成功した。

１　子供は塀をのりこえて、隣の家の庭に入った。

２　努力すればたいていの障害はのりこえられる。

３　刑務所から５人の男が、３メートル以上もある塀をのりこえて、逃亡した。

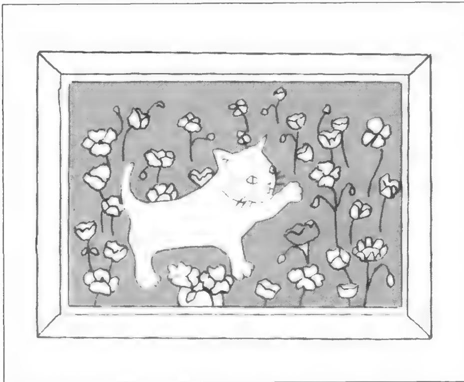
４　車は中央分離帯をのりこえて、反対車線に入り、トラックと衝突した。



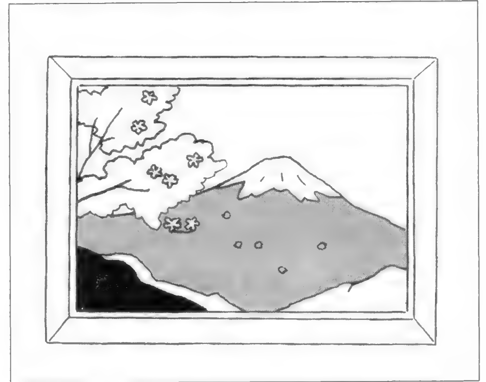
聴　解　（100点　45分）

問題Ⅰ　例

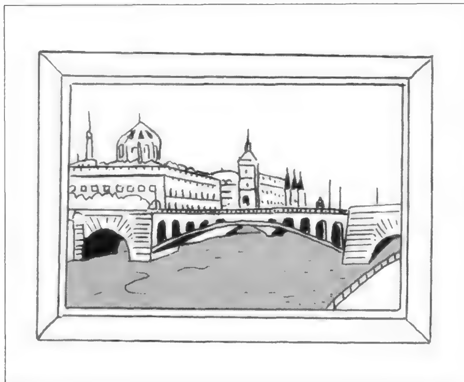
1



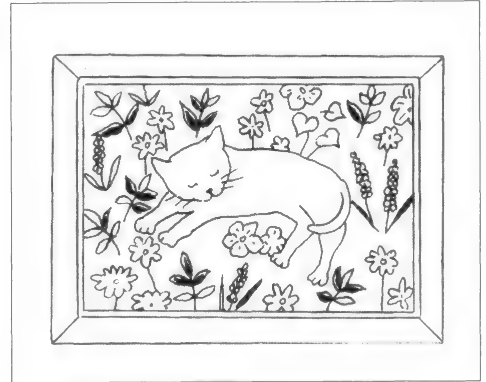
2



3

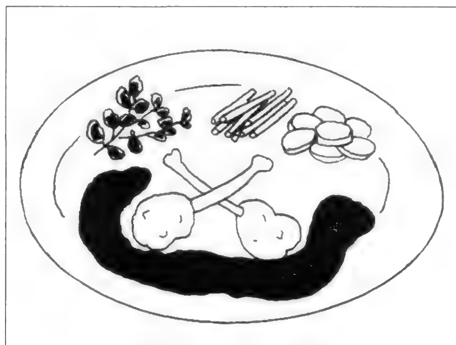


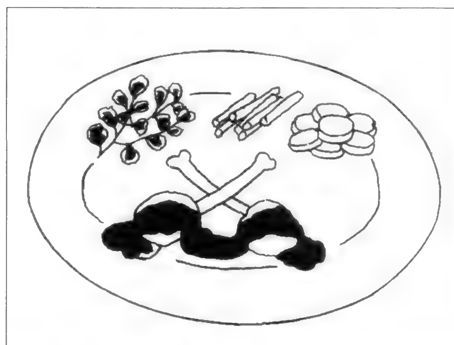
4

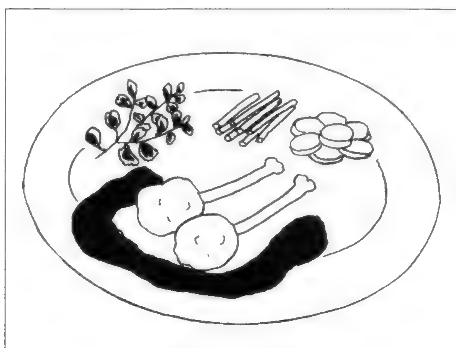


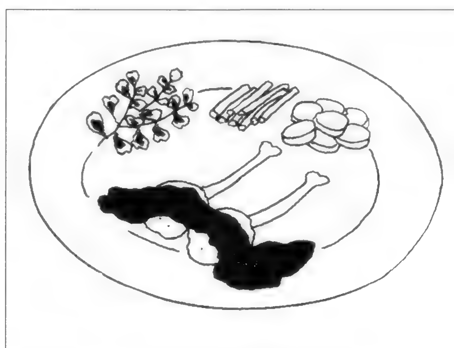
	問　題　Ⅰ			
例	①	②	③	●
1　番	①	②	③	④

1番

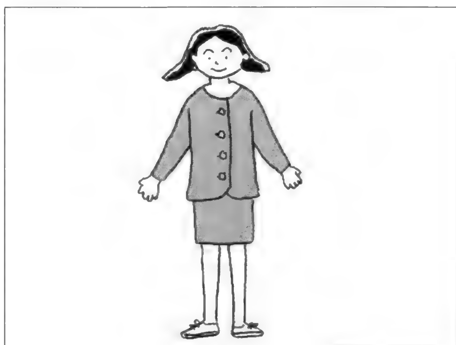
1


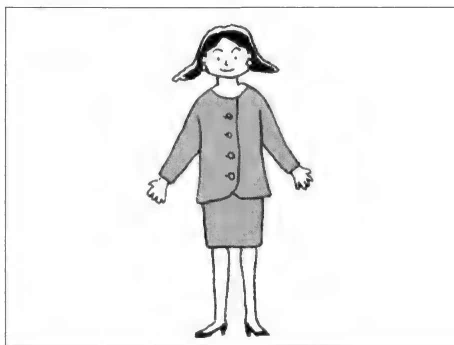
2


3


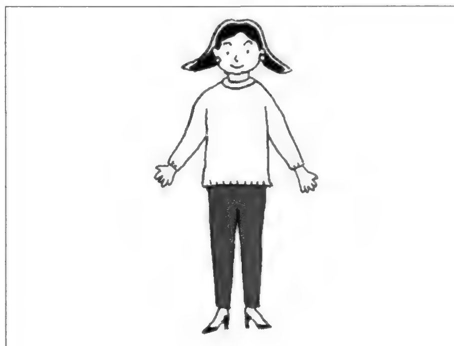
4


2番

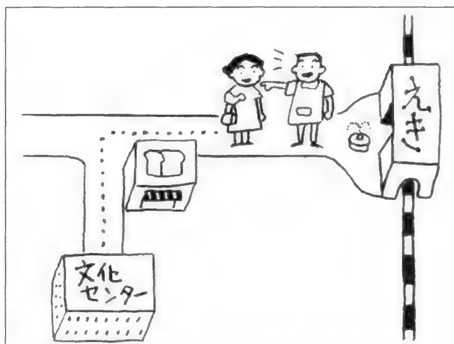
1


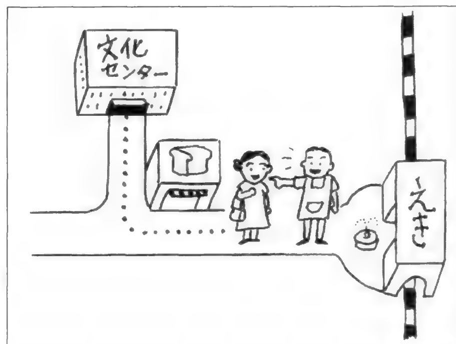
2


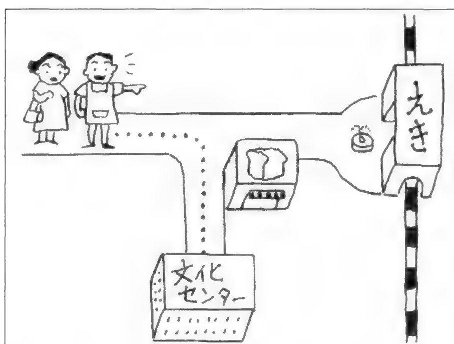
3

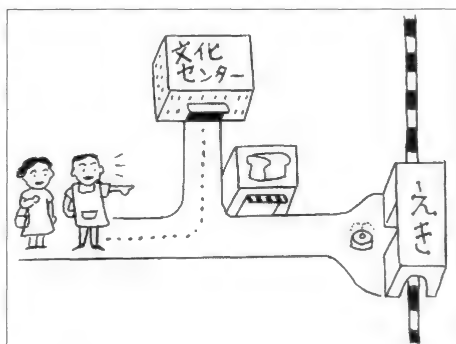

4


3番

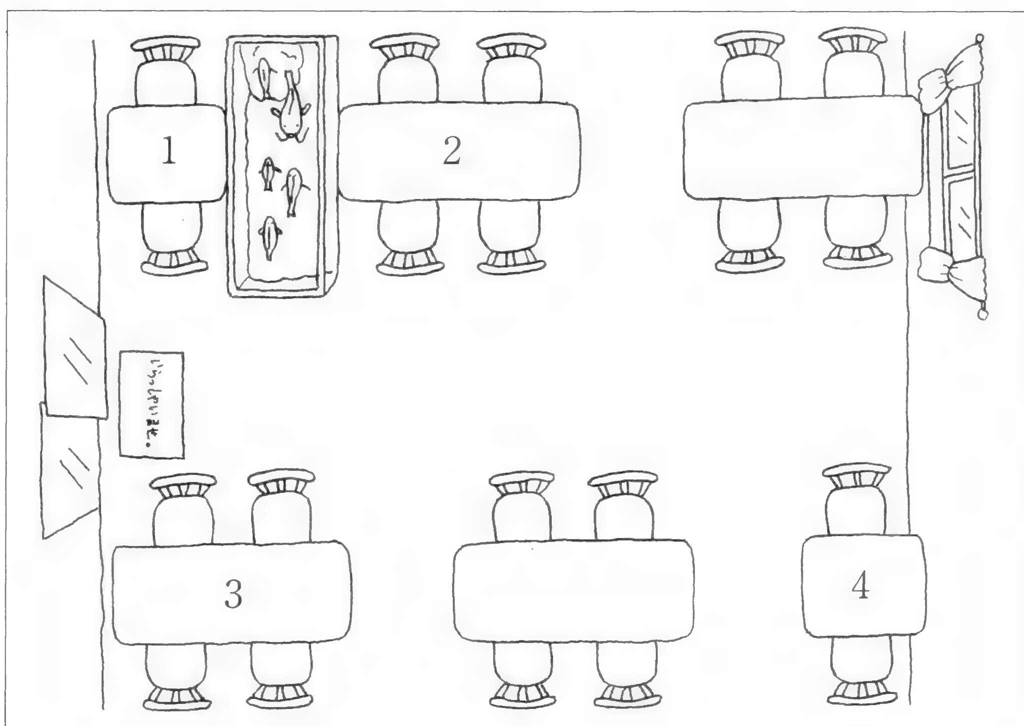
1


2


3


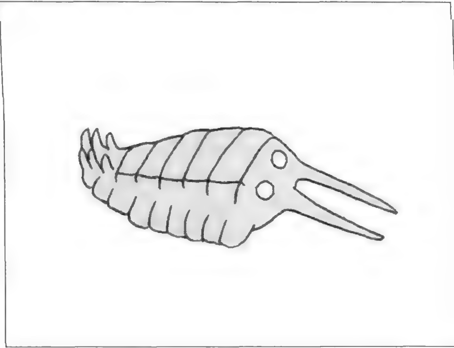
4


4番

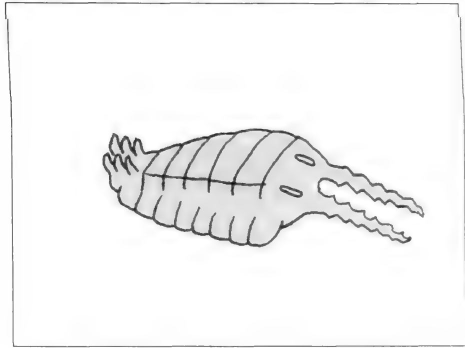


5番

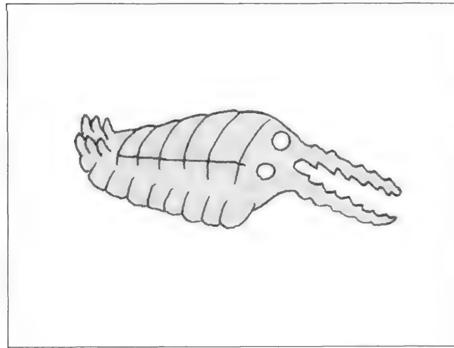
1



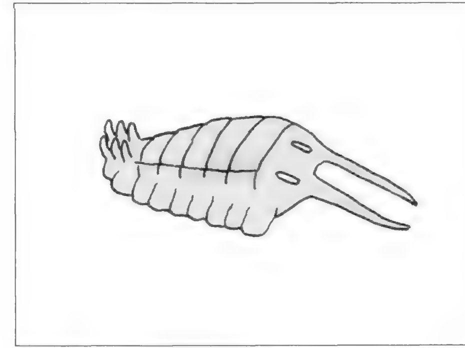
2



3



4



6番

1



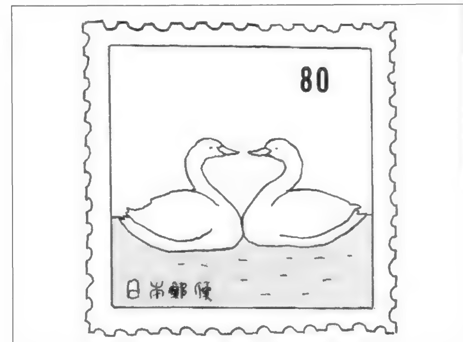
2



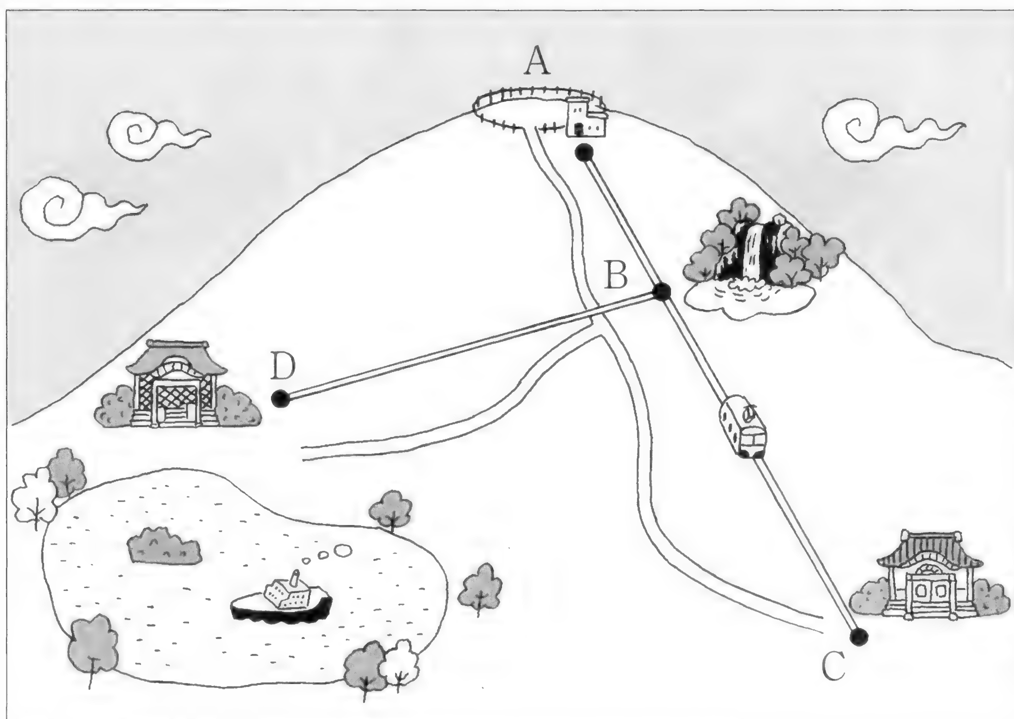
3



4

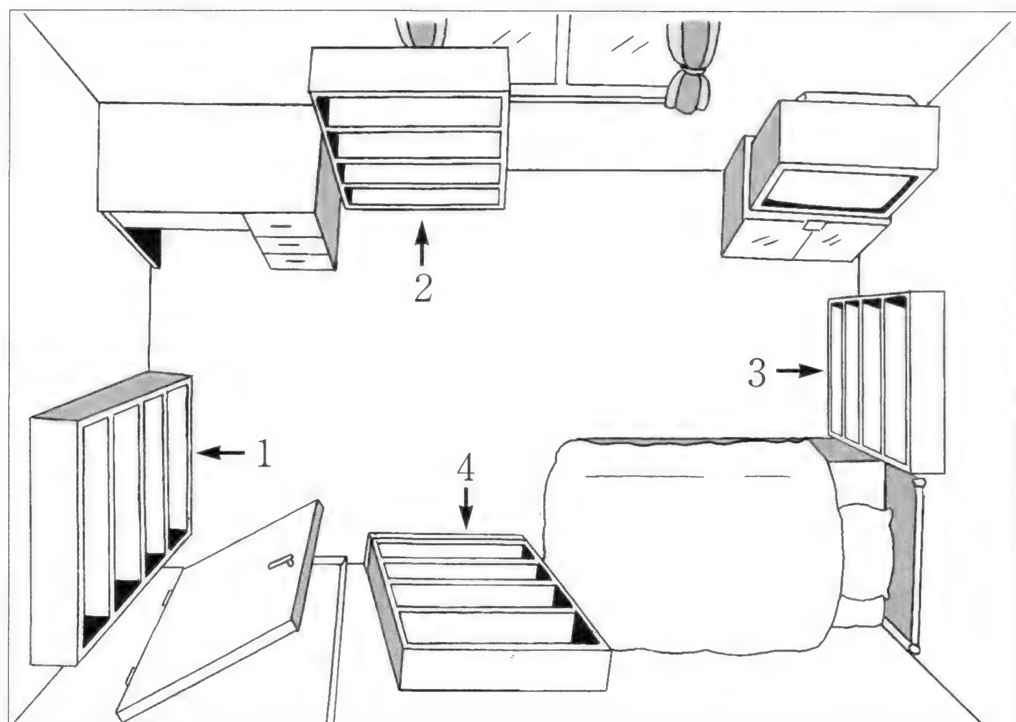


7番

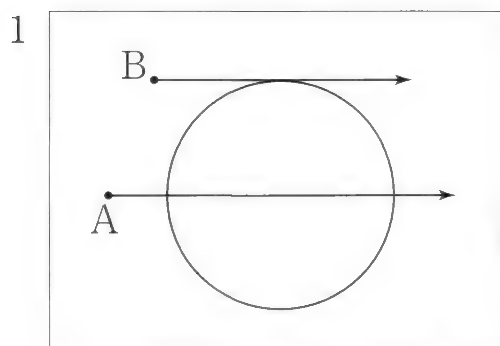


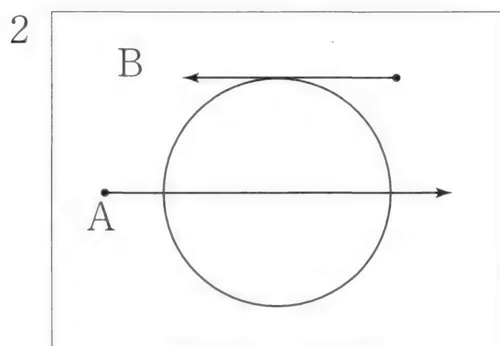
1　C → A → B → D
2　D → B → A → C
3　C → B → D → A
4　D → B → C → A

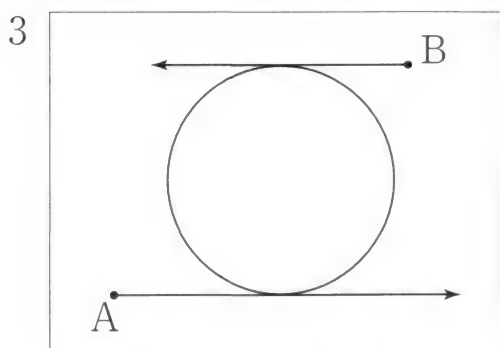
8番

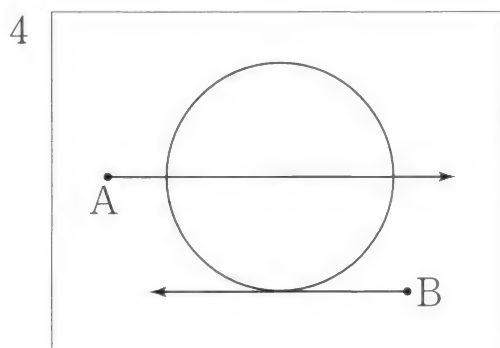


9番

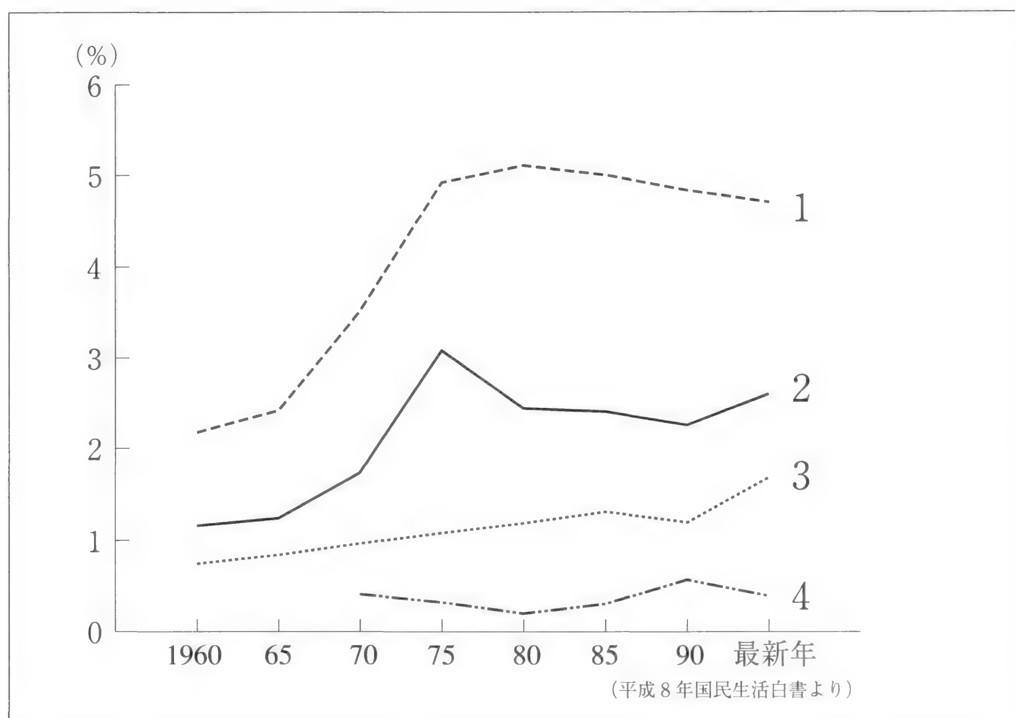
1


2


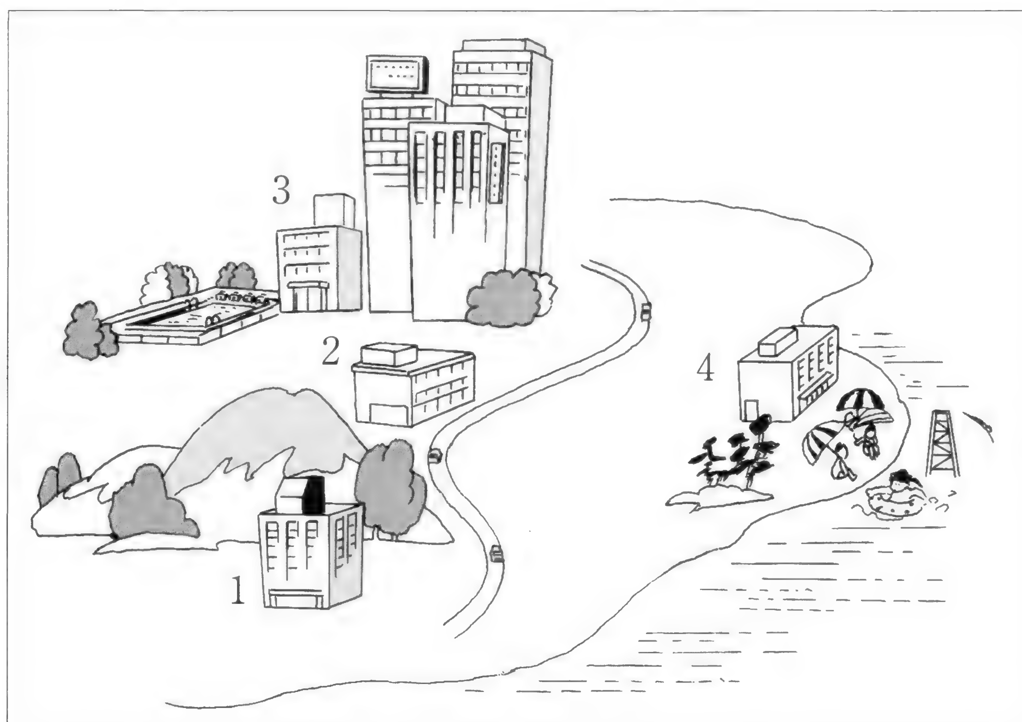
3


4


10番



11番



問題 II

例

		問 題 II			
例	正しい	①	②	③	●
	正しくない	●	●	●	④
1	正しい	①	②	③	④

1番　2番　3番　4番　5番　6番

7番　8番　9番　10番　11番　12番

13番　14番　15番



読解・文法 （200点　90分）

問題Ⅰ　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、１・２・３・４から最も適当なものを一つ選びなさい。

心魅(ひ)かれる女性に会うと、「この人は何歳だろうか」と考えてしまう自分に気がつく。なぜ年齢に関心を持つのだろうか。女もすてきな男を見たときは、歳を知りたがるのだろうか。

他人と関係するには、自分と相手との年齢の距離を測っておいたほうが都合がいいのだろうか。結婚したいとか、養子にとりたいと思う場合には、年齢は多少考慮の余地があるかもしれない。ビジネスの場合は、とくに日本ではまだ目上・目下という序列(じょれつ)(注１)の感覚が残っているから、そういう配慮①が必要かもしれない。

けれども、単に好きになった相手の年齢がどうして必要なのだろうか。その人がそこにいる、というだけでは、心が満たされない。人間は、その来歴(らいれき)(注２)にかかわる情報が伴って、はじめて完全な人間と認められるのだろうか。そこが他(ほか)の動物と違うところなのか、あるいは、ぼくたちがゆがんだ文化②のなかにいるのか。

先日、東京で一人の中年男性が病死した。五年間いっしょに生活していた女性が、死亡届を出そうとしたら、彼の戸籍(こせき)(注３)抄本(しょうほん)(注４)も身分証明書も偽物だったという。夫はいったい誰(だれ)だったのだろうかという疑問が彼女の心を揺り動かす。

決して彼にだまされたとは思わないし、ともに過ごした月日に悔(く)いはないが、それでも夫の正体を突きとめたいという気持ちは強い。出身、経歴、資格、そして年齢という情報を抜きにしては、アイデンティティ(注５)が成り立たないのであろう。

人を見るとすぐ年齢を推測するという習性は、日本の社会にかぎらないが、年齢によって行動様式が規制される文化のなかで育った意識だろうか、「年相応(としそうおう)」という考え方は、とくに日本において強いようである。

ぼくたちは、人に会ったときに、相手が何歳ぐらいだろうかという見当をつける。そして、その見当があたっているかどうかを確かめたい誘惑にかられる。「若い」とか「老けている」という評価は、戸籍の上の年齢を知ったうえでなければ下せない。つまり、（　③　）な印象なのである。

日本では、成人してしまえば、それから年をとることは「（　a　）」であり、それはもう（　b　）を意味している。小さな字が見えなくなり、すぐ疲れるようになり、記憶力も衰えてくる。（　a　）のイメージはすべてマイナスである。

けれども、最近の研究によると、戸籍上の「暦年年齢」は、実際に仕事をする能力とはあまり関係がないのだそうである。そこで、アメリカでは「機能年齢」④という新しい概念が生まれた。主として労働市場で使われているようだが、これは職務遂行(注６)能力を測って決められる年齢なのだ。

（　⑤　）。だから、暦年を基礎とする定年制は、年齢による差別だとして、アメリカでは禁じられるようになったという。日本人も、この十五年間のあいだに、機能年齢がほぼ十歳若返ったようだ。

むろん機能年齢が暦年年齢より若い人ばかりとはかぎらない。四十歳でも能力は六十歳なみに落ちているという人もいる。だから、暦年年齢で割り切ると不公平になるのである。

（金子勝昭『正しい頭の禿げ方』風媒社　による）

（注１）序列：身分や年齢を一定の基準で並べた順序

（注２）来歴：物や人の今までの歴史

（注３）戸籍：家族の名前、生年月日などを書いた公式の文書

（注４）抄本：元の書類から一部を写した書類

（注５）アイデンティティ：自分だけが持っているほかと違う性格や性質

（注６）遂行：（仕事を）最後までをすること

問１　①「そういう配慮」とはどういうことか。

1　異性に会ったときその人の歳を考えること

2　自分と相手がいくつ違うか考えること

3　自分が相手より歳が多いと思わせること

4　年齢の離れている人とは付き合わないこと

問２　②「ゆがんだ文化」とは、ここではどういうことか。

1　相手の存在だけで満足できず、年齢などの情報を求める文化

2　どの人も完全な人間だと認めようとしない文化

3　動物と違って、相手のことを理解しようとしない文化

4　年齢などの情報だけで相手を完全に信じてしまう文化

問３　（　③　）に入る適当な言葉を選びなさい。

1　主観的　　2　感覚的　　3　個別的　　4　相対的

問4　（　a　）（　b　）に入る組み合わせとして正しいのはどれか。

1　a　退化　　b　能力が衰えること

2　a　退化　　b　筋力が弱くなること

3　a　老化　　b　能力が衰えること

4　a　老化　　b　筋力が弱くなること

問5　④「機能年齢」とはどういうことか。

1　体の機能を調べて、どのぐらい正常かという数値で見た年齢のこと

2　能力とは関係のない、まったく新しい概念で考え出した年齢のこと

3　きちんとした仕事がどのくらいできるか、という基準で見た年齢のこと

4　どのぐらい働くとどのぐらい疲れるか、という統計から考えた年齢のこと

問6　（　⑤　）に入る最も適当な文章はどれか。

1　中高年の職業能力は、思ったよりも高く、安定しているので、暦年年齢はむしろ当てにならない。

2　中高年の職業能力は、あまり高くなく、年とともに低下するので、暦年年齢はかなり当てになる。

3　中高年の職業能力は、思ったよりも高いが、かなり不安定なので、暦年年齢を考慮したほうがいい。

4　中高年の職業能力は、人によって個人差があるので、暦年年齢を無視しては正しい判断ができない。

問7　作者は「年齢」をどのように考えているか。

1　日本では年齢がたいへん重要だが、アメリカではそれほど重要視されていない

2　日本では年齢を考えた行動を期待されるが、年齢はその人の本当の姿を伝えていない

3　日本人は年齢を気にするから、アメリカの機能年齢という概念は受け入れられない

4　日本でもだんだん年齢を重要視しなくなっているので、年齢を気にする必要はない

問題Ⅱ　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、１・２・３・４から最も適当なものを一つ選びなさい。

人間はその生活を維持し、その内容を充実させていくために、積極的に仕事をしていかなくてはならない。そのために、からだは思うように動き、十分な力と、十分なスピードと、十分な持久力を持っていることがのぞましい。これを体力といっている。こうした体力は、その差はあっても、男女ともに必要なものである。また、一方においてわれわれは、ある程度の寒さや暑さには、平気で耐えていくだけの抵抗力や、少しくらいのばいきんは殺してしまうくらいの免疫力(注１)をもっていなくては、とうてい自然環境の中で生活を維持していくこと(①)はできない。こうした、からだの能力(②)も体力の一種である。（　③　）、体力を２つに分けて、前者のような体力を行動体力とよび、後者のような体力を防衛体力とよぶことがある。防衛体力が男女共通に必要なことはいうまでもないことである。

行動体力のなかには、また２つの要素がふくまれている。その１つは、筋力、スピード、持久力(注２)といったもので、これらはエネルギーから見た体力ということができる。いかにたくさんのエネルギーを一時に、また（　④　）出すことができるかということであって、からだの大きさ(⑤)、筋肉の太さ、心臓の大きさなどが関係する。従って、これは一般に男子の方が女子の体力を上回るわけである。とくに高校期以後には、そうである。ところが、もう１つの体力、すなわち、巧緻(こうち)性(注３)、平衡性(注４)、などといった調整力になってくると、主として神経のはたらき(⑥)によるものであるので、からだの大きさとはあまり関係なく、また筋力や持久力とも関係が少ないので、男女の間にあまりちがいがない。とくに細かい動作の調整などは、（　a　）の方が（　b　）を上回るものである。

（栗本義彦、今村嘉雄『高校スポーツとルール』大修館書店 による）

（注１）免疫力：ばいきんなどがからだに入っても病気にならない強さ

（注２）持久力：そのままの状態で、長く続ける力

（注３）巧緻(こうち)：非常に細かく、巧みなこと

（注４）平衡：バランス

問１　①「自然環境の中で生活を維持していく」とあるが、ここではどういうことか。

1　都会を離れて、田舎で生活できる

2　暖冷房なしに生活する

3　特別なことをしないで普通の状態で生活する

4　野外で生活する

問２　②「こうした、からだの能力」とあるが、どのような能力か。

1　抵抗力や免疫力

2　持久力やスピード

3　筋力や抵抗力

4　調整力や持久力

問３　（　③　）に入る最も適当な言葉はどれか。

1　それも　　2　そこで　　3　そして　　4　それに

問４　（　④　）に入る最も適当な表現はどれか。

1　タイミングよく

2　長時間にわたって

3　自分の意のままに

4　爆発的に

問５　⑤「からだの大きさ」、⑥「神経のはたらき」に関係のある体力は、それぞれ何か。

1　からだの大きさ：筋力　　神経のはたらき：調整力

2　からだの大きさ：行動体力　　神経のはたらき：防衛体力

3　からだの大きさ：抵抗力　　神経のはたらき：持久力

4　からだの大きさ：スピード　　神経のはたらき：免疫力

問６　（　a　）（　b　）に入る言葉の組み合わせとして正しいのはどれか。

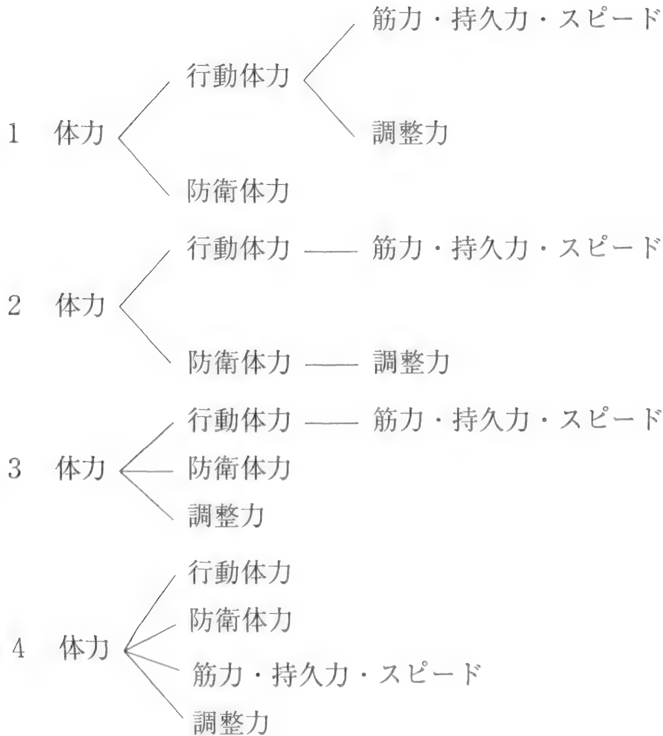
1　a　男子　　b　女子

2　a　女子　　b　男子

3　a　子供　　b　大人

4　a　大人　　b　子供

問７　この文章で述べられている「体力」の分類を表すものとして、最も適当なものはどれか。



問題Ⅲ　次の（１）～（７）の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを１・２・３・４から一つ選びなさい。

（１）「およそ報道に携わる者は、厳正で中立的な立場に立ち、事実に基づいた客観的な報道を行うべきである」

今の日本でのこの命題に異を唱える人は、おそらくほとんどいないであろう。そしてまた多くの人が、たまには間違うことがあるにしても、新聞に書かれていることはおおむね（注１）正しく、記者の主観とは離れた客観的な事実であると信じているはずだ。それは日本のマスコミがこれまで、そうした「客観報道主義」を標榜（ひょうぼう）（注２）してきた結果だ。これに対してフランスなどでは、ある事柄に対して筆者の意見や判断をはっきり述べる、いわゆる「主観報道」、オピニオン紙的な報道の仕方が主流である。米国でも記者やメディアの主張を明確にするニュージャーナリズムが評価された時期もあった。それでは本当に日本の報道はそれほど客観的なのだろうか？

（浅野健一『マスコミ報道の犯罪』講談社文庫　による）

（注１）おおむね：だいたい

（注２）標榜（ひょうぼう）する：行動の理由や目標にする

【問い】「それほど」とあるが、どの程度か。

1　アメリカやフランスの報道と同じ程度

2　多くの日本人が信じている程度

3　主観報道より優れていると言える程度

4　まったく間違いがないと信じられる程度

（2）地球上の人類の連帯性という考え方は、もちろん、二十世紀に初めて出てきたのではなく、すでに古くから説かれてきたものです。しかし、最近では、文字通り、人類の共生（きょうせい）（注1）ということが、たんなる理想や義務の問題としてではなく、のっぴきならない現実の課題（注2）として認識されるようになりました。こうした自覚は、じつは、第二次世界大戦後、間もなく、現代を核時代としてとらえる見方から生まれてきたものです。とくに核兵器の脅威（きょうい）を前にして、世界の人たちが手を携えて人類共滅の危機に反対する平和運動が起こりました。そうした中に、すでに《地球市民》としての自覚が芽生えていたといえるでしょう。

（宮田光雄『いま人間であること』岩波書店 による）

（注1）共生（きょうせい）：いっしょに生きていくこと

（注2）のっぴきならない：どうしてもさけられない

【問い】「人類の共生（きょうせい）」が、「のっぴきならない現実の課題」となったのはなぜか。

1　古くから説かれてきた人類の連帯性という考え方のため

2　地球市民としての自覚を促すため

3　核戦争のおそれが現実味を増したため

4　第二次世界大戦を反省するため

（3）子供の成長のために、母親の愛はかけがえのないものである。身近に自分を保護してくれるもの（母親）がいるという安心感にささえられていてこそ、子供は、正常な成長をとげることができる。

母親が、何らかの事故でいなくなってしまったサルの場合、子ザルはかなり大きくなっても、ほとんどうごこうとせず、仲間にもうちとけていくことができない。したがって、母ザルの愛を欠いた子ザルは、群れ（社会）の正常なメンバーとなることは難しい。

（中川志郎『動物子育て物語』佼成出版社 による）

【問い】「母ザルの愛を欠いた子ザル」は、どうして群れの正常なメンバーになることができないのか。

1　成長が遅く、からだが極端に小さいから
2　心が不安定で、仲間ができないから
3　仲間のサルにいじめられることが多いから
4　事故にあってけがをするものが多いから

（4）　現代の東京は一極集中都市の限界に至ったとして、今や遷都論（注1）、展都論（注2）などがかまびすしい（注3）。確かに過密住宅、交通戦争、ゴミ戦争の実態を思うと、ひとときは耳を貸さないわけでもない。しかし、それほどの問題を抱える都市ならば、通常人口が激減するはずである。それがさほどでないばかりか、東京を職場とする人々の首都圏人口は、増えつづけている。一方、外国人のなかには、東京を日本の代名詞のように考えている者もあれば、東京にいなければ日本がわからないという人もいる。そして、ロンドン、パリ、ニューヨークのような国際都市であると考える人たちも増加している。このように［　　　　　］。

（小木新造『江戸東京学への招待［1］文化誌篇』NHKブックス による）

（注1）遷都：首都をほかの場所に移すこと
（注2）展都：首都の機能の一部をほかの場所に移し、分散させること
（注3）かまびすしい：やかましい

【問い】この文章の［　　　　　］の部分には、どんな文が入るか。

1　東京の欠陥を指摘する声も高ければ、東京の魅力を喧伝（けんでん）する人もある
2　東京の環境が悪化するという予測もあれば、更なる発展を予測する人もある
3　東京の人口が多いことのマイナス点を指摘する人もあれば、プラス面を説く人もある
4　東京の閉鎖性を問題にするものもあれば、国際性を主張する声もある

（5）　下のＡ～Ｄは、それぞれア、イ、ウ、エのどこかに入る文です。

日本列島の面積は小さいが南北に細長い。

ア　その上

イ　一国で

ウ　日本列島に

エ　いうまでもなく

Ａ　それはこの国が水に恵まれていることと、植物の生長著しい春から夏の時期が、気温も高くなり、夏には高温多湿、時には耐えがたいほどの湿気が国土の大半を覆うということと切り離すことができない事実である。

Ｂ　これだけ長い海岸線と南北の緯度の差を有する国はごく少ないのではないかと思う。

Ｃ　茂る植物の種類の多さも世界的で、ヨーロッパの十倍以上だとか、いや五十倍も多いのではないかとか、そんな風に聞いたことがある。

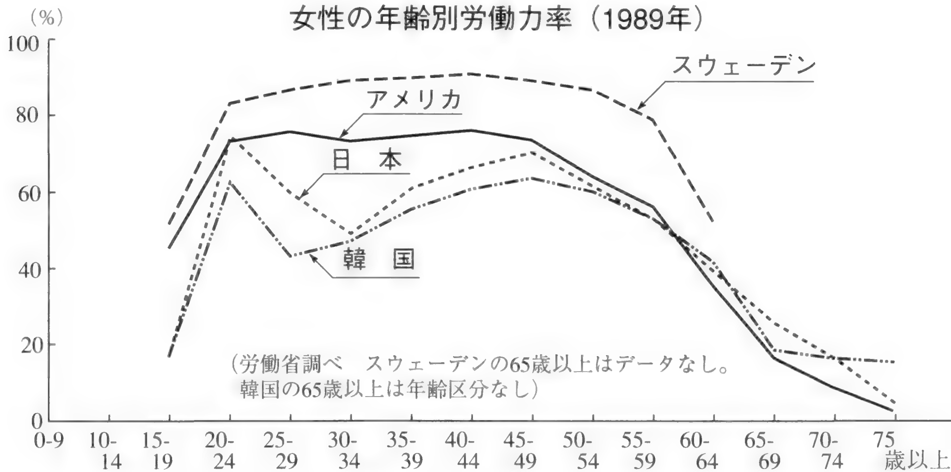
Ｄ　四面が海に囲まれているため、海岸線はきわめて長い。

（大岡信『うたのある風景』日本経済新聞社 による）

【問い】正しい組み合わせのものを選びなさい。

1　ア：Ｄ　イ：Ａ　ウ：Ｃ　エ：Ｂ
2　ア：Ｂ　イ：Ｄ　ウ：Ｃ　エ：Ａ
3　ア：Ｂ　イ：Ｃ　ウ：Ａ　エ：Ｄ
4　ア：Ｄ　イ：Ｂ　ウ：Ｃ　エ：Ａ

（６）次のグラフは女性の年齢別労働力率を表したものです。



【問い】 グラフの説明として正しいものを選びなさい。

1　女性の労働力率(注１)は、産業構造、女性の社会的役割などにより、各国で異なっている。スウェーデン、アメリカ、韓国、日本の４カ国とも40歳代で最大になっているが、スウェーデン、アメリカでは山型を、韓国、日本では、M字型を描いている。韓国、日本で、M字型を描くのは、20歳代後半から30歳代にかけて出産、育児を担うためで、女性の社会的役割の差がグラフに表れているといえる。

2　女性の労働力率は、産業構造、女性の社会的役割などにより、各国で異なっている。女性の労働力率の高いスウェーデンでは、出産・育児による労働力の落ち込みはみられず、20歳代半ばから50歳代半ばまで９割近い労働力率を保っている。一方、日本では、20歳代前半に労働力率のピークを迎え、その後結婚、出産、育児で低下し、30代後半から再び上がるM字型になっている。

3　女性の労働力率は、産業構造、女性の社会的役割などにより、各国で異なっている。女性の労働力率の高いスウェーデン、アメリカでは、出産・育児による労働力の落ち込みはみられず、すべての年齢層で日本、韓国を上回っている。日本、韓国では、労働力率のピークは20歳代前半であり、その後結婚、出産、育児のため低下し、30代後半から再び上がるM字型になっている。

4　女性の労働力率は、産業構造、女性の社会的役割などにより、各国で異なっている。日本、韓国では、20歳代前半に高い労働力率を示すが、その後結婚、出産、育児で半減し、30歳代後半から再び上がり最大値に至るM字型になっている。一方、スウェーデンでは、出産・育児による労働力の減少はみられず、20歳代半ばから50歳代半ばまで９割近い労働力率を保っている。

（注１）労働力率：就業者と失業者を加えた労働力人口が15歳以上の総人口に占める割合

（7） 現在の日本は食料の量と種類の分配（ぶんぱい）(注1)における、いちじるしい社会格差をもたず、とびきり上等の料理を別とすれば、外食でプロの料理人のつくる味も民衆が楽しむことができ、料理技術に関する情報の偏在（へんざい）(注2)もない社会 ——「食の民主化」が達成された社会 —— となっている、といわざるを得ない。そんないい社会に住んでいる覚えはないといわれるかもしれないが、世界にはもっと食に関する社会的格差のいちじるしい、不平等な社会がたくさんあり、巨視的（きょしてき）(注3)にそのような社会との比較をしてみた場合、世界のなかでも国民の食をめぐる経済や文化の平均化現象が、もっとも進行した社会のひとつであるといってさしつかえない。

（石毛直道『食事の文明論』中公新書 による）

（注1）分配（ぶんぱい）：分けて配ること

（注2）偏在（へんざい）：あるところにかたよって多く存在すること

（注3）巨視的（きょしてき）：物事に対する全体的な見方

【問い】「食の民主化」とは、どのようなことか。

1 外食でプロがつくる料理は平均的な味がすること

2 民衆がすばらしい料理技術を持っていること

3 食料の量や種類、料理の技術に、社会格差がないこと

4 世界の経済や文化の平均化現象のこと

問題Ⅳ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。１・２・３・４から最も適当なものを一つ選びなさい。

（１）昨日は疲れていたので、一日中何をする＿＿＿、ぼんやりしてすごしてしまった。

1　とばかりに　　2　ともなく　　3　ところで　　4　ともなれば

（２）外食ばかりが続くと野菜が不足＿＿＿になるので、気をつけなければならない。

1　がてら　　2　みたい　　3　がち　　4　ずくめ

（３）核戦争が起こることは想像する＿＿＿恐ろしい。

1　さえ　　2　こそ　　3　だに　　4　とは

（４）周囲の心配を＿＿＿、息子は戦地へ取材に行ってしまった。

1　さておき　　2　のぞいて　　3　よそに　　4　およばず

（５）日本に来たころはひらがな＿＿＿読めず、友人も仕事もなかなかみつけられなかった。

1　こそ　　2　ばかりか　　3　ほど　　4　すら

（６）どんなにたくさん資格をとった＿＿＿、生かさなければ、ないのと同じだ。

1　つもりで　　2　ところで　　3　とあって　　4　といったら

（７）医者＿＿＿、いつも人の生命を自分の名声より大切にしなければならない。

1　たる者　　2　に限る者　　3　になった者　　4　の者

（８）以前のようには走れない＿＿＿、自分の足で歩けるようになりたい。

1　までに　　2　までも　　3　までで　　4　までもなく

（９）経験豊かな君＿＿＿、推薦できる人はほかにいない。

1　でおいて　　2　をおいて　　3　であって　　4　をあって

（10）昨日の花見は、好天気＿＿＿大勢の人が来ていた。

1　によると　　2　にとって　　3　と相まって　　4　というと

（11）その飛行機は離陸する＿＿＿、エンジンが故障し、空港に引き返した。

1　とたん　　2　そばから　　3　や否や　　4　にさいして

(12) 新聞_____誤りを報じてしまうこともあるが、そのときは必ず訂正しなければならない。

1　としたら　　2　といえども　　3　にとって　　4　にしてみれば

(13) 風邪で熱があったので、うちに帰る_____寝てしまった。

1　さい　　2　べく　　3　なり　　4　にいたって

(14) いつもの_____、連休は高速道路も遊園地もひどく込んでいた。

1　ことにて　　2　ことから　　3　ことなしに　　4　ことながら

(15) 小犬にミルクをやろうとすると、待ってました_____飛びついてきた。

1　とばかりに　　2　として　　3　かぎりに　　4　ついでに

(16) このコンピューターは、小さい_____機能が充実していて使いやすい。

1　に反して　　2　とて　　3　に比べて　　4　ながらも

(17) 今回の事故は法律_____処理され、彼は厳しい罰を受けるだろう。

1　に対して　　2　に即して　　3　にわたって　　4　についての

(18) 日本_____文化や伝統を後世に残していきたい。

1　だらけの　　2　かぎりの　　3　ならではの　　4　気味の

(19) 読書ばなれが進み、小説_____、マンガも読まれなくなった。

1　だからこそ　　2　しだいでは　　3　からして　　4　はおろか

(20) 女性であるが_____そんな扱いをされるのは、腹立たしい。

1　らしい　　2　らしく　　3　ゆえに　　4　ゆえの

(21) 国の発展_____、地球の環境を第一に考えなければならない。

1　もさることながら　　2　によって

3　ながら　　4　にとって

(22) 親のしつけが子供の性格形成_____ことは言うまでもない。

1　に通じる　　2　にともなう　　3　に関する　　4　にかかわる

問題Ⅴ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。１・２・３・４から最も適当なものを一つ選びなさい。

（1）睡眠不足が続きストレスがたまると、なんでもないことで腹がたち、関係のない人にまで＿＿＿。

1　怒らざるをえない　　2　怒らないものだ
3　怒ってしまう　　4　怒らないかもしれない

（2）交通事故でうでの骨を折って、手が痛くてペンも持てない＿＿＿。

1　せいだ　　2　つもりだ
3　始末だ　　4　どころだ

（3）戦争で難民になった人たちの苦労話を聞かされると、同情を＿＿＿。

1　禁じるまでもない　　2　禁じ得ない
3　禁じようもない　　3　禁じるべきだ

（4）給料さえよければ、少々危険な仕事でも引き受け＿＿＿。

1　ないはずだ　　2　ないにもほどがある
3　ないほうがいい　　4　ないものでもない

（5）他人のことをあれこれ聞かされるのもがまんならないのに、まして自慢話などは聞く＿＿＿。

1　にもほどがある　　2　に限る
3　ものだ　　4　に耐えない

（6）電車の中で子供たちが騒ぐのは多少は仕方ないが、そんな子供を見て見ぬふりをする親は不愉快＿＿＿。

1　きわまりない　　2　きわまるはずだ
3　きわまるべきだ　　4　きわまるまい

（7）近年、日本は出生率が低くなっているが、しかし、いま政府があわてて対策をたてても、急に高くなる＿＿＿。

1　わけではないだろう　　2　かもしれない
3　のではないか　　4　わけだ

問題Ⅵ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。１・２・３・４から最も適当なものを一つ選びなさい。

（1）外国人との交流が最近さかんになってきた。それにともなって外国語を習う人は増えてきた＿＿＿、外国人と本当に付き合っていこうという人はまだ少ないようだ。

1　ものとして　　2　ものの

3　ものならず　　4　もののほか

（2）日本人には根強い持ち家志向がある＿＿＿、1970年代以降、持ち家率は60%前後で大きな変化はない。それは、地価が高くて買いたくても買えない人が増えたためだ。

1　ばかりか　　2　どころか

3　とみえて　　4　にもかかわらず

（3）人間は直立歩行するようになって、脳が大きくなり「言語」というかけがえのないものを発見した。いまや人間は「言語」＿＿＿、伝達も思考もできない。

1　なしに　　2　にして

3　ともなると　　4　だけが

（4）景気が悪くなって＿＿＿、ボーナスは以前より少なくなり、金利も低くなり、生活は苦しくなる一方だ。そのうえ税金まであがるとは、どういうことだ。

1　からして　　2　からいうと

3　からというもの　　4　からみて

（5）人間ほど面白い動物はいない。だからこそ、人間を描く作家という職業を選択して現在に＿＿＿のだと思う。

1　ともなった　　2　いたった

3　ついた　　4　わたった

（6）教科書には笑いだすような教材はひとつもない。どれもまじめで、おもしろいことなど教える＿＿＿と、思っているのかもしれない。

1　までもない　　2　までだ

3　までに　　4　まで

日本語能力試験
1級模擬テスト

第2回



文字・語彙 （100点　45分）

問題Ⅰ　次の文の下線をつけた言葉は、どのように読みますか。その読み方をそれぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

問1　彼を信頼(1)しきっていただけに、欺かれた(2)と知ったときの衝撃(3)は大きく、心身(4)ともにまいってしまった。

（1）信頼　1　しんよう　2　しんらい　3　しんぷく　4　しんにん

（2）欺かれた　1　あざむかれた　2　そむかれた　3　まねかれた　4　はじかれた

（3）衝撃　1　こうげき　2　どうげき　3　ついげき　4　しょうげき

（4）心身　1　しんみ　2　しんじん　3　しんたい　4　しんしん

問2　借金(1)の返済(2)の延期を申し出たら、露骨(3)に嫌な(4)顔をされた。

（1）借金　1　しゃきん　2　じゃきん　3　しゃっきん　4　かりきん

（2）返済　1　へんざい　2　へんさい　3　はんさい　4　はんせい

（3）露骨　1　ろほね　2　さこつ　3　ろっこつ　4　ろこつ

（4）嫌な　1　きらいな　2　いやな　3　きれいな　4　ひまな

問3　漠然と(1)議論を続けていても意味がない。問題点を絞って(2)、改める(3)べき点を明らかにし、その上で解決策(4)を考えたほうがよいだろう。

（1）漠然と　1　ばくぜんと　2　ばくねんと　3　まくねんと　4　まくぜんと

（2）絞って　1　しばって　2　しぼって　3　あつかって　4　あたって

（3）改める　1　たしかめる　2　きわめる　3　あらためる　4　とがめる

（4）解決策　1　かいけつほう　2　かいけっぽう　3　かいけっさく　4　かいけつさく

問4　下町(1)の雰囲気(2)が漂う(3)浅草は今も観光客に人気がある。

（1）下町　1　しもちょう　2　したまち　3　げちょう　4　げまち

（2）雰囲気　1　ぶいき　2　ふいき　3　ふんいき　4　ふっいき

（3）漂う　1　ただよう　2　さまよう　3　うるおう　4　さそう

問題Ⅱ　次の文の下線をつけた言葉は、ひらがなでどう書きますか。同じひらがなで書く言葉を、１・２・３・４から一つ選びなさい。

（例）彼は身長が190センチ以上ある。

1　異常　　2　移住　　3　医者　　4　衣装

例の文の下線の言葉は、ひらがなで「いじょう」と書きます。１～４の言葉はそれぞれ、１は「いじょう」、２は「いじゅう」、３は「いしゃ」、４は「いしょう」と書きます。例の文の「いじょう（以上）」と１の「いじょう（異常）」はひらがなで同じ書き方ですから、正解は１です。

（１）母校のチームの勝利に応援していた人たちは歓声をあげた。

1　感情　　2　鑑賞　　3　完成　　4　火星

（２）先生の推薦で、就職が決まった。

1　睡眠　　2　新鮮　　3　水洗　　4　申請

（３）あしたは用事があって少し遅れます。

1　幼児　　2　要旨　　3　陽気　　4　様子

（４）みんなの了解を得て、計画を変更した。

1　料金　　2　例外　　3　後悔　　4　領海

（５）オリンピックの開催を契機に、町は大きく発展した。

1　決起　　2　敬具　　3　景気　　4　後期

問題Ⅲ　次の文の下線をつけた言葉は、どのような漢字を書きますか。その漢字をそれぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

問1　ぎょうせき(1)ふしん(2)の会社はがっぺい(3)やとうさん(4)に追いこまれている。

（1）ぎょうせき	1　業績	2　業責	3　業積	4　業席
（2）ふしん	1　不信	2　不振	3　不審	4　不心
（3）がっぺい	1　会平	2　会併	3　合併	4　合平
（4）とうさん	1　到産	2　等産	3　党産	4　倒産

問2　かそ(1)地では高齢化にともない(2)、老人のかいご(3)が大きなかだい(4)になってきた。

（1）かそ	1　過疎	2　過疏	3　家疎	4　家疏
（2）ともない	1　供い	2　伴い	3　半い	4　判い
（3）かいご	1　介御	2　介後	3　介子	4　介護
（4）かだい	1　科題	2　課題	3　過題	4　家題

問3　そうおん(1)にたえられなく(2)なって、こうがい(3)にてんきょ(4)した。

（1）そうおん	1　奏音	2　掻音	3　送音	4　騒音
（2）たえられなく	1　頑えられなく		2　絶えられなく	
	3　堪えられなく		4　堕えられなく	
（3）こうがい	1　構外	2　公害	3　郊外	4　公街
（4）てんきょ	1　展居	2　転居	3　展拠	4　転拠

問4　泣いている子供のきげん(1)をなおす(2)ためにおかし(3)をかってやった。

（1）きげん	1　気嫌	2　気言	3　機言	4　機嫌
（2）なおす	1　訂す	2　直す	3　置す	4　正す
（3）おかし	1　お課子	2　お果子	3　お家子	4　お菓子

問題Ⅳ　次の文の下線をつけた言葉の二重線（＿＿）の部分は、どのような漢字を書きますか。同じ漢字を使うものを、１・２・３・４から一つ選びなさい。

（例）携帯電話はつうしんのあり方を大きく変えた。

1　開会式は予定どおりしんこうしています。

2　日本と中国のしんぜんを深めるため、中国からパンダが贈られた。

3　どんなときでもしんらいできる友達を持ちたいものだ。

4　それぞれの地域で、しんせいな場所というものが語り継がれている。

例の文の下線の言葉は「通信」と書きます。１～４の言葉はそれぞれ、１は「進行」、２は「親善」、３は「信頼」、４は「神聖」と書きます。例の文の「通信」の「しん」と、３の「信頼」の「しん」は同じ漢字ですから、正解は３です。

（１）月にすうかいゴルフに行きます。

1　かいぎは午後３時からです。

2　火曜日と金曜日に燃えるゴミのかいしゅうがあります。

3　友達に新しい英語の先生をしょうかいしてもらった。

4　この車はブレーキにかいりょうが加えられている。

（２）最近、きぎょうの犯罪が増えている。

1　来週までに新しいきかくを考えなければならない。

2　彼女のオリンピックでのきろくは当分破られないだろう。

3　スポーツはきほんが大事だ。

4　昔の学校はきりつが厳しかった。

（３）この辺ははいすいが悪くて、雨が降ると水浸しになる。

1　この店は少ない買い物でもはいたつしてくれる。

2　先生の著作をはいけんしたいものだ。

3　スポーツはしょうはいよりも、楽しむものだ。

4　危険な物は公共の場所からはいじょされるべきだ。

（4）石油などのきちょうな資源を浪費してはならない。

1　ここは落石の危険がありますので、しんちょうに運転してください。

2　この山のちょうじょうから海が見渡せる。

3　日本料理のとくちょうはあっさりしていることでしょう。

4　21世紀は自然とのちょうわが大きな問題になるだろう。

（5）駅前に多くの自転車がほうちされている。

1　地震でほうかいした家屋は10軒以上にのぼった。

2　犯人は逮捕され、人質も無事かいほうされた。

3　語学が上達するほうほうは決して一つだけではない。

4　部長は部下のほうこくを聞いて、すぐ得意先に電話をかけた。

問題Ⅴ　次の文の＿＿＿の部分に入れるのに最も適当なものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

（1）ようやく完成の＿＿＿がたった。

1　めもり　　2　めど　　3　めやす　　4　めじるし

（2）医学の発展のためとはいえ、＿＿＿動物を殺すのは避けなければならない。

1　むやみに　　2　むじゃきに　　3　むりに　　4　むちゃくちゃに

（3）久しぶりにあった友達と話が＿＿＿、帰りが遅くなった。

1　すすんで　　2　はねて　　3　とんで　　4　はずんで

（4）先生は、できない生徒にも＿＿＿よく教えた。

1　我慢　　2　根気　　3　辛抱　　4　努力

（5）空腹と疲労で＿＿＿になってしまった。

1　だらだら　　2　たらたら　　3　ぶらぶら　　4　ふらふら

（6）今度の旅行は、予算をかなり＿＿＿してしまった。

1　オーケー　　2　バック　　3　イメージ　　4　オーバー

（７）女優は黒地に金や銀の糸で刺繍（ししゅう）した＿＿＿衣装を着て、舞台に現れた。

1　しとやかな　　2　あざやかな　　3　さわやかな　　4　きらびやかな

（８）ガス爆発の事故があったときの悲惨な＿＿＿を思い出す。

1　風景　　2　光景　　3　ながめ　　4　みはらし

（９）ごみはまとめて、＿＿＿につかないところに置いておいてください。

1　役目　　2　人目　　3　着目　　4　注目

（10）部長はいつも先頭に＿＿＿仕事をする。

1　来て　　2　立って　　3　歩いて　　4　向かって

（11）計画の成功のためには、全員協力を＿＿＿。

1　おとらない　　2　おしがらない　　3　おそれない　　4　おしまない

（12）この実験が＿＿＿うまくいかなかったとしても、新製品の開発には大した影響はない。

1　かりに　　2　いっそう　　3　つねに　　4　さらに

（13）兄の名前が「キクオ」で、妹の名前が「キクヨ」だなんて、＿＿＿困る。

1　ひとしくて　　2　ふさわしくて　　3　まぎらわしくて　　4　めあたらしくて

（14）この化石はかたそうに見えますが、＿＿＿こわれやすいので、気をつけて扱ってください。

1　しなやかで　　2　もろくて　　3　がんじょうで　　4　たくましくて

（15）父は、わたしのやることに＿＿＿文句を言う。

1　それぞれ　　2　めいめい　　3　いちいち　　4　おのおの

問題Ⅵ　次の（１）から（10）の＿＿＿の言葉の意味が、それぞれのはじめの文と最も近い意味で使われている文を、１・２・３・４から一つ選びなさい。

（例）むく……正面をむいてこの椅子（いす）に座ってください。

1　５歳ぐらいの女の子にむいた本を探しています。

2　磁石の針は北をむくのだから、こっちが北だろう。

3　１週間の入院で父の病気も快方にむいたようだ。

4　南にむいた日当たりのいい家を建てるのが長年の夢だ。

はじめに示された文の中の「むく」は「顔や体がその方向に面する」という意味です。１・２・３の「むく」はそれぞれ「ふさわしい」、「指す」、「～の方向に進む」という意味ですが、４の「むく」は「南に面する」という意味ですから、正解は４です。

（１）おさえる……早く傷口をおさえて出血を防ぎなさい。

1　ちょっと、この犬をおさえていてください。

2　借金の返済に、家財をおさえられてしまった。

3　大きい音がするけど、すぐ終わるから耳をおさえて我慢してください。

4　彼女は涙をおさえて、恋人を見送った。

（２）ね……環境汚染は原因をねから絶たないと解決しない問題だろう。

1　ケヤキの大木がしっかりとねを張っている。

2　週刊誌はねも葉もない噂（うわさ）を書き立てている。

3　親との関係、社会のありかたなど、少年事件のねはかなり深いようだ。

4　田中さんはねはいい人なんだが、口が悪いから誤解されている。

（３）あう……魚料理には白ワインのほうがあう。

1　彼は目があうと、恥ずかしそうに横を向いた。

2　彼とは何度も話したが、どうしても意見があわない。

3　窓の小さい北欧風の家は、日本の気候にあわない。

4　何回計算しても、答えがあわない。

（４）くろい……彼は平気で人をだます腹のくろい人間だ。

1　自転車で走り回っていたら、日に焼けてくろくなってしまった。

2　俺（おれ）の目がくろいうちはだれにもこの会社は譲らないつもりだ。

3　ゴミ処理場の建設ではくろい噂（うわさ）の流れることが多い。

4　父は顔を上げるとくろく汚れた腕で私を抱きしめてくれた。

（５）ことわる……しつこく頼まれて、ことわりきれなかった。

1　１カ月ぐらい留守にするので、近所の人にことわっておいた。

2　親に一言もことわらずに、大学を辞めてしまった。

3　この機械を使うときは、必ず係のものにことわってください。

4　旅行に誘われたが、ことわった。

（６）あいだ……親子のあいだにも秘密はあるものです。

1　若者のあいだでは次々に新しい言葉が生まれている。

2　親しいあいだだとはいえ、失礼な言い方は許されない。

3　このあいだ、古い車を処分したばかりだ。

4　夏休みのあいだはずっとアルバイトをします。

（７）かるい……かるいカゼなので、薬を飲むほどのこともない。

1　先週のテストはかるくできた。

2　交通事故にあったが、けがはかるかった。

3　あまりおなかは空いていないので何かかるいものをお願いします。

4　大事な仕事が無事に終わって、心がかるくなった。

（８）ほど……彼は憎らしいほど頭がいい。

1　彼にはお金が余るほどあるらしい。

2　手紙を半分ほど書いたとき、母から電話がかかってきた。

3　わがままを言うにもほどがある。

4　約束より15分ほど早く着いてしまった。

（９）かける……彼女はすばやくエンジンをかけて、車をスタートさせた。

1　ラジオをかけて、交通情報を聞いた。

2　友達の家の居間には大きな油絵がかけてある。

3　来年、この川に新しい橋をかけるそうだ。

4　タイプの速さにかけては彼の右に出る者はいない。

（10）ぬく……２番目の車が前の車をぬいてトップに躍り出た。

1　そんなに緊張しないで、肩の力をぬいてください。

2　大工が手をぬいたらしく、新築なのにもうひびが入っている。

3　このデータから、正しいものだけをぬいてください。

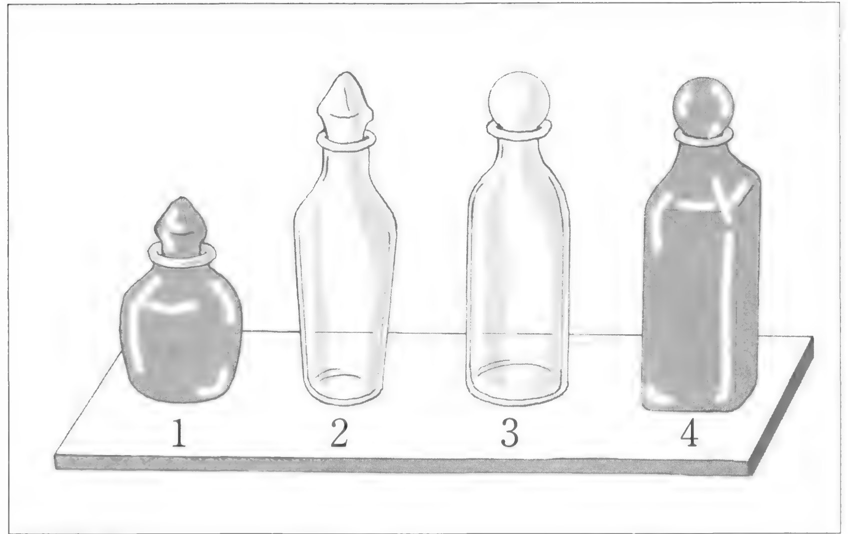
4　息子が父親の記録をぬいて、新記録を樹立したそうだ。



聴　解　（100点　45分）

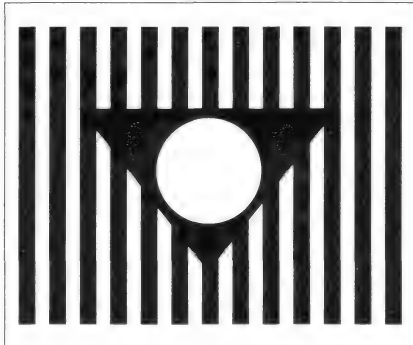
問題 I

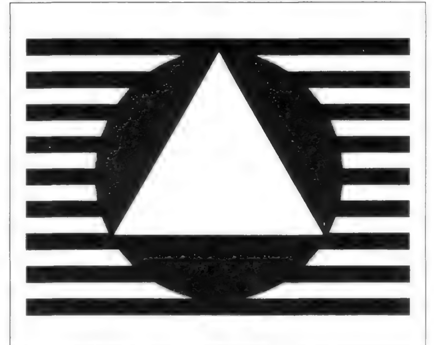
例

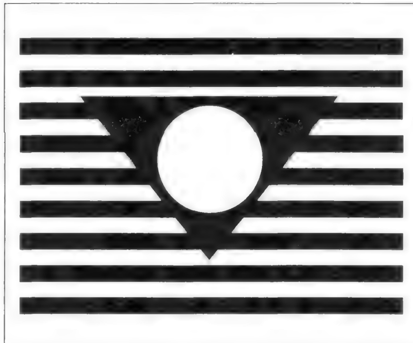


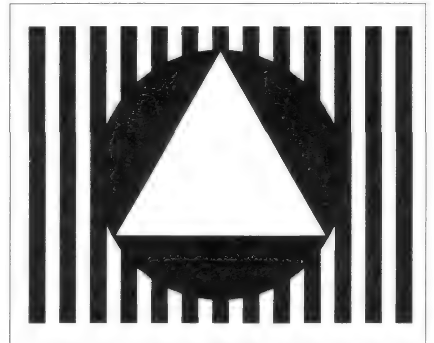
	問題 I			
例	①	②	●	④
1 番	①	②	③	④

1番

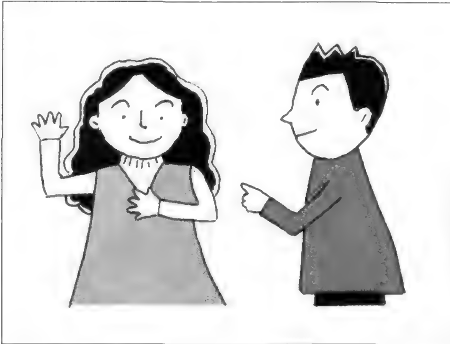
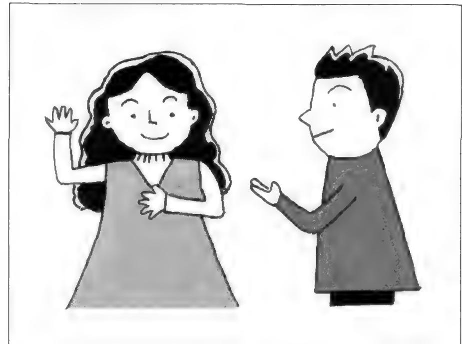
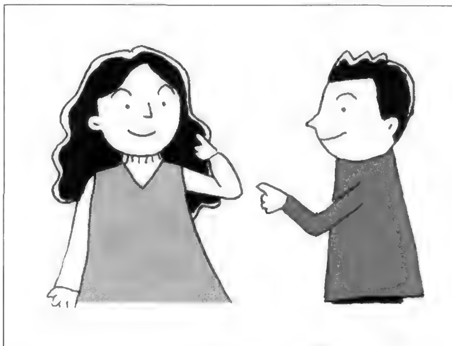
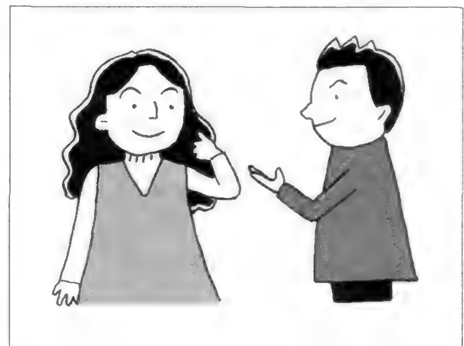
1


2


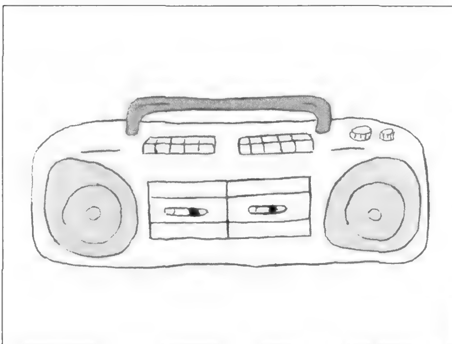
3


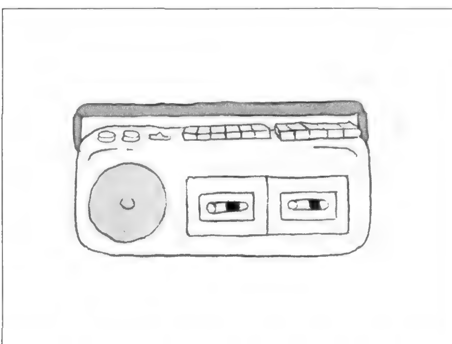
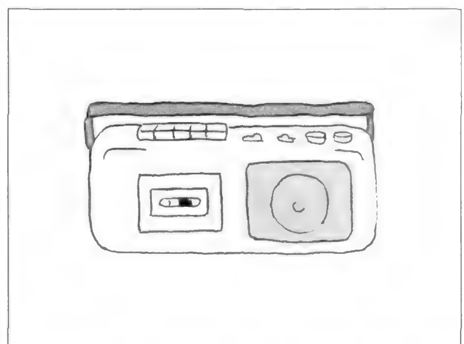
4


2番

1

2

3

4


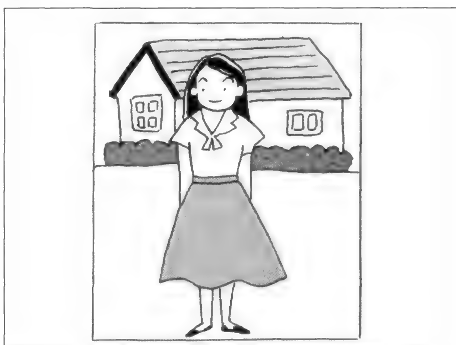
3番

1

2

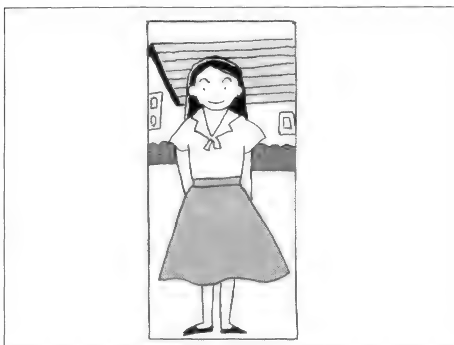
3

4


4番

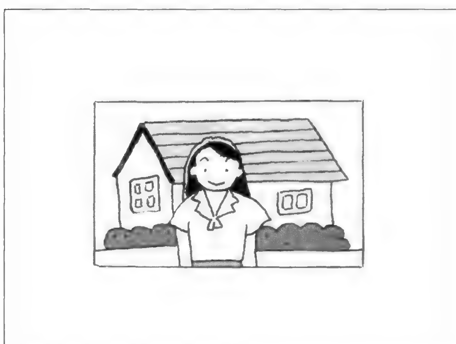
1



2



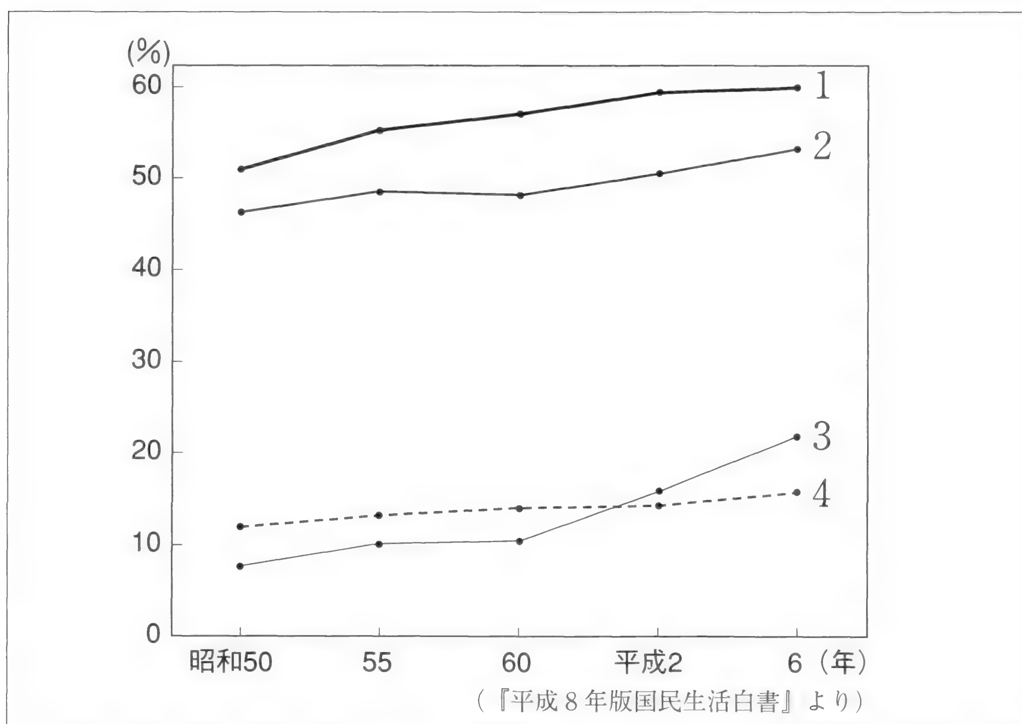
3



4

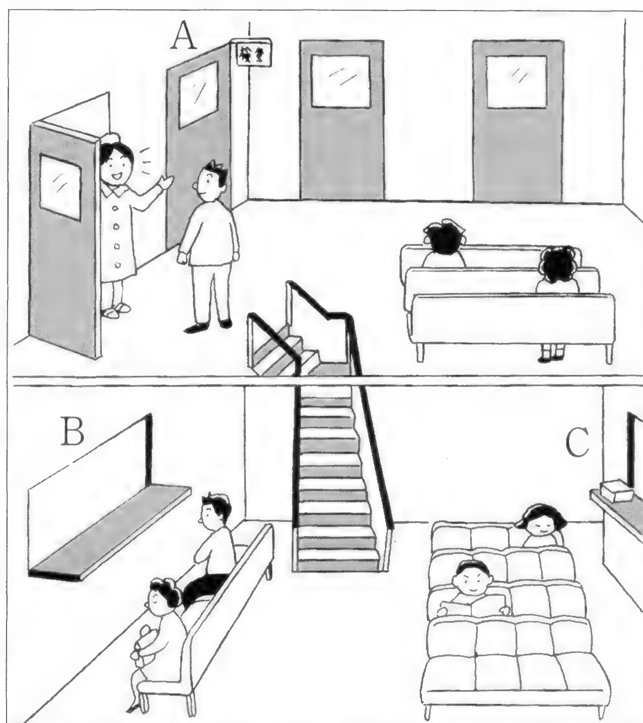


5番



（『平成８年版国民生活白書』より）

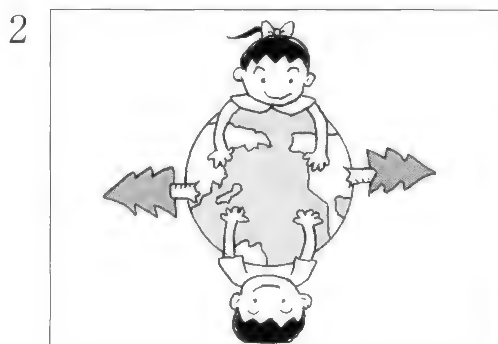
6番

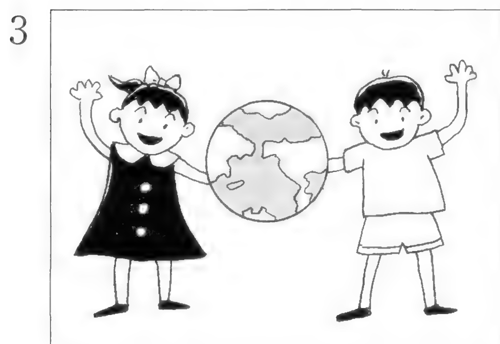


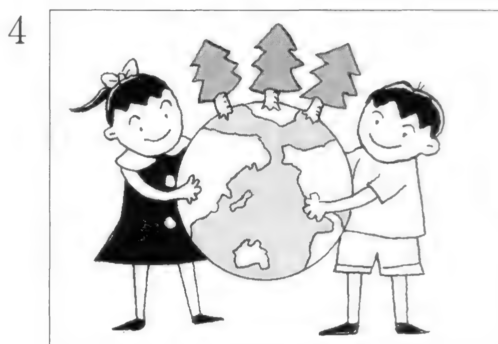
1　A → B → C
2　C → A → B
3　A → C → B
4　C → B → A

7番

1

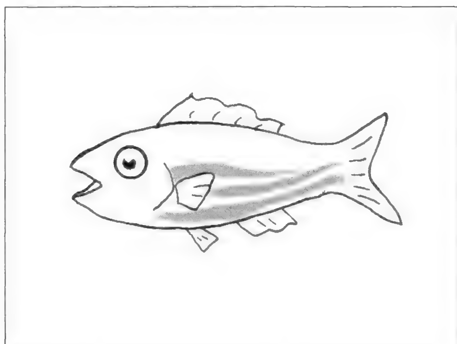

2


3


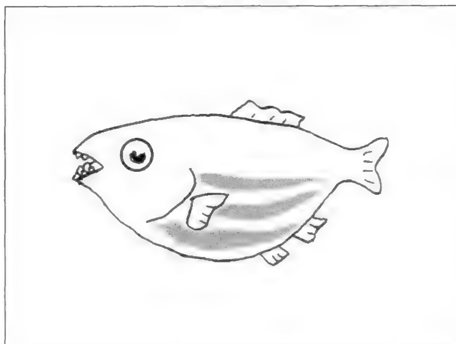
4


8番

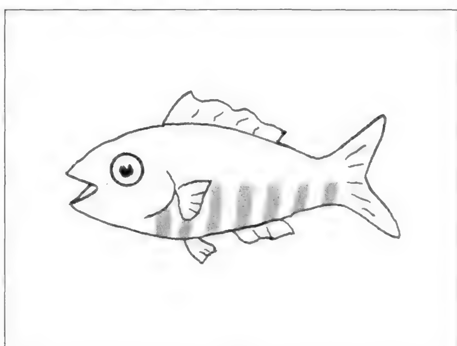
1



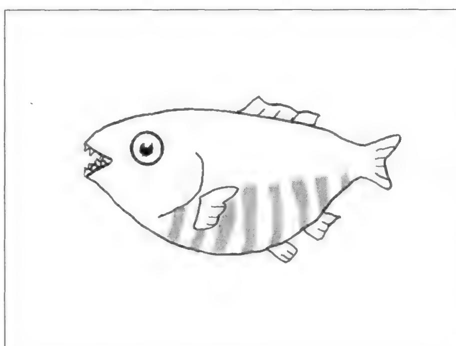
2



3

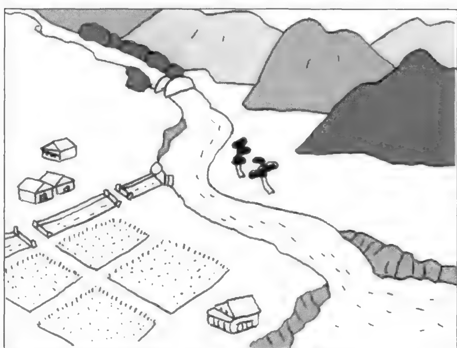


4

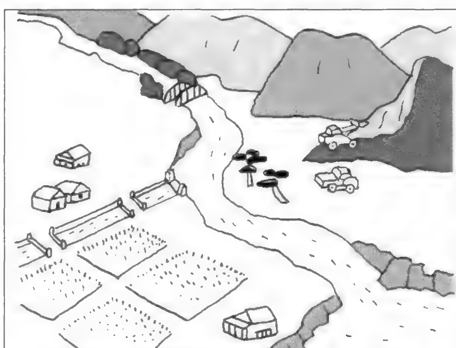


9番

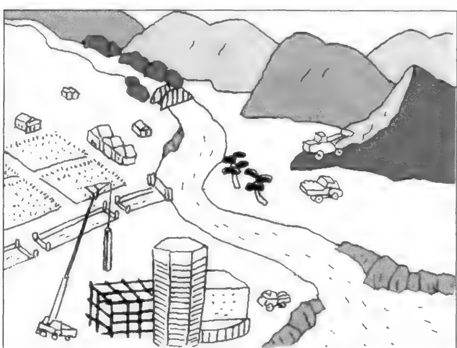
1



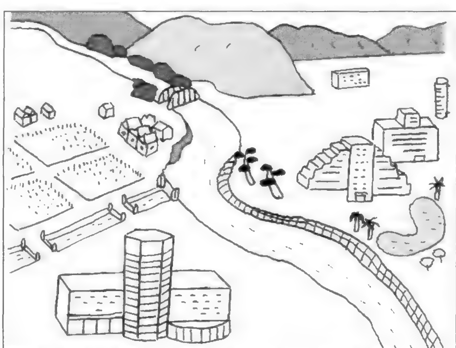
2



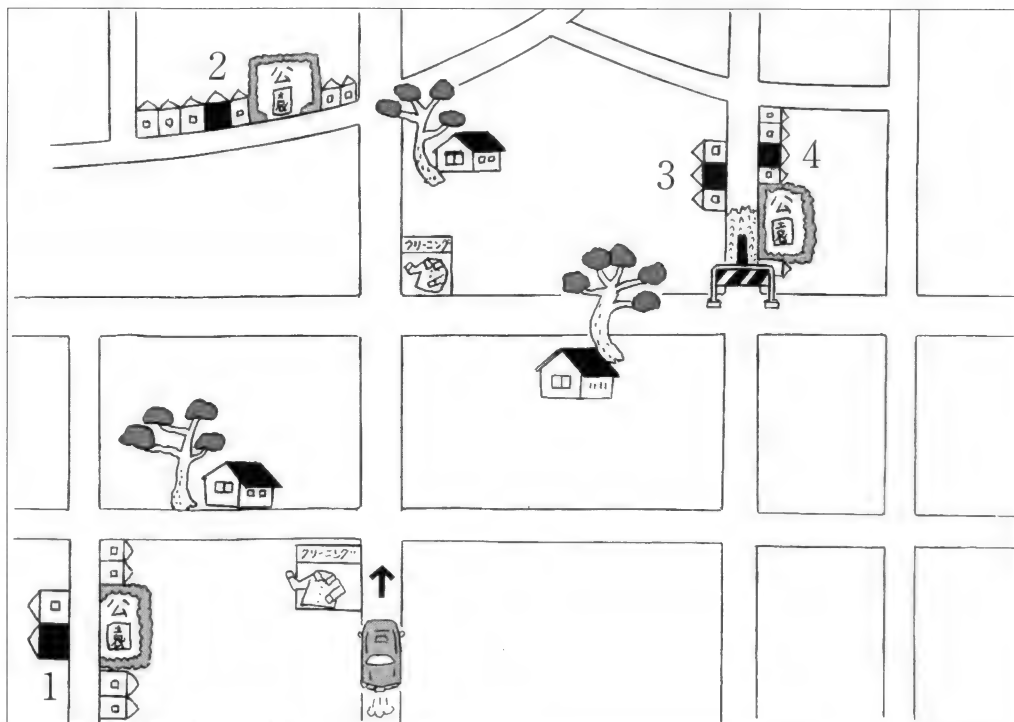
3



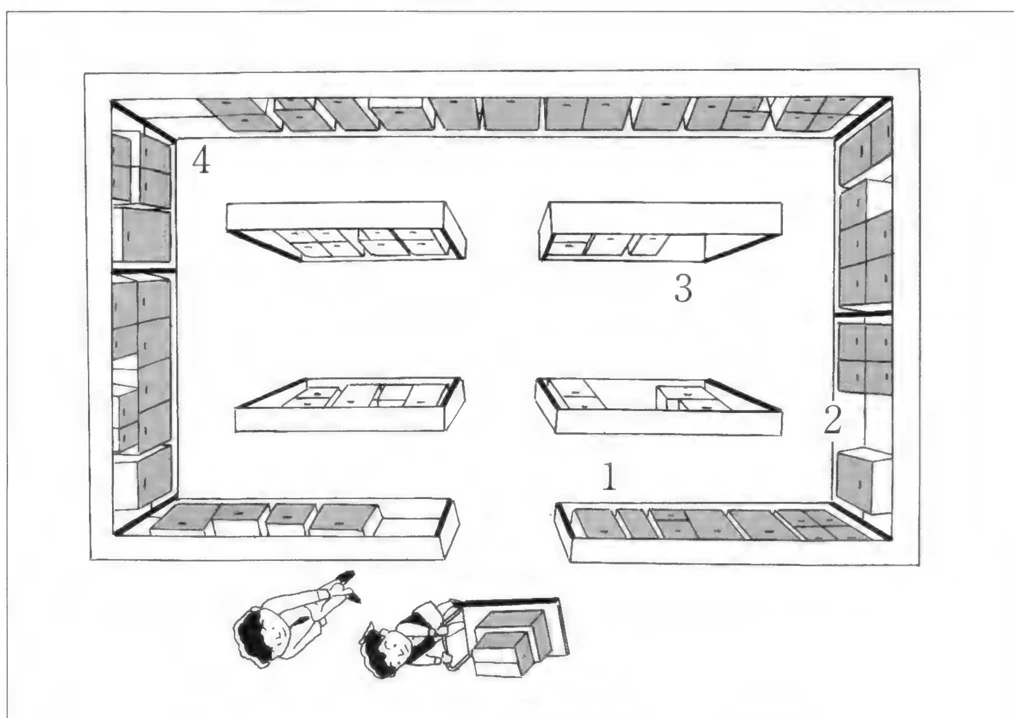
4



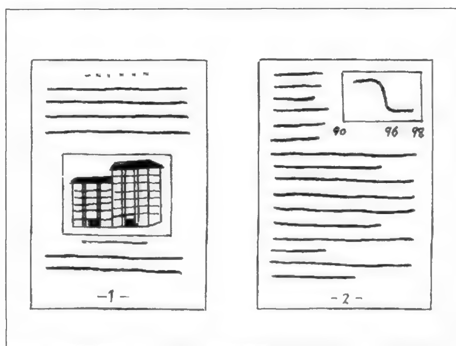
10番

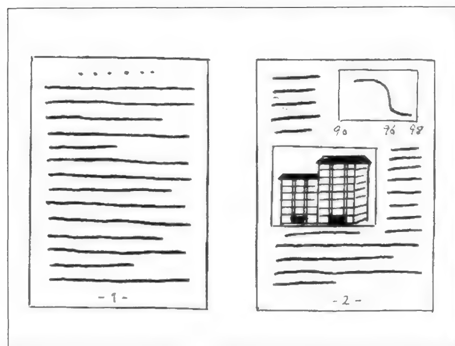


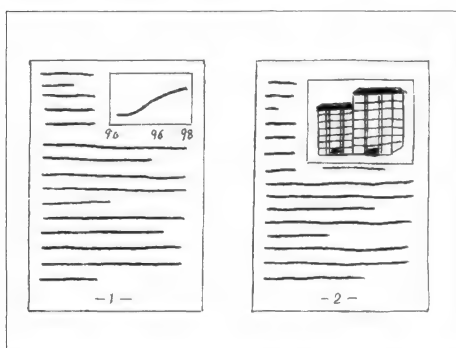
11番

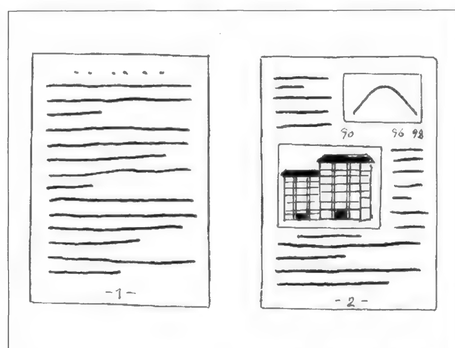


12番

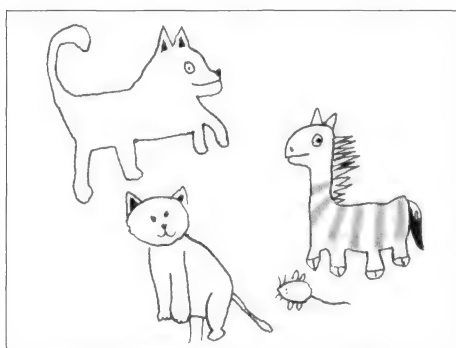
1


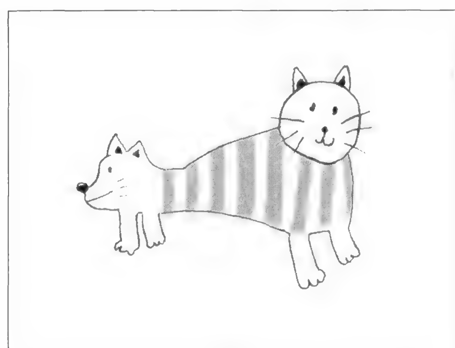
2


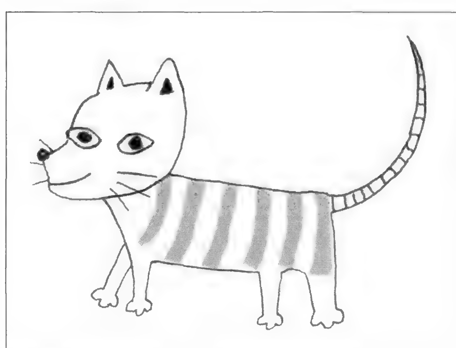
3


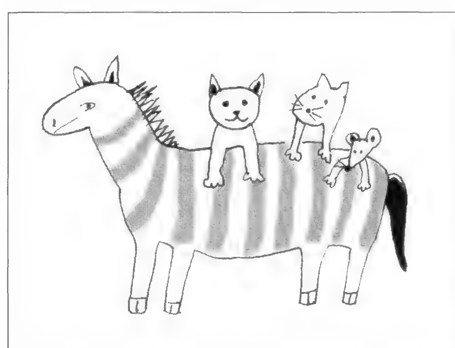
4


13番

1


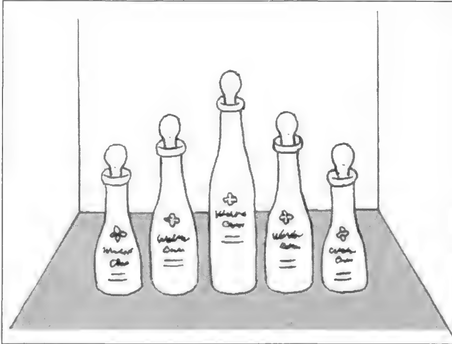
2


3


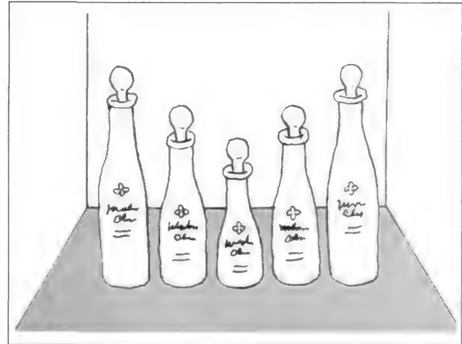
4


14番

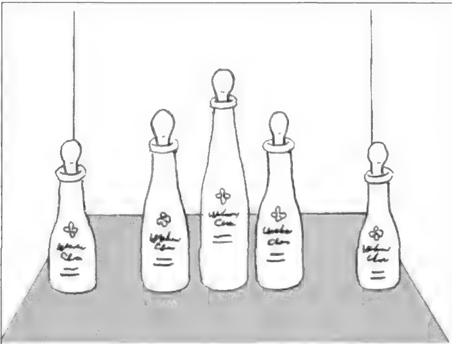
1



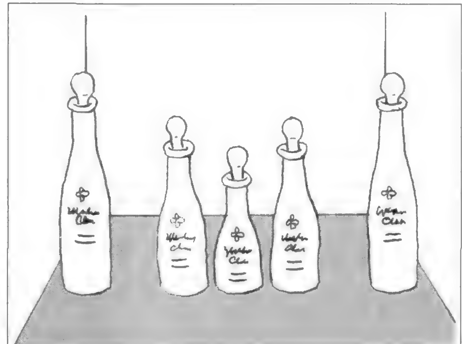
2



3



4



問題Ⅱ

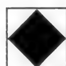
例

		問題 Ⅱ			
例	正しい	①	②	③	●
	正しくない	●	●	●	④
1	正しい	①	②	③	④

1番　2番　3番　4番　5番　6番

7番　8番　9番　10番　11番　12番

13番



読解・文法 （200点　90分）

問題Ⅰ　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

眼が意味ある形を見ようとするあまり、無意味な形にまで意味を与える例をこれまで見てきた。

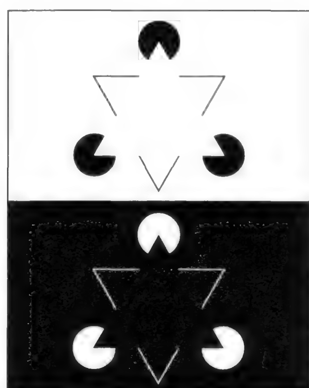
ところが、眼はまったく存在しないものを「見る」力があるのだ。といっても超自然な能力のことではなく、だれの眼にも備わっている力なのである。

1図を見てみよう。二つの図とも、中央にははっきりとした輪郭(注1)をもつ三角形が見えるはずだ。ところが、目を近づけて見てみると三角形の輪郭などまったく描かれていないことがわかる。客観的に存在しない輪郭を、眼が主観的に見て①しまっているのである。（　②　）、このようにして見える輪郭を、心理学では、「主観的輪郭③」と呼ぶ。

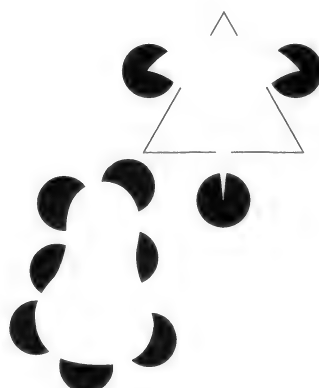
再び1図を見てみよう。

上図では、主観的輪郭が描く三角形が背景の白よりもいっそう白く見え、下図ではいっそう黒く見える。実際に描かれている図形よりも、主観的輪郭が描く図形の方が、（　④　）。そして、後者は前者の上にかぶさっているようにも見える。

主観的輪郭が描く図形は、三角形など直線的なものばかりでなく、2図のように曲線が形づくる図形である場合もある。このようなときにも、1図に見た主観的輪郭の特徴は共通である。



1図



2図

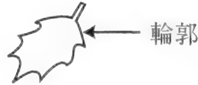
なぜ客観的には存在しない主観的輪郭が見えるのか。イタリアの心理学者カニッツァーによれば、その理由はおおむね次のように説明される。

眼は、いつも意味のあるより単純な形を求めている。もし眼前に複雑で意味を見つけにくいものが見えているとき、眼は不安定になる。だが、それがある形によって隠されているために無意味になっているのであれば、その隠しているものの形を見定めることにより、眼は安定するのである。その形が主観的輪郭が描く形なのである。

この説明は、（　⑤　）。主観的輪郭が描く図形が他を圧して(注２)くっきりと見えるのは、主観を補強して、この描かれていない形を確かなものとして見ようとするためである。背景となる図形にかぶさって見えるのは、そのこと(⑥)が成立条件なのだから当然のことである。

（種村季弘・高柳篤『新版・遊びの百科全書―②だまし絵』河出書房新社　による）

（注１）輪郭：物の外形を表す線



（注２）他を圧して：他のものを押さえて

問１　①「眼が主観的に見て」とあるが、ここではどういうことか。

1　眼に映った形を頭の中で解釈して、意味のある形として見る。
2　同じ形でも、見る人によって解釈が異なり、異なった形として見る。
3　目を近づけて注意深く見ないため、間違った形として見る。
4　見るときの距離や明るさで、異なった形として見る。

問２　（　②　）に入る最も適当な言葉はどれか。

1　そして　　2　そこで　　3　それで　　4　それに

問３　③「主観的輪郭」の特徴で文中にないのはどれか。

1　実際には輪郭がないのに、あるように見える。
2　実際に描かれている図形の上にかぶさって見える。
3　図形が直線でも曲線でも見える。
4　人間だけが持つ特殊な能力である。

問４　（　④　）に入る最も適当な文はどれか。

1　大きく見えるのである
2　小さく見えるのである
3　くっきりと見えるのである
4　ぼんやりと見えるのである

問5　（ ⑤ ）に入る最も適当な文はどれか。

1　主観的輪郭の特徴を理解する手助けにはならない
2　主観的輪郭の特徴を十分に説明しているとは言えない
3　主観的輪郭の特徴と矛盾する点がある
4　主観的輪郭の特徴をもよく説明してくれる

問6　⑥「そのこと」とは、なにか。

1　複雑で意味のない形を見たとき、眼が不安定になること
2　眼がいつも意味のある単純な形を求めていること
3　ある形によって、背景となる図形の一部が隠されていると見なすこと
4　主観的輪郭が目を近づけると見えなくなること

問7　この文章が、述べようとしていることは次のどれか。

1　人はものを見るとき、主観的な解釈をせず正確に見るよう心がけなければならない。
2　人の眼は、不正確で客観的にものの形を把握することができない。
3　人はものを見るとき、常に意味のある形として把握しようとする。
4　人の眼は、ふつう考えられているよりもはるかに正確に形を把握することができる。

問題Ⅱ　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

日本では、電車に乗るという場面でも、一定のタイド①(注1)が要求される。「白線の内側に二列に並んで、前の人から順序よくお乗りください」という拡声機からの指示に従って、電車が来るまえから、それなりの構えを示し、いざ電車が来ると、人の足を踏もうと人を押しのけようと、迅速に乗りこまなければならない。そこでも一定の演技が要求されていることは明らかだ。勝手な方向にむかって立っていたりしては乗せてもらえない。

白線がホームだけでなく日本中の道路に引かれているうえに、いろいろな指示が拡声機から間断なく流され、またそこらじゅうに表示してある ——「白線の内側までさがってお待ちください」だの、「あぶないですから駆け込み乗車はやめましょう」だのと、車内でも、「吊り皮や手すりにおつかまりください」「戸袋(とぶくろ)(注2)に手を引きこまれないように」と念を押して

ある。ところが、たいていの外国では、拡声機からの指示もなければ注意書きもない。電車を待っている人たちが一定の構えを示すということもない。

そんなことにまで一定の形が要求され、それが当然とされるのは、一言でいえば、均質志向（幻想？）のせいである。たいていの外国では、人びとが宗教や民族や階級による多様性に富んでいて、まともに②一定の形を要求することなどできるわけがない。ところが、日本人は自分と他人をくらべて、「③人のフリ（注３）見て、わがフリ直せ」という。フリというものが厳密に規定されていて、それからはずれるのが許されないということである。フリやタイドにおいて逸脱（いつだつ）（注４）していると見られるならば、学校においてはイジメの対象にされてしまう。普通よりちょっと動作が鈍いとか、給食を食べるのがおそいというだけで、イジメられることになる。

④そういう子供は仲間からイジメられるだけでなく、先生からもしょっちゅう注意されるということが多い。子供の個性を見てのびのびと育てるのではなく、型に入れるというのが教育の根本とされている以上、不可避的に起こることと見られる。これが日本の⑤シツケ共同体（注５）の一端であり、日本を支えると同時に（　⑥　）のだ。

（金山宣夫『国際感覚と日本人』ＮＨＫブックス による）

（注１）タイド：態度

（注２）戸袋（とぶくろ）：あけたドアをおさめるところ

（注３）フリ：振り

（注４）逸脱（いつだつ）：本筋からそれること

（注５）シツケ：躾（しつけ）

問１　①「一定のタイド」にあてはまらないものはどれか。

1　指示に従い、構えを示すこと

2　白線の内側に二列に並ぶこと

3　人を押しのけて迅速に電車に乗りこむこと

4　勝手な方向にむかって立つこと

問２　②「一定の形を要求することなどできるわけがない」とあるが、なぜ外国では一定の構えが要求されないのか。最も適当なものを選びなさい。

1　人々は皆が勝手だから。

2　人々は他人と比べないから。

3　人々が多様性に富んでいるから。

4　人々は均一指向があるから。

問３　③「人のフリ見て、わがフリ直せ」とあるが、ここでいう「フリ」の意味で最も適当なものを選びなさい。

1　洋服　　　2　態度
3　スタイル　　　4　顔

問４　④「そういう」とはどんなことか。

1　型にはまっている
2　フリやタイドにおいて逸脱（いつだつ）している
3　シツケができていない
4　自分と他人とを比べる

問５　日本の⑤「シツケ共同体」からどのよう教育が生まれるか。正しいものを選びなさい。

1　自分と他人を比べられる子に育てる教育
2　学校でイジメのない教育
3　個性をのびのび育てる教育
4　子供を型に入れる教育

問６　（　⑥　）に入る最も適当なものを選びなさい。

1　縛っている
2　壊している
3　後退させている
4　革新的にしている

問７　この文章のタイトルとして最も適当なものを選びなさい。

1　電車に乗るためのフリ
2　イジメとフリ
3　厳密に規定されたフリ
4　教育現場におけるフリ

問題Ⅲ　次の(1)～(6)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

（1）「あなたたちって幼稚ねえ。あんな議論をしたって意味ないじゃないの」

むかし、若い頃、友人たちと人生や人間について議論をしたあと、女房にそう言われた時代に、私は、

「君なんかに何がわかるか」

と大いに彼女を軽蔑したのですが、今になってみると彼女の言ったことも満更(注1)、間違っていないと思うようになりました。

なぜ、そう思うようになったか。

それはこの年齢になってみると、人生や人間には言葉ではとても語れない深いXがその底に沈んでいて、我々の言葉が人生論とか人間論とかで掬(すく)い(注2)あげるのは、せいぜい、その上(うわ)ずみにしかすぎない —— そのことが次第にわかってきたからでしょう。

（遠藤周作『ほんとうの私を求めて』集英社文庫 による）

（注1）満更：かならずしも

（注2）掬(すく)う：液体などを手やスプーンでくみ取る

【問い】　「彼女の言ったことも満更、間違っていないと思うようになりました」とあるが、それはなぜか。

1　友人に人生や人間について相談してもしかたがないと思ったから。

2　言葉で人生や人間について語り尽くすことはできないものだとわかったから。

3　人生や人間については、歳をとればわかるようになると思ったらから。

4　議論の内容がとても幼かったから。

（2）人生は短く、しかも一回限りである。ある人生を生きるということは、他の可能な生き方をすべて断念するということに他ならない。数学と音楽が好きな少年が数学者の道を歩き出す時、彼は音楽家になれば果たせたかもしれないすべての夢を失う。その悲しみは、たとえ彼が数学者としてどんなに輝かしい業績を上げたとしても決して癒(いや)され(注1)ることはないであろう。人が若い時をなつかしく感じるのは、失われた（　　　）をいとおしく思うからなのではないだろうか。

（草野耕一『日本人が知らない説得の技法』講談社 による）

（注1）癒(いや)す：苦痛から解放する

【問い】　この文章の（　　　）の部分には、どんな言葉が入るか。

1　悲しみ　　　　2　輝かしい業績

3　可能性　　　　4　音楽家の夢

（3）夜の時間におこなう野球その他の試合を「ナイター」と言っている。「デーゲーム」に対して「ナイトゲーム」という言い方も最近よく聞くが、「試合」のことを平気で「ゲーム」と言うようになったのは比較的最近のことではなかろうか。それまでは「ゲーム」と言うと子供の遊びというニュアンスが強かった。だから、真剣勝負の気合い(注1)で臨む試合に対して「ゲーム」ということばを使うのは（　　　）。

（中村明『センスある日本語表現のために』中公新書 による）

（注1）真剣勝負の気合い：精神を集中させて作った勢い

【問い】　（　　　）に入る最も適当なものはどれか。

1　奨励されていたことだろう　　　　2　見逃されていたことだろう

3　抵抗があったことだろう　　　　4　差し支えのないことだろう

（4）これまでは、企業の社会貢献活動といえば、本業に関連のある教育機関への、または、福祉施設や慈善事業への、企業が一括して行なう寄付という形態をとるものが多くみられた。シンポジウム(注1)とか、いわゆる冠イベント(注2)の開催など、広告・宣伝活動の一環という位置づけのものも少なくなかった。これに対して、近年の動きには、いくつかの新しい方向性が見られる。結論から先にいえば、「社員の自主参加」、「地域住民との共同作業」、「営業や広報・宣伝からの独立」を重視する方向性が出てきた、ということである。

（金子郁容『ボランティア　もうひとつの情報社会』岩波新書 による）

（注1）シンポジウム：同じ問題について意見や研究結果を発表する会

（注2）冠イベント：名前の一部に企業の名前が入ったイベント

【問い】　これまでの企業の社会的貢献活動に多かったものはどのようなものか。

1　地域の住民に何らかの利益をもたらすもの。

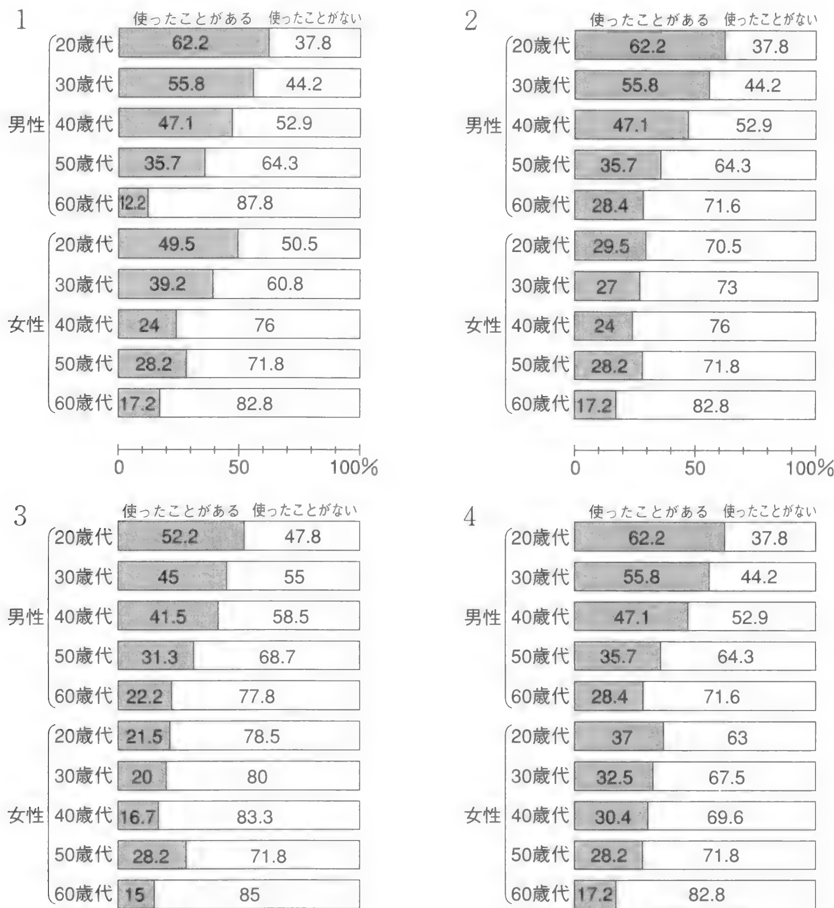
2　企業に何らかの利益をもたらすもの。

3　社員に何らかの利益をもたらすもの。

4　社会全体に何らかの利益をもたらすもの。

（５）最近は各家庭にもパソコンが普及し、インターネットの利用者も年々増加しています。利用者は今後さらに増えると予想されます。平成８年度の調査をみますと、男女とも若い人のほうがインターネットの使用経験率が高くなっていますが、女性の50歳代だけは40代を抜いて28.2％となっています。子育てを終わった女性たちの積極性がうかがえます。20歳代の男性では62.2％と３人に２人の割合でインターネットを使ったことがあるのに対し、女性では29.5％と男性の約半数にとどまっています。男性の使用経験が女性のほぼ２倍になっていますが、年齢が上がるほど、その差は縮まる傾向にあります。

【問い】　次のグラフの中から説明に合っているものを選びなさい。



（グラフ：総務庁青少年対策本部編『平成９年度版 青年白書』 による）

（6）「わざ」という言葉があります。

この「わざ」が一定のルールをもつと武術、柔術というような「術」になる。さらにレベルアップすると「法」になり、それに道徳性が付与(ふよ)(注1)されると「道」になる。いわゆる茶道、華道の「道」です。

礼儀作法のあり方は、現象的には技術にほかなりません。しかしその根底には、道であるべきだ、すべてを抽象化し、昇華(しょうか)(注2)して「道」にしたい、という願望がつねに働いています。この衝動は日本文化の特性ともいえます。

（樋口清之『日本人と人情』大和書房 による）

（注1）付与(ふよ)する：与える

（注2）昇華(しょうか)する：ある状態から、さらに高度な状態へ大きく飛ぶ

【問い】　「この衝動」とはどのようなことか。

1　自分の「わざ」をレベルアップしたいと思う気持ち

2　礼儀作法を技術として身に付けたいという気持ち

3　物事を抽象化して「道」にしたいという気持ち

4　「わざ」を学んで立派な「道」を作りたいという気持ち

（7）下のA～Dは、それぞれア、イ、ウ、エのどこかに入る文です。

時間をテーマにした話に、かならず登場する言葉に「時は金なり」があります。もちろん、時間は金のように貴重なものだから無駄にするなという教訓ですが、

これを　ア

それは、　イ

事実、　ウ

それなら、　エ

A　「時が金」であるなら、貯金も借金もできるはずではないかという見方です。お金で貯金も借金もできるということは、それだけ“融通”がつくということです。

B　別の面から見てみると、時間の使い方に関するまた別の教訓が含まれているようなのです

C　時間もお金と同じように、“融通”がきくものと考えて、使ってみたらどうかというわけです。

D　お金を上手に使っている人は、貯金の利殖(りしょく)（注１）、借金などの使い分けがじつにうまいものです。

（大島清『40歳からの手習い術』ごま書房　による）

（注１）利殖(りしょく)：利子や利益によって、財産を増やすこと

【問い】　正しい組み合わせのものを選びなさい。

1	ア：A	イ：C	ウ：B	エ：D
2	ア：B	イ：A	ウ：D	エ：C
3	ア：C	イ：B	ウ：D	エ：A
4	ア：D	イ：C	ウ：B	エ：A

問題Ⅳ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。１・２・３・４から最も適当なものを一つ選びなさい。

（１）「階段に気をつけて」と言われた＿＿＿転んでしまった。

１　そばから　　２　まま　　３　たびに　　４　ごとに

（２）御社の対応＿＿＿今後の取り引きを考えさせていただきます。

１　いかんでは　　２　いかんでも　　３　いかんなら　　４　いかんさえ

（３）先日のお礼＿＿＿、新製品をご説明に参りました。

１　ながら　　２　ときたら　　３　として　　４　かたがた

（４）弟＿＿＿、あと片付けはしないし人のものはこわすし、どうしようもない。

１　としたら　　２　とばかりに　　３　といい　　４　ときたら

（5）どんな国＿＿、貧富の差は大なり小なり存在する。

1　であれ　　2　において　　3　でもって　　4　につき

（6）父の成功は母の愛情＿＿ありえなかったと思います。

1　だにしては　　2　ありにしては　　3　ぬきにしては　　4　ないにしては

（7）わが社に就職する人は語学やコンピューターは＿＿、企画力でも優れていなければならない。

1　もとから　　2　もとでも　　3　もとなら　　4　もとより

（8）最近は会社に勤める＿＿、大学院に通って新しい知識を身に付けようという人が増えてきている。

1　がてら　　2　かねて　　3　かたわら　　4　かたがた

（9）弟が困っていることを知っていれば助けてやれた＿＿。

1　ものだ　　2　ものを　　3　ことを　　4　ことだ

（10）今度の仕事はいいこと＿＿、かえって不安になる。

1　なくして　　2　ずくめで　　3　かぎりで　　4　ついでで

（11）候補者は選挙を明日にひかえ、1分＿＿じっとしていられないようだ。

1　ほど　　2　たりとも　　3　あまり　　4　こそ

（12）優勝者＿＿次の試合で必ず勝てるとは限らない。

1　でいうなら　　2　といえば　　3　といえども　　4　でいっても

（13）母親は子供の泥＿＿の服を洗った。

1　ですら　　2　でも　　3　まで　　4　だらけ

（14）9月になり、風もどこか秋＿＿まいりました。

1　めいて　　2　かねて　　3　らしく　　4　ごとく

（15）試験に合格しよう＿＿、今はできるだけのことをやるしかない。

1　として　　2　としまいと　　3　とするものを　　4　とするので

(16) 経済的に余裕があった＿＿＿、子供が欲しがるものを何でも買い与え、甘やかしてしまった。

1　ことに　　2　ところに　　3　ばかりに　　4　あげくに

(17) きのうは熱が高くて、医者へ＿＿＿行けなかった。

1　いくには　　2　いこうにも　　3　いけども　　4　いかずには

(18) どんなに大変な仕事でも引き受けた＿＿＿最後まできちんとやりなさい。

1　からには　　2　ほかならず　　3　までには　　4　のみならず

(19) いくつパンを焼いても子供たちは作った＿＿＿食べてしまった。

1　あとまで　　2　はしまで　　3　あとから　　4　はしから

(20) 自分＿＿＿考えて決めたことですから後悔はしていません。

1　ならでも　　2　ならでは　　3　なりと　　4　なりに

(21) 子供の教育＿＿＿夫婦の意見が食い違うことはよくあることだ。

1　でめぐって　　2　にめぐって　　3　がめぐって　　4　をめぐって

(22) 体力の限界を感じたマラソン選手は、今大会を＿＿＿引退を表明した。

1　かぎりに　　2　かぎって　　3　ばかりに　　4　あっての

問題Ｖ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。１・２・３・４から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1) 1枚の書類に住所と名前を5カ所も書かなければならないなんて、めんどうくさい＿＿＿。

1　といったらない　　2　といったところだ
3　というそうだ　　4　ということだ

(2) どうしてもということでしたら、お引き受け＿＿＿。

1　しないものでもありません　　2　するまでもありません
3　しないではおきません　　4　するわけにはいきません

（3）この程度のことは、驚く＿＿＿。

1　にはあたらない　　2　にたえない
3　に足る　　4　に相違ない

（4）こんなことは常識だから、いまさら説明する＿＿＿。

1　までもいかない　　2　までのことだ
3　までだ　　4　までもない

（5）どんなにりっぱな家でも、火事で燃えてしまえば＿＿＿。

1　それだけだ　　2　それまでだ
3　そんなところだ　　4　そうしたところだ

（6）頭がよくて、ハンサムで、金持ちだなんて、うらやましい＿＿＿。

1　かぎりがある　　2　にかぎる
3　かぎりだ　　4　にかぎらない

（7）彼は、相手が若いというだけで、ばかにする＿＿＿。

1　きらいでもない　　2　きらいがある
3　きらいはない　　4　きらいになる

問題Ⅵ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

（1）先生は時間にとても厳しい。授業に5分でも＿＿＿、しかられてしまう。

1　おくれるくらいなら　　2　おくれようものなら
3　おくれることには　　4　おくれるにせよ

（2）短時間でここまでじょうずに仕上げるのはすばらしい。さすが職人＿＿＿のわざだ。

1　とみえて　　2　にもない　　3　ならでは　　4　にかぎって

（3）欧米人にとって素足は醜いものである。たとえくつが窮屈であろうと、くつしたがベトベト＿＿＿、足は覆っておかなければいけない。

1　しようにも　　2　しながら　　3　しようとも　　4　してから

（４）日本人の会話では「あいづち」の役割がとても大切である。話と話の間＿＿＿、相手が話している間中、絶え間なく「はいはい」言うことが多い。

１　どころか　　２　とはいえ　　３　にしても　　４　にもなく

（５）思春期ともなれば、親子の関係は難しくなる。親は子の気持ちが理解できないと言うが、子＿＿＿親の気持ちを理解するのは難しいものだ。

１　にたいしても　　２　にもとづいて　　３　についても　　４　にしてみても

（６）10代の若者が高級バッグや洋服を身に着けているのをよく見る。大金持ち＿＿＿、ふつうの学生に買えるはずがない。

１　ならいざしらず　　２　ならしるまいが

３　もさることながら　　４　までもなく

日本語能力試験
1級模擬テスト

解答・配点

聴解問題〈CDの内容〉

日本語能力試験　１級模擬テスト

◇ 第１回　　解答 ◇

●文字・語彙

問題Ⅰ　問１　(1) 3 (2) 1 (3) 4 (4) 4
　　　　問２　(1) 2 (2) 3 (3) 3
　　　　問３　(1) 4 (2) 3 (3) 4 (4) 1
　　　　問４　(1) 1 (2) 2 (3) 1 (4) 3
問題Ⅱ　(1) 4 (2) 3 (3) 1 (4) 2 (5) 3
問題Ⅲ　問１　(1) 2 (2) 4 (3) 3 (4) 1
　　　　問２　(1) 2 (2) 2 (3) 3 (4) 4
　　　　問３　(1) 1 (2) 3 (3) 2 (4) 4
　　　　問４　(1) 3 (2) 1 (3) 1
問題Ⅳ　(1) 2 (2) 3 (3) 2 (4) 1 (5) 3
問題Ⅴ　(1) 2 (2) 2 (3) 4 (4) 2 (5) 1 (6) 4 (7) 4 (8) 3 (9) 4 (10) 3 (11) 1
　　　　(12) 2 (13) 1 (14) 1 (15) 4
問題Ⅵ　(1) 3 (2) 3 (3) 1 (4) 4 (5) 4 (6) 4 (7) 1 (8) 3 (9) 1 (10) 2

●聴解

問題Ⅰ　1番 3　2番 2　3番 4　4番 1　5番 2　6番 4　7番 1　8番 2
　　　　9番 2　10番 3　11番 4
問題Ⅱ　1番 4　2番 1　3番 4　4番 3　5番 3　6番 1　7番 2　8番 4
　　　　9番 3　10番 4　11番 2　12番 4　13番 2　14番 2　15番 3

●読解・文法

問題Ⅰ　問1 2　問2 1　問3 4　問4 3　問5 3　問6 1　問7 2
問題Ⅱ　問1 3　問2 1　問3 2　問4 2　問5 1　問6 2　問7 1
問題Ⅲ　(1) 2 (2) 3 (3) 2 (4) 1 (5) 4 (6) 2 (7) 3
問題Ⅳ　(1) 2 (2) 3 (3) 3 (4) 3 (5) 4 (6) 2 (7) 1 (8) 2 (9) 2 (10) 3 (11) 3
　　　　(12) 2 (13) 3 (14) 4 (15) 1 (16) 4 (17) 2 (18) 3 (19) 4 (20) 3 (21) 1 (22) 4
問題Ⅴ　(1) 3 (2) 3 (3) 2 (4) 4 (5) 4 (6) 1 (7) 1
問題Ⅵ　(1) 2 (2) 4 (3) 1 (4) 3 (5) 2 (6) 1

配点　＊素点は自分の得点

文字・語彙（100点）問題Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ　各１点　計35点　問題Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ　各２点　計60点
　計95点　100点満点での得点への換算式　(素点)÷95×100
聴　　解（100点）問題Ⅰ・Ⅱ　各１点　計26点
　100点満点での得点への換算式　(素点)÷26×100
読解・文法（200点）問題Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ　各５点　計105点　問題Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ　各２点　計70点
　計175点　200点満点での得点への換算式　(素点)÷175×200

日本語能力試験　１級模擬テスト

◇ 第２回　　解答 ◇

●文字・語彙

問題Ⅰ　問１　(1) 2 (2) 1 (3) 4 (4) 4
　　　　問２　(1) 3 (2) 2 (3) 4 (4) 2
　　　　問３　(1) 1 (2) 2 (3) 3 (4) 4
　　　　問４　(1) 2 (2) 3 (3) 1
問題Ⅱ　(1) 3 (2) 3 (3) 1 (4) 4 (5) 3
問題Ⅲ　問１　(1) 1 (2) 2 (3) 3 (4) 4
　　　　問２　(1) 1 (2) 2 (3) 4 (4) 2
　　　　問３　(1) 4 (2) 3 (3) 3 (4) 2
　　　　問４　(1) 4 (2) 2 (3) 4
問題Ⅳ　(1) 2 (2) 1 (3) 4 (4) 1 (5) 2
問題Ⅴ　(1) 2 (2) 1 (3) 4 (4) 2 (5) 4 (6) 4 (7) 4 (8) 2 (9) 2 (10) 2 (11) 4
　　　　(12) 1 (13) 3 (14) 2 (15) 3
問題Ⅵ　(1) 3 (2) 3 (3) 3 (4) 3 (5) 4 (6) 2 (7) 2 (8) 1 (9) 1 (10) 4

●聴解

問題Ⅰ　１番 2　２番 1　３番 3　４番 3　５番 3　６番 3　７番 4　８番 2
　　　　９番 3　10番 4　11番 2　12番 2　13番 3　14番 3
問題Ⅱ　１番 1　２番 3　３番 2　４番 3　５番 1　６番 2　７番 1　８番 4
　　　　９番 4　10番 1　11番 1　12番 3　13番 1

●読解・文法

問題Ⅰ　問１ 1　問２ 2　問３ 4　問４ 3　問５ 4　問６ 3　問７ 3
問題Ⅱ　問１ 4　問２ 3　問３ 2　問４ 2　問５ 4　問６ 1　問７ 3
問題Ⅲ　(1) 2 (2) 3 (3) 3 (4) 2 (5) 2 (6) 3 (7) 2
問題Ⅳ　(1) 1 (2) 1 (3) 4 (4) 4 (5) 1 (6) 3 (7) 4 (8) 3 (9) 2 (10) 2 (11) 2
　　　　(12) 3 (13) 4 (14) 1 (15) 2 (16) 3 (17) 2 (18) 1 (19) 4 (20) 4 (21) 4 (22) 1
問題Ⅴ　(1) 1 (2) 1 (3) 1 (4) 4 (5) 2 (6) 3 (7) 2
問題Ⅵ　(1) 2 (2) 3 (3) 3 (4) 1 (5) 4 (6) 1

配点　＊素点は自分の得点

文字・語彙（100点）問題Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ　各１点　計35点　問題Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ　各２点　計60点
　　計95点　100点満点での得点への換算式　（素点）÷95×100
聴　　解（100点）問題Ⅰ・Ⅱ　各１点　計27点
　　100点満点での得点への換算式　（素点）÷27×100
読解・文法（200点）問題Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ　各５点　計105点　問題Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ　各２点　計70点
　　計175点　200点満点での得点への換算式　（素点）÷175×200



聴　解　問　題

これは、日本語能力試験１級レベルの聴解試験問題を文章で表したものです。この内容は別売のCDにおさめてあります。

第　1　回

これから１級の聴解試験を始めます。問題用紙を開けてください。

問題Ⅰ

絵を見て、正しい答えを１つ選んでください。では、１度練習しましょう。

例

女の人が絵を探しています。女の人はどの絵を買うことにしましたか。

女：玄関にかける絵を探しているんですが。薄暗いところなんで、何か、明るい色の絵がいいと思っているんです。花か、風景の…
男：そうですね。こちらなんかいかがでしょう。パリの町を描いた版画なんですが、人気のある画家で…
女：すてきね。でも、日本の風景のほうがいいかしら。
男：そうですか。こちらは春の富士山を描いたもので、暖かい色合いがよろしいかと…
女：そうね、いい絵なんだけど、季節がはっきりしていると、その季節しかかけられないでしょう。あら、これ、かわいい。
男：「花と子猫」という題なんですが…
女：うーん、どうしよう。暗すぎるかしら。
男：こちらはシリーズになっておりまして、もう少し明るい色合いのもあったと思いますので、ちょっとお待ちください。こちらです。
女：あ、いいわね。それにするわ。

女の人はどの絵を買うことにしましたか。

正しい答えは４です。解答用紙の問題Ⅰの例のところを見てください。正しい答えは４ですから、答えはこのように書きます。では、始めます。

１番
テレビの料理番組です。料理はどのように盛り付けますか。

これでお料理は出来上がりです。次は盛り付けですが、お皿の向こう側に付け合わせの野菜を置きます。そして先ほど焼いたお肉を手前に盛り付けます。骨のほうが右手にくるようにね。そう、２つとも。で、ソースは上からかけないでお肉の周りに輪をかくようにするときれいです。さ、できました。いかがでしょう。

料理はどのように盛り付けますか。

２番
女の人は今どんな格好をしていますか。

女：足、痛くて。
男：そんなかかとの高い靴を履いているからだよ。
女：だって、きょう仕事だったんですもの。スーツ着て、運動靴なんて変でしょ。
男：格好より健康のほうが大切だろ。どうせたいした仕事じゃないんだから、ジーパンにセーターだっていいじゃないか。
女：そんな格好で会社に行けるわけないじゃない。
男：おれの会社はみんなそうだよ。
女：あなたの会社とは違うの。

女の人は今どんな格好をしていますか。

３番

女の人が道を聞いています。どのように行けばいいですか。

女：あのう、すみません、文化センターへは…。
男：えっ、駅から来たんですか。
女：はい。
男：ああ、行き過ぎちゃったんですよ。
女：あ、そうなんですか。
男：今来たとこを、ずーっともどって、そうだな、３分ぐらいかな、そうすると、角に「くるみの木」って、パン屋があるから、そこを左。少し行くと大きな白い建物が見えるから…
女：そこが…
男：そう。

正しい行き方はどれですか。

４番

男の人が一人で喫茶店に来ました。男の人はどこに座りましたか。

女：いらっしゃいませ。お一人さまで。窓際のほうがよろしいでしょうか。
男：あ、あとから、３人ばかり来る予定なんで、入り口から見えるところのほうが…
女：では、こちらで。
男：あ、あの、水槽の横でもいいかな。
女：あちらは、４名さまはちょっとご無理かと…
男：あ、あとの連中が来るまででいいんだ。
女：はあ、それでしたら。
男：へえ、ずいぶん珍しい魚がいるんだ。
女：店長の趣味でして…

男の人はどこに座りましたか。

５番

化石が発見されたニュースです。化石になっていた生物はどれですか。

このほど、約５億年前に絶滅したと考えられている多細胞動物の化石が発見されました。この化石は、５億年前のもので、約15センチ四方の石に触角の一部が残されています。この多細胞動物は体長40センチで、特徴は、エビとカニをあわせたような頭部で、口がぎざぎざで細くとがっていて、その口のうえに細長い目がついています。

化石になっていた生物はどれですか。

６番

新しく発売される切手はどれでしょう。

今度、切手マニアの方に人気の高い動物シリーズの切手が新しく発売されます。この切手は、白い水鳥がモチーフになっており、２羽の鳥が向かい合っているデザインです。水面にうかんだ２羽の水鳥は、羽をとじ、くちばしをくっつけて、互いに見つめ合っています。この切手は、来月一日に発売の予定です。

新しく発売される切手はどれですか。

７番

ガイドが今日の予定を説明しています。どの順番で行きますか。

それでは、今日の一日の予定をご説明いたします。こちらは、東海道の名所として文化遺産も多く、それを見ながら、大自然も満喫していただきたいと思います。今日は、ここからケーブルカーで、山頂まで参ります。途中、大滝が見えます。山頂で写真撮影し、大滝までケーブルカーで戻り、それからは歩いて、湖のほとりのお寺まで戻ります。そのお寺を見て、船から湖を楽しみます。それでは、次のケーブルカーの時間まで、この近くのもう一つのお寺をご案内しましょう。

どの順番で行きますか。

８番

男の人と女の人が本箱の置き場について話

しています。本箱はどこに置きますか。

男：本箱、どこ置くの。
女：うーん、机の横に置こうと思ったんだけど…
男：いいんじゃない。勉強コーナーって感じがして。でも、窓があるから…
女：暗くなっちゃう。ベッドの横だとテレビが…。
男：そんなの見なきゃいいじゃない。じゃ、こっちは。
女：そうね。でも、ドアの横だと不便かな…
男：じゃ、こっち！（強い語調）ベッドにくっつけてこう置けば。
女：そうか。うーん、やっぱりこっちにする。勉強コーナーにして。どうせ、この部屋にいるのは夜がほとんどだし。
男：はい、はい。じゃ、そっちに持ってくよ。

本箱はどこに置きますか。

9番

先生が講義をしています。黒板に書いた図はどれですか。

えー、今までのところで、円と点A、点Bの関係は理解していただけたと思います。えー、では次に、この点Aと点Bの動きについて説明しようと思います。……このように点Aは円の中心を通って、通常左から右へ移動します。これに対して、点Bはこのように円の上のほうを右から左へ移動します。つまり…

先生が黒板に書いた図はどれですか。

10番

ラジオで各国の離婚率について話しています。日本のグラフはどれですか。

男：離婚率はどの国でも増えてきてるんじゃないでしょうか。
女：ええ、そう思われがちなんですが、実は、このグラフを見ていただくとお分かりのように、スウェーデンでは75年、アメリカでは80年にピークがありまして、現在のほうが減ってきているんですね。
男：ああ、そうですね。どちらも70年代に急上昇しているんですね。
女：ええ、そうなんです。で、それに比べますと、イタリア、日本は徐々に増えてきてはいるんですが…
男：でも、イタリアと日本は伸び率があまり多くありませんね。
女：そうなんです。イタリアの場合は宗教上の問題がありまして、離婚自体が少ないということもあるんです。
男：ふーん、日本でもいったんわずかに下がったのに、90年からまた上昇しているんですね。

日本のグラフはどれですか。

11番

男の人と女の人が、どのホテルに泊まるか話しています。どのホテルに決めましたか。

男：今度の旅行のことなんだけど、常夏の島だから、ホテルはやっぱり海岸の近くがいいねえ。ここなんかどう？
女：でも、ここじゃ、町から遠くて、泳ぐ以外は何もできないんじゃない。
男：それがいいんだよ。のんびりできて。
女：せっかくの海外旅行なんだから、買い物もしたいな。ねえ、このホテルはどう？町の中心にあって、交通の便がよさそう。海からは遠いけど、プールがあるし。
男：そんなビルだらけのとこじゃ、東京と変わらないじゃないか。あっ、こっちは海で泳げるし、山にも近いから、ハイキングもできるよ。
女：やーだー。夏にハイキングなんかする気ない。それだったら、まださっきのホテルのほうがましだわ。
男：さっきのホテルねぇ。これか、へー、ここ、食事うまそう。

女：あら、ほんと。やっぱり、海が近いと、魚が新鮮よね。じゃあ、買い物はあきらめる。今回は、おいしいもの食べて、のんびりすごしましょう。

二人はどのホテルに決めましたか。

問題Ⅱ

問題Ⅱは絵がありません。正しい答えを一つ選んでください。では、一度練習しましょう。

例

週末に女の人は何をしますか。

男：週末に河口湖でテニスをやるんだけど、一緒に行かない。
女：ありがとう。ごめんなさい。先約があって…
男：残念だな。昼はテニスで汗かいて、夜はバーベキューでワイワイやろうと思っているんだけど。
女：楽しそうね。わたしも行きたいけど…
男：なんだ、まさか仕事じゃないだろうね。
女：ちがう、そうじゃなくて、友達と映画を見る約束をしてるから…
男：映画なんていつでも見られるじゃないか。たまには思いきり体を動かすのもいいよ。
女：そうれはそうなんだけど。わたし、テニスラケット持ってないし。それに、もうチケットも買ってあるから…

女の人は何をしますか。

1　仕事をします。
2　テニスをします。
3　バーベキューをします。
4　映画を見ます。

正しい答えは4です。解答用紙の問題Ⅱの例のところを見てください。正しい答えは4ですから、答えはこのように書きます。では始めます。

1番

どのぐらい本を読むかについて話しています。全く読まない人は、どのぐらいいますか。

男：田中さんは、どのぐらい本を読む？
女：そうね、月に2、3冊かしら。
男：全く本を読まない人って、どのぐらいいると思う？
女：全く？　ぜんぜん読まないの？　そんな人いるの？
男：うん。
女：雑誌や新聞も？
男：いや、雑誌や新聞は読むだろうけど、本になったやつ、小説でも、実用書でも。
女：そうね。1割。そんなにいるかしら……。
男：その4倍。
女：えっ、うそー。
男：5年前は、20パーセントぐらいだったのが、年々増えて、去年は過去最高になったんだって。

全く本を読まない人は、どのぐらいいますか。

1　10パーセント
2　20パーセント
3　30パーセント
4　40パーセント

2番

家庭内暴力についてカウンセラーにインタビューしています。親は子供にどうしたらいいと言っていますか。カウンセラーが言っていることと同じものはどれですか。

女：子供が家庭内で暴力をふるうようになったら、親はどう対処すればいいのでしょうか。
男：そうですね。親がどう対処するかは、子供がどこまで本気で暴力をふるっているかによりますね。
女：といいますと。
男：初期の段階では、子供もある程度、力を加減します。このとき、親は毅(き)然とした態度をとることが大切です。ここで親が怖がると暴力はひどくなります。しかし、次の段階、つまり、暴力が激しくなった段階では、親は子供から遠ざかるほうがいいでしょう。

女：親が子供から遠ざかると、なかなか家庭内では解決が難しくなってきそうですね。
男：そうですね。そのときは、第三者による治療やカウンセリングを受けることを勧めますね。それから、親が一人で悩むのではなくて、いろいろな人と意見を交換することが必要になってくると思います。

親は子供にどう対処すればいいですか。カウンセラーが言っていることと同じものはどれですか。

1　暴力がひどくなってきたとき、親は子供から遠ざかります。
2　子供の暴力には、親は毅然として暴力でたたかいます。
3　ほかの人の意見を聞くより、家庭内で解決します。
4　子供の暴力に親は怖がって見せます。

3番

この町は新しく生まれ変わろうとしています。町の整備のために行うことに含まれないものはどれですか。

住民と区が共同して、地域の整備を進めていますが、今回はそんな地域の一つを紹介しましょう。この地区は、4月に公民館をオープンさせ、再開発を契機に町を大きく変えていこうとしています。しかし、再開発地区から住宅地に足をふみいれると道が細く、木造住宅が密集し、防災上の課題を抱えた地区でもあります。そこで来月から、地区を3つのブロックに分け、ブロックごとに、住民と区が街作りの進め方を話し合っていくことになっています。まず、防災上、どの道路を広げる必要があるかを話し合う予定です。

町の整備のために行うことに含まれないものはどれですか。

1　公民館の開設です。
2　住民と区の話し合いです。
3　道路を広げることです。
4　木造住宅の建て替えです。

4番

健康管理センターから薬の使い方について説明があります。薬の飲み方でよいものはどれですか。

えー、薬を飲むとき、お茶やジュースで飲んでいる方はいませんか。そういったものは薬の成分と混じることがあって危険です。また、面倒で、薬だけを飲む方もいるようですが、胃や腸で溶けにくくなりますから、必ず水かお湯で飲むようにしてください。薬は飲み忘れを防ぐため、食後に飲むようにということが多いですが、特に、食事をしなくても時間がきたら飲んでいただいて結構です。よく、もう治ったからと勝手に薬を飲むのをやめてしまう人もいますが、一般的には医師がやめるように言うまで、薬は飲み続けるようにしてください。

薬の飲み方でよいものはどれですか。

1　お茶で薬を飲みます。
2　水なしで薬を飲みます。
3　食事をしなくても薬を飲みます。
4　病気が治ったと思ったら薬を飲むのをやめます。

5番

男の人と女の人が時差について話をしています。男の人は時差ボケの対策として何をしますか。

女：きのう帰国したばかりでしょ？　海外出張が多いと時差があるから大変よね。
男：そうだね。ぼくって、わりと敏感なたちだから。
女：あ、そう。じゃ、時差を乗り切るために、何かやったりしてる？
男：何にも。なるようになれっていう感じでボーッとしてるよ。
女：なーんだ、それじゃ全然敏感なんて言えないじゃない。
男：ははは…　冗談だよ。それじゃ仕事にならないからね。いろいろやってるよ。

女：例えば？
男：えーと、そうだな。飛行機の中では食べるものを少なくしたり、できるだけよく眠るようにしたりさ。
女：音楽とか聞いてリラックスするものいいんじゃない？
男：ふつうはそうなんだろうけど、僕の場合は、音楽を聞いちゃうと、かえって目が冴(さ)えてくるんだ。

男の人は時差ボケ対策として何をしますか。

1　特に何もしません。
2　機内で普段通りの食事をとります。
3　睡眠時間を長くします。
4　音楽を聞いてリラックスします。

6番

テレビの番組で解説者が話しています。交通事故を起こしたとき、どのように行動したほうがいいと言っていますか。

えー、事故を起こした人は頭がカーッとなってしまって、正しい判断もつかなくなり、猛スピードで逃げたり、相手と口論したりしがちなんですが、これでは自分を不利にするだけで、何の助けにもなりません。ですから、不利にならないように、事故の時の車のスピード、車の止まった位置とか、信号の色、周囲の交通状態などをできるだけ正確に把握して、警察官に報告しなければなりません。
えー、処分を恐れるあまり、現場で個人的に相手と話し合うということは絶対に避けなければなりませんね。

交通事故を起こしたとき、どのように行動したほうがいいと言っていますか。

1　冷静に事故の状況を把握します。
2　落ち着いて、自分が正しいと主張します。
3　自分に不利なことは話しません。
4　正しい判断をして、相手と話し合います。

7番

女の人が二人、話しています。何のお礼を言っていますか。

女１：あ、田中さん。先日はどうもありがとうございました。
女２：あ、小島さん。いいえ、お礼をおっしゃっていただくようなもんじゃ。息子のお古なんでねぇ、どうかとは思ったんですけどねぇ。
女１：いえね、それが、うちの主人にぴったりで。
女２：えっ！　ご主人がお召しに？　わたしはおぼっちゃんにと思って…
女１：ええ、ええ、それは分かっているんですよ。でも、最近、息子は背が伸びちゃって。
女２：まぁ…
女１：それで、主人が試してみたら、これが、あつらえたみたいで…
女２：はぁ…まあ、お役に立てば…
女１：本当にありがとうございました。

何のお礼を言っていますか。

1　お土産をもらったお礼を言っています。
2　服をもらったお礼を言っています。
3　靴をもらったお礼を言っています。
4　手袋をもらったお礼を言っています。

8番

学校の係の人が奨学金のことについて話しています。説明会までに必ずしなければいけないことは何ですか。

この学校には留学生の申し込める奨学金があります。10月４日に説明会がありますから、詳しいことはそこで話しますが、希望者にはとりあえず、それまでに書いておいてもらいたい書類がありまして、えーと、この青い書類と黄色い書類なんですが、えー、まあ、間に合わなかったら青い書類はあとでもかまいません。説明会に参加できない人も黄色いのは必ず書いて提出してください。

説明会までに必ずしなければいけないことは何ですか。

1　希望者全員が黄色と青の書類を書くことです。
2　説明会に出られない人が黄色い書類を書くことです。
3　説明会に出られる人が青い書類を書くことです。
4　希望者全員が黄色い書類を書くことです。

9番

男の人と女の人が本の選び方について話しています。話の内容と違うものはどれですか。

男：最近の子供は本を読まなくなったと言われていますね。
女：ええ。もう、ずいぶん前からそう言われています。でも、本を読むことは、やはり大事なことじゃありませんか。
男：ええ、大事なことだと思います。ただ本と言ってもいろいろありまして。
女：ええ。
男：それで、慣れないとどんな本を選んでいいか分からない、という人も多いのではないでしょうか。
女：難しく考えることはないと思いますよ。面白い本、それが一番です。
男：でも、一言で面白いと言っても…
女：ま、言い換えれば、その人が読みたいと思う本です。好きなことや知りたいと思っていることが書いてある本なら、たいてい面白いもんです。
男：うーん、確かにそうですね。ほかに選ぶ方法、ありますか。
女：ええ、あります。自分と同じ悩みで苦しんでいる主人公を見つける。これも本の探し方の一つですね。
男：同じ悩みで苦しんでる…
女：ええ。本の中で、主人公がどう考え、どう行動したか。それを読むことで、自分の悩みを考え直すことができます。
男：なるほど。
女：もう一つの方法は、いい作品に出会ったら、同じテーマのものを読んでみる。もちろん、気に入った同じ作家のものを何冊か読んでみる、というのもいい方法でしょうね。

本の選び方で、話の内容と違うものはどれですか。

1　面白い本を選びます。
2　自分と同じ悩みを持っている主人公の本を選びます。
3　いろいろなテーマの本を選びます。
4　気に入った作家の本を選びます。

10番

ラジオの相談番組です。男の人はどうしたほうがいいと言っていますか。

女：え、では、次はお母さんからの相談です。高校生の息子さんがアルバイトをしたいと言っているそうなんですが、させてもいいだろうか、というご相談です。
男：その息子さんの学校ではアルバイトは禁止されていないんですね。
女：ええ、そのようです。
男：それなら、許可してもいいんじゃないですか。ま、確かに学校の勉強は大切ですが、夏休みなどに社会勉強することも悪いとは言えませんし。自分でお金を稼ぐ大変さを知るためにもやらせてみていいのではないでしょうか。
女：そうですね。
男：ただ、アルバイトだけにならないよう、学校の勉強もおろそかにしない約束も必要だとは思いますが。

男の人はどうしたほうがいいと言っていますか。

1　学校で禁止されているので、アルバイトをしてはいけません。
2　夏休みは、勉強をしないで、アルバイトだけさせます。
3　お金を稼ぐのは大変だから、高校生にアルバイトは無理です。

4　いい社会勉強になるので、アルバイトをしてもかまいません。

11番

男の人が再生紙について話しています。男の人は再生紙についてどう思っていますか。

古い紙を使って作った紙、再生紙と呼ばれていますが、これは普通の紙より少し茶色っぽくなります。そのためだと思いますが、なかなか利用率があがりません。もちろん、もっと白くすることもできるのですが、そうすると費用がかかって、普通の紙より高くなってしまうでのです。しかし、紙は真っ白でなければならないのでしょうか。わたしは少し茶色っぽいぐらいのほうが目が疲れにくいと思うのですが、みなさんはいかがでしょう。

男の人は再生紙についてどう思っていますか。

1　値段が高いので、あまり使えない。
2　真っ白ではないが、もっと使ってほしい。
3　もう少し白ければ、もっと使いたい。
4　茶色っぽい紙は目が疲れるので、使いたくない。

12番

男の人と女の人がコンピューターについて話しています。女の人はどうして困っているのですか。

男：コンピューター買ったんだって？
女：うん。
男：どう、調子は？
女：もう、困っちゃってるの。説明書がね、３冊もあるの。
男：ふうん。
女：それ、隅から隅まで読んでみたんだけど、カタカナの言葉がいっぱい出てきて、何のことやらさっぱり…。言葉の勉強から始めなくちゃならないなんて思わなかった。
男：ははは…、説明書なんか読んでないで、いろいろやってみたほうが早いよ。
女：そんなこと言ったって、間違った使い方して、壊しちゃったら大変じゃない。

女の人はどうして困っているのですか。

1　間違った使い方をして壊してしまったからです。
2　コンピューターの調子がよくないからです。
3　説明書がたくさんあって、読みきれないからです。
4　説明書の言葉が分からないからです。

13番

男の人と女の人がマンガについて話しています。女の人はマンガをどう思っていますか。

男：外国から来た友達に、日本人はどうしてこんなにマンガが好きなのかって聞かれて、困っちゃった。
女：そうね。電車の中で、スーツ着たサラリーマンがマンガを読んでいるってのは、どうもね…。
男：はずかしい？
女：うーん、やっぱり…。
男：マンガだって、いいものはたくさんあるのに。
女：でも、変なのも多いでしょう。
男：小説だって、変なのはたくさんあるよ。
女：それはまあそうだけど。ま、マンガってのは子供のものだから。いくらいい本だって、子供の絵本を電車の中では読まないでしょう。

女の人はマンガをどう思っていますか。

1　マンガは子供のものだが、いいものもたくさんある。
2　いいマンガでも、おとなが電車の中で読むのはおかしい。
3　マンガは変なものが多いから、子供に読ませるべきではない。
4　いいマンガなら、だれがどこで読んでもいい。

14番

男の人はどうしてうちを飛び出したのですか。

女：あら、健一じゃない。
男：姉さん、悪いんだけど、今夜、泊めてもらえないかな。うち、飛び出して来ちゃったんだ。
女：えっ、どうしたの？
男：また、やっちゃったんだ。
女：またぁ。今月これで３回目じゃない。今度は何が原因なの？
男：間違って、父さんのハンカチで靴、ふいちゃったんだ。で、謝ろうと思ったらいきなり、「この馬鹿者」ときたんで、ハンカチぐらいで、そんなに言わなくったっていいじゃないかって言ったら…
女：「ハンカチぐらいとは何事か、この大馬鹿者！！」でしょ。
男：うん。
女：今夜は泊めてあげるから、あしたちゃんと謝るのよ。

男の人はどうしてうちを飛び出したのですか。

1　父親に靴で殴られたからです。
2　父親とけんかしたからです。
3　父親が乱暴な人だからです。
4　父親のハンカチをなくしてしまったからです。

15番

女の人が本を探しています。どうして見つけられなかったのですか。

女：日本文化史って本、青い表紙だったよね。
男：うん。
女：変だな、どこに行っちゃったんだろう。
男：いつもその辺にあるんだけど。
女：うん、さっきから見てるんだけど。
男：だれか借りてっちゃったのかな。…あれ、これ。
女：何、その白い本。…えっ、やだ、だれよ、カバー外しちゃったの。わかんなくなっちゃうじゃない。

女の人はどうして本を見つけられなかったのですか。

1　ほかの棚に置いてあったからです。
2　ほかの人が借りていってしまったからです。
3　だれかが本のカバーを外してしまったからです。
4　表紙の色を間違って覚えていたからです。

これで１級の聴解模擬試験を終わります。

第 2 回

これから1級の聴解試験を始めます。問題用紙を開けてください。

問題Ⅰ

絵を見て正しい答えを1つ選んでください。では、1度練習しましょう。

例

男の人がソースを入れるビンを探しています。どのビンに入れますか。

男：ソースを入れたいんだけど、ビン、どこ？
女：あ、右側の棚の上の方。
男：これ？
女：あ、それじゃなくて、細長いやつ。透明な。
男：まるいふたのついているの?
女：どっちでもいいけど。
男：じゃ、まるいほうね。

ソースは、どのビンに入れますか。

正しい答えは3です。では、解答用紙の問題Ⅰの例のところを見てください。正しい答えは3ですから、答えはこのように書きます。では、始めます。

1番

女の人が旗を見て、どこの国の旗かを、男の人に聞いています。女の人が男の人に聞いている旗はどれですか。

女：ねえ、あの旗、どこの国の旗か知ってる？
男：どれ？
女：ほら、丸と三角の。
男：ああ、真ん中に三角があって、その中に丸のある？
女：それじゃなくて、真ん中に丸があって、その中が三角の旗。
男：えっ、どれ。なんか似たのがいっぱいあるけど。
女：ほら、あそこの。真ん中に大きい丸があって、その中に三角が入っているの。周りが横じまになっているやつ。
男：ああ、あれ。どこのだろう。

女の人が男の人に聞いている旗はどれですか。

2番

男の人と女の人が言葉を表す絵について話しています。「わたし」と「あなた」を表すのはどれですか。

女：言葉に障害のある人と話ができるように、絵で言葉を表すのがあるんだって。
男：ふーん。
女：こういう格好をした絵があるんだけど、どういう意味だと思う？
男：片手を挙げて、片手は胸に、か。「こんにちは」かな。
女：はずれ。「わたし」という意味。
男：じゃ、「あなた」はこうだろう。
女：そう。相手を指でさすの。

「わたし」と「あなた」を表すのはどれですか。

3番

女の人はどんなカセットテープレコーダーが欲しいと言っていますか。

男：何をお探しですか？
女：テープのダビングができるのが欲しいんですけど。
男：では、カセットテープが2つ入るのですね。ちょっとお待ちください。こちらになりますが。
女：ずいぶん大きいのね。もっと小さいのないですか。
男：テープが横に2つ入って、両側にスピーカーがつきますと、どうしてもこのぐらいの大きさになってしまうんです。
女：このぐらいの大きさのがいいんだけど。あ、これはスピーカー、片方だけなのね。

男：ええ。でも、そちらは、カセットが1つしか入らないんです。
女：あ、ほんとう。スピーカーは1つでいいんだけど、そういうのってないの？
男：そうですねえ、うちには置いてないんですが。

女の人はどんなカセットテープレコーダーが欲しいと言っていますか。

4番
男の人と女の人が雑誌の記事につける写真のことで話しています。どの写真を使いますか。

男：このページ、少し空いているので、この写真を入れようと思っているんですが。
女：いい写真ね。この笑顔がいい感じよね。でも、あまりスペースがないから、人物だけにして周りを切ったらどうかしら。こう左右を切って、そう、いっそ上半身だけにしちゃったほうが笑顔が生きるわね。
男：そうですね。でも、この後ろの建物が記事に出てくるので、できれば残したいんですが。
女：そう。じゃあ、人物を上半身だけにして横長にしたらどうかしら。
男：あの、この人の着ている服も記事に出てくるんです。できればこのまま。
女：そうなの。でも、あれもこれもって欲張ると、印象が薄くなってしまうと思うけど。
男：はあ。
女：記事のテーマは…
男：「わたしの生まれた家」です。
女：服はテーマとは関係ないのね。
男：はい。
女：だったらテーマのほうを大事にして、余分なところはなくしたほうがいいんじゃないかしら。
男：そうですね。

男の人はどの写真を使いますか。

5番
ニュースです。司法試験合格者を示すのはどの線ですか。

国民生活白書によりますと、資格を取り専門的、技術的職種に進出する女性が増加していることがわかりました。平成6年には薬剤師や小中学校の教師は、女性の占める割合がそれぞれ6割、5割となり、女性が比較的多い職業として定着してきています。かつて女性がほとんどいなかった司法試験合格者も昭和60年代から増え始め、最近では約20%を女性が占めるようになりました。その他、歯科医、医師などの職業についても女性が占める割合が着実に増えています。

司法試験の合格者の割合を示すのはどの線ですか。

6番
男の人が看護婦さんと病院で話しています。看護婦さんはこれからどの順番で行くように言ってますか。

女：次に簡単な検査です。検査室は隣の部屋です。検査が終わったら、薬をもらって、お帰りになって結構です。検査の結果は1週間後に分かります。
男：はい、分かりました。あのう、ここ、初めてなんですけど、薬局は1階ですか。
女：ええ、1階です。この階段をおりてすぐ左です。薬局の正面が会計です。
男：ああそうですか。会計はお薬をもらったあとですね。
女：ええ、そうです。お大事に。
男：ありがとうございました。

看護婦さんは男の人にどの順番で行くように言っていますか。

7番
ニュースです。海岸に描かれた絵はどれですか。

地球温暖化防止に取り組む環境保護団体が、海岸に色付きの砂で絵をかきました。この絵はテーマである地球が絵の真ん中に位置し、子供がその背後に描かれ、地球と木を抱いています。男の子と女の子は左右にニコニコした顔で向き合い、地球には立派な木がしっかりはえています。

海岸に描かれた絵はどれですか。

8番

夫と妻が水族館で魚を見ながら話しています。二人が見ている魚はどれですか。

女：ねえ、あの魚見て。なんだかあなたそっくり。目がぎょろっとしていて、おなかがデーンとしてて…。
男：なに…。うーん、それにしても背びれや尾びれが妙に小さくいてバランスが悪い魚だな。
女：そう、ちょっと、こっけいよね。食べてもおいしくなさそうね。でも、おなかのところの横しまの色はきれいね。
男：あっ、今、口開けたけど、意外に大きな歯が見えたよ。
女：何でも、ガツガツ食べるんじゃないの、あなたみたいに…。

今、二人が見ている魚はどれですか。

9番

女の人が男の人に自分の田舎の町について話しています。女の人の田舎はどれですか。

男：今度の連休はどうするの。
女：久しぶりに、田舎へ帰ろうと思ってる。親も帰ってこいってうるさいし。
男：君の田舎って。
女：本当に何にもないただの田舎。田んぼがあって、川沿いに小さい町があって、海が近くて…。
男：へえ、いいなあ。空気もおいしくて、星もきれいだろうね。
女：それがね、去年から、山を削って海を埋め立ててレジャー施設を作っているの。だから、これからどんどん変わってしまうんじゃないかな。
男：そう、それは残念だね。

女の人の田舎はどれですか。

10番

女の人がタクシーの運転手に道を教えています。女の人が行くのはどの家ですか。

男：お客さん、道、わかりますか。
女：ええ、多分。あ、その角を右に…。あ、いいえ、ちがった。
男：次ですか。
女：あ、そう、そう、次の角。クリーニング屋の手前を右に…
男：はい。ここですね。
女：ええ。で、少し行くと、右手に大きな松の木のある…
男：あの黒い屋根のうちですね。
女：そう、そう。何か、このうち、もっと古かったような気がしてたんだけど。あ、その先の十字路を左に。
男：あ、工事中だ。曲がれませんね。どうします?
女：困ったな。そのすぐ先なんだけど。公園の２軒先。
男：じゃあ、この先の道から回り込めるかもしれませんよ。…あ、行けますよ。
女：公園の…　そう。ここ、ここ。よかった。

女の人が行くのはどの家ですか。

11番

会社の倉庫の前で、上司と部下が話しています。荷物はどこに置きますか。

男：じゃあ、この荷物二つ、倉庫に片づけといて。
女：はい。倉庫の一番奥の棚ですか。
男：いや、あそこは古い在庫。これはこれか

ら売るんだから。
女：ああ、じゃ、入ってすぐの棚ですね。
男：うん、そう。入ってすぐ右の右側。
女：はい。あれ、ここは一杯ですよ。
男：あ、そこは今朝荷物を入れたばかりだった。ごめん、ごめん。その突き当たりに空きがあるかな。
女：そうですね。ちょっと狭いですけど。
男：じゃあ、一つはそこに入れて、もう一つはその下に置いといて。
女：はい。わかりました。

荷物はどこに置きますか。

12番

新しいマンションを建てるための説明会です。今見ている資料はどれですか。

では、お手元の資料をご覧ください。2ページ目の中程に、建設を予定しておりますマンションの完成予想図がございます。図の右側からページの終わりにかけまして、詳しい説明が書いてあります。1ページ目の方は弊社の紹介となっておりますので、後ほどお時間のあるときにでも目を通していただければと思います。え、さて、2ページの右上に小さなグラフがございます。これはこの地域のこれまでの土地の値段の変動を示しておりまして、ご覧のように最近ではかなり低いところで横ばいとなっております。

今見ている資料はどれですか。

13番

男の人と女の人が子どもがかいた絵を見ながら話しています。二人の見ている絵はどれですか。

男：子供の絵って、おもしろいね。
女：ほんと。大人じゃ、想像つかないわね。ねえ、これ見て。犬にも見えるし、猫にも見えるし。
男：はは、本当だ。きっと、いろんな動物を一つにしちゃったんだね…　しっぽを見てると、ネズミとも言えるよね。
女：しかも、白と黒のしま模様よ。シマウマ、かきたかったのかな。
男：きっと、この子の理想の動物だよ。
女：そうね。夢で見たのかもしれないわね。

二人の見ている絵はどれですか。

14番

男の人と女の人がショーウィンドーを飾っています。ショーウィンドーはどうなりますか。

男：これでどうかな。
女：そうねえ。なかなかいいと思うけど。でも、ショーウィンドーは店の顔だからね。もう一度よく考えて。
男：うーん。そうだな。真ん中に小さいの持ってきたほうがいいかな。
女：今と逆ね。
男：そう。そうすると外に広がっていく感じがするよね。
女：確かにね。でも、ちょっとポイントがなくならない？。むしろ、このままで真ん中の三つをもう少しよせたらどう？
男：こうか。うん、この方が動きが出るな。よし、これでいこう。

ショーウィンドーはどうなりますか。

問題Ⅱ

問題Ⅱは絵がありません。正しい答えを一つ選んでください。では、一度練習しましょう。

例

女の人はこれからどうしますか。

男：さあ、これで終わり。
女：引っ越し、早く片づいてよかったね。
男：うん。でも、くたびれたねえ。おなかすいちゃった。
女：ほんと。でも、ご近所にご挨拶に行かな

くちゃ。
男：手ぶらで行くわけにいかないよね。
女：そりゃそうよ。昔なら引っ越してきた人はおそばを持っていくとこだけど。
男：なんか用意してあるの？
女：それがね、まだ買ってないの。ちょっと買いに行ってくる。
男：あしたじゃダメ？
女：だめ、だめ。こういうことは早く済ませなくちゃ。

女の人はこれからどうしますか。

1　ご飯を食べに行きます。
2　おそばを持って行きます。
3　近所に挨拶に行きます。
4　買い物に行きます。

正しい答えは4です。解答用紙の問題Ⅱの例のところを見てください。正しい答えは4ですから、答えはこのように書きます。では、始めます。

1番

先生と学生が話しています。どうして「レポートの書き方」という本がいいのですか。

男：先生、すみません。
女：はい、何ですか。
男：あのう、日本語のレポートの書き方がよく分からないんですが、何かいい参考書、ありませんか。
女：そうですね…。「レポートの書き方」という本と「小論文入門」という本がありますよ。
男：「レポートの書き方」と「小論文入門」ですか。
女：そう。どちらもいい本だけど、具体的な例がたくさん出ているから、「レポートの書き方」のほうが分かりやすいんじゃないかな。
男：そうですか。あのう、どこで買えますか。
女：どちらも学生センターで売っていますよ。「小論文入門」のほうも、短くてよくまとまっていていいんだけど、ちょっと高いから。
男：そうですか。分かりました。ありがとうございました。

どうして「レポートの書き方」という本がいいのですか。

1　具体的な例がたくさん出ているからです。
2　学生センターで売っているからです。
3　高い本だからです。
4　短くて、よくまとまっているからです。

2番

夫婦が話しています。女の人が心配していることは何ですか。

（ブレーキの音）
女：危ないっ！　もうちょっとで事故になるとこよ。
男：ぶつかっちゃってればね。残念。そしたら、保険金、がっぽりもらえるのに。
女：変なこと言わないでよ。怪我（けが）したら何にもなんないじゃない。
男：いいんじゃない？　怪我ぐらいなら。そりゃ、死んじゃったらまずいけど。
女：何言ってんのよ。死んだらおしまいでしょ。
男：そうそう。
女：あのね、あなたに怪我されちゃ困るの。
男：え？どうして。
女：あなたは大事な人なの。
男：え？　…うれしいね。
女：そうよ。だって、まだまだ働いてもらわなくちゃ。子供も小さいんだし。
男：おい、そりゃないよ。

女の人が心配していることは何ですか。

1　子供が交通事故にあうことです。
2　自分が交通事故で死ぬことです。
3　夫が怪我をして働けなくなることです。
4　保険金がもらえないことです。

３番

今の子供たちはなぜ起きてすぐ顔を洗わないのですか。

女：ねえ、子供の時、朝起きたら一番に何をした？
男：ええ？　起きてすぐ？　そりゃ、顔洗うんじゃない？　お袋、いつも怒鳴ってたもんな、「顔洗え！」って。
女：そうよね。私も顔洗って、歯磨いて、着替えて、それからご飯食べたわ。
男：それがどうかしたの。
女：あのね、今の子供たちについての調査があるの。
男：へえ。
女：それがね、今の子たち、起きてすぐ顔を洗わないのよ。
男：へええ。なんだか気持ち悪いな。
女：ほら、「食べたら磨こう」って、歯磨きのキャンペーンあったじゃない。
男：ああ、あった、あった。
女：だから、二度磨くのめんどくさいから、食べてから磨くんだって。
男：なるほどね。で、顔もそのとき洗うのか。まあ、合理的だな。
女：それでね、男の子が一番にするのはトイレ、女の子は着替えなんだって。
男：ふうん。

今の子供たちはなぜ起きてすぐ顔を洗わないのですか。

1　親が注意しないからです。
2　食事の後のほうが合理的だからです。
3　気持ち悪いからです。
4　先にトイレに行きたいからです。

４番

ホテルの客がフロントに電話をかけています。フロントの人はこれからどうしますか。

男：はい、フロントでございます。
女：ちょっと、ルームサービスで食事を頼んだのに、まだ持ってこないのよ。どうなってるの。
男：申し訳ございません。ただ今大変込み合っておりまして。
女：もう30分近くになるのよ。
男：さようでございますか。申し訳ございません。こちらから係のほうに申し伝えますので、もうしばらくお待ちいただけませんでしょうか。
女：とりあえず、飲み物だけでも持ってきてちょうだい。
男：はい、かしこまりました。お飲物を先にお持ちするよう伝えます。
女：早くしてよ。
男：は、はい。

フロントの人はこれからどうしますか。

1　係の人の代わりに、飲み物を持っていきます。
2　お客に謝りにいきます。
3　飲み物をすぐ持っていくように、係の人に言います。
4　食事をすぐ持っていくように、係の人に言います。

５番

男の人と女の人が話しています。今、同僚の青木さんが会社にいません。それはなぜですか。

女：あれ、青木さん今日お休み？何か聞いてる。
男：いや、べつに…。今日は３時から会議が入っているんだけどなあー。どうしたんだろう。
女：出張は来週の月曜の予定だし…。変更になった話は聞いてないし…。
男：あれ、カバン、あるよ。もしかして…。
女：なんだ、もう営業ででかけちゃったのね。

どうして同僚の青木さんは今会社にいませんか。

1　社外で仕事をしています
2　出張しています
3　会議に出ています
4　会社を休んでいます

6番

脳の働きと生体のリズムについて講義しています。何時に勉強するのが一番いいと言っていますか。

体温と脳の働き、また運動能力には深い関係があります。体温は、たいてい起床時間の午前6時ごろからだんだん上がっていき、午後2時ごろ、一番高くなります。脳の機能は体温が高いときのほうが活性化します。ところが、考えるとか、覚えるというような知能の働きという点から言えば、午前10時ごろのほうが高く、午後はどちらかというと運動能力のほうがすぐれています。

勉強に適している時間は何時ですか。

1　午前6時ごろです。
2　午前10時ごろです。
3　午後2時ごろです。
4　午後10時ごろです。

7番

男の人と女の人が話をしています。男の人はなぜ結婚式が憂鬱(うつ)なのですか。

男：今度の日曜日、友達の結婚式なんだ。
女：なんだか、憂鬱そうね。
男：いやー、今月は2組あるし…。
女：そろそろ、飽きてきたってわけ？…　私なんか、着ていくものを考えるといやになっちゃう。毎回同じってわけにいかないし。
男：いや、まあそれはいいんだけど。今度のは大阪だから、いろいろとね。
女：じゃ、交通費もばかにならないわね。
男：そうなんだよ。給料日前だしな。

どうして男の人は、結婚式が憂鬱なのですか。

1　お金がかかるからです。
2　飽きてきたからです。
3　時間がかかるからです。
4　着て行くものがないからです。

8番

女の人が男の人にお礼を言っています。女の人は何をもらいましたか。

女：昨日はどうもありがとうございました。さっそくお庭に植えました。
男：そうですか。うまく育つといいですね。
女：ええ、楽しみにしているんですよ。
男：来月には白い花が咲くと思いますよ。春には実もなるでしょう。
女：ちょっと気が早いんですけど、もう料理の本も買ってきちゃったんです。たくさん実ができればジャムにしてさしあげますから。
男：そうですか。それは、それは…。

女の人は男の人に何をもらいましたか。

1　花束です。
2　ジャムです。
3　料理の本です。
4　果物の苗です。

9番

男の人と女の人が夜の虹について話しています。二人は夜の虹があると思っていますか。

女：夜、虹が出ることがあるって聞いたんだけど、ほんとうかしら。
男：虹が夜に？ まさか。だって虹って太陽の光が屈折してできるんだろう。夜は出るはずないよ。
女：でも、光があれば太陽じゃなくったっていいんでしょう。月だって、星だって。
男：それはまあそうだけど、月や星じゃ暗すぎるんじゃないかな。
女：そうよね、やっぱり。でも、もしあったらすてきよね。月夜の虹なんてロマンチックよね。

二人は夜の虹があると思っていますか。

1　男の人はあると思っているが、女の人はないと思っています。
2　男の人はないと思っているが、女の人はあると思っています。

3　二人ともあると思っています。
4　二人ともないと思っています。

10番

男の人がこれからの予定を説明しています。女の人たちはいつ風呂(ふろ)に入りますか。

男：えー、これからの予定ですが、７時までは自由時間になっています。散歩をなさるなり、お部屋でくつろぐなり、ごゆっくりなさってください。７時から夕食、その後、９時からはショーをご覧になっていただくことになっています。
女１：あの、お風呂は…
男：えー、入浴時間は11時までということになっております。
女１：ねえ、どうする？　夕食まで２時間ちょっとあるけど。
女２：ショーが終わってからだと、ゆっくり入れないね。
女１：うん。夕食終わるのって８時過ぎでしょう。
女２：ショーまであまり時間ないね。
女１：食事の後、すぐお風呂っていうのも体によくないしね。
女２：せっかく温泉に来たんだから、お風呂でのんびりしたいものね。

女の人たちはいつ風呂に入りますか。
1　夕食の前に入ります。
2　夕食の後に入ります。
3　ショーの前に入ります。
4　ショーの後に入ります。

11番

男の人が古い金の彫刻について話しています。男の人は、その彫刻はどこの国のものだと考えていますか。

戦争などの混乱で、外国に流出した文化財は、どこの国のものかというのが問題になっています。例えば、この金の彫刻ですが、これはフランス人の学者が、エジプトのピラミッドで発見し、フランスに持ち帰り、フランスの博物館に納められましたが、第二次世界大戦の混乱で、ロシアに流出しました。これは、「もともとあったエジプトのものだ」、「いや、発見し、大切に保管したフランスのものだ」、「今、所有しているロシアのものだ」と、それぞれ、自分のものだと主張しています。難しい問題ですが、わたしは、こういう文化的遺産というものは、つくられた土地、使われた場所にあって初めて本当の価値をもつのではないかと考えています。

男の人は、この金の彫刻は、どの国のものだと考えていますか。
1　エジプト
2　フランス
3　ロシア
4　一概に決められない。

12番

女の人が色についての調査について話しています。この調査では黄色はどんな色でしたか。

最も好きな色は何かという調査が行われました。全体のトップは青で、以下赤、黒、白の順になっています。上位の色は国旗や伝統的な民族衣装によく使われる色でした。また、色に関するイメージについて調べたところ、「幸せ」を表す色は何かという質問に対し、最も多い回答は黄色でした。このほか、「家庭、家族」を表す色はオレンジ、うすい赤など暖かみのある色が上位を占めるという結果が出ました。

この調査で黄色はどんな色でしたか。
1　もっとも人気がある色です。
2　国旗によく使われる色です。
3　「幸せ」を表す色です。
4　「家庭」を表す色です。

13番

男の人と女の人が休みの日の過ごし方について話しています。男の人にとって、理想の休日とはどんな休日ですか。

女：連休、何していた？
男：うちでごろ寝。
女：ごろ寝？
男：うん。ソファーに寝っころがって、せんべい食べながら本読んで…。
女：つまらない休みね。
男：そうかな。ぼくには、理想的だったんだけど。連休なんて、どこに行っても込んでいて疲れるだけじゃないか。
女：でも、うちにいても庭の手入れとか、日曜大工とか、何かすることありそうなものだけど。
男：そういうのも嫌いじゃないよ。うちの台所のいす、ぼくが作ったんだよ。
女：へえ…。旅行したり、スポーツしたりってしないの？
男：たまにね。学生時代は日本中旅行したし、今だってテニスクラブに入っているよ。
女：あ、わたし、テニス大好き。高原で１日中テニスするのが理想の休日なんだ。

男の人にとって、理想の休日とはどんな休日ですか。

1　寝っころがって本を読みます。
2　日曜大工でいすを作ったりします。
3　旅行をします。
4　テニスをします。

これで、１級の聴解試験を終わります。

1級模擬テスト（第1回）解答用紙

〔文字・語彙〕

問題Ⅰ		
問1	(1)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④
	(4)	① ② ③ ④
問2	(1)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④
問3	(1)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④
	(4)	① ② ③ ④
問4	(1)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④
	(4)	① ② ③ ④

問題Ⅱ	
(1)	① ② ③ ④
(2)	① ② ③ ④
(3)	① ② ③ ④
(4)	① ② ③ ④
(5)	① ② ③ ④

問題Ⅲ		
問1	(1)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④
	(4)	① ② ③ ④
問2	(1)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④
	(4)	① ② ③ ④
問3	(1)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④
	(4)	① ② ③ ④
問4	(1)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④

問題Ⅳ	
(1)	① ② ③ ④
(2)	① ② ③ ④
(3)	① ② ③ ④
(4)	① ② ③ ④
(5)	① ② ③ ④

問題Ⅴ	
(1)	① ② ③ ④
(2)	① ② ③ ④
(3)	① ② ③ ④
(4)	① ② ③ ④
(5)	① ② ③ ④
(6)	① ② ③ ④
(7)	① ② ③ ④
(8)	① ② ③ ④
(9)	① ② ③ ④
(10)	① ② ③ ④
(11)	① ② ③ ④
(12)	① ② ③ ④
(13)	① ② ③ ④
(14)	① ② ③ ④
(15)	① ② ③ ④

問題Ⅵ	
(1)	① ② ③ ④
(2)	① ② ③ ④
(3)	① ② ③ ④
(4)	① ② ③ ④
(5)	① ② ③ ④
(6)	① ② ③ ④
(7)	① ② ③ ④
(8)	① ② ③ ④
(9)	① ② ③ ④
(10)	① ② ③ ④

〔聴解〕

問題Ⅰ	
例	① ② ③ ●
1番	① ② ③ ④
2番	① ② ③ ④
3番	① ② ③ ④
4番	① ② ③ ④
5番	① ② ③ ④
6番	① ② ③ ④
7番	① ② ③ ④
8番	① ② ③ ④
9番	① ② ③ ④
10番	① ② ③ ④
11番	① ② ③ ④

問題Ⅱ		
例	正しい	① ② ③ ●
	正しくない	● ● ● ④
1番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
2番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
3番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
4番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
5番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
6番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
7番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
8番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
9番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
10番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
11番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
12番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
13番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
14番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
15番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④

〔読解・文法〕

問　題　Ⅰ	
問　1	①　②　③　④
問　2	①　②　③　④
問　3	①　②　③　④
問　4	①　②　③　④
問　5	①　②　③　④
問　6	①　②　③　④
問　7	①　②　③　④

問　題　Ⅱ	
問　1	①　②　③　④
問　2	①　②　③　④
問　3	①　②　③　④
問　4	①　②　③　④
問　5	①　②　③　④
問　6	①　②　③　④
問　7	①　②　③　④

問　題　Ⅲ	
(1)	①　②　③　④
(2)	①　②　③　④
(3)	①　②　③　④
(4)	①　②　③　④
(5)	①　②　③　④
(6)	①　②　③　④
(7)	①　②　③　④

問　題　Ⅳ	
(1)	①　②　③　④
(2)	①　②　③　④
(3)	①　②　③　④
(4)	①　②　③　④
(5)	①　②　③　④
(6)	①　②　③　④
(7)	①　②　③　④
(8)	①　②　③　④
(9)	①　②　③　④
(10)	①　②　③　④
(11)	①　②　③　④
(12)	①　②　③　④
(13)	①　②　③　④
(14)	①　②　③　④
(15)	①　②　③　④
(16)	①　②　③　④
(17)	①　②　③　④
(18)	①　②　③　④
(19)	①　②　③　④
(20)	①　②　③　④
(21)	①　②　③　④
(22)	①　②　③　④

問　題　Ⅴ	
(1)	①　②　③　④
(2)	①　②　③　④
(3)	①　②　③　④
(4)	①　②　③　④
(5)	①　②　③　④
(6)	①　②　③　④
(7)	①　②　③　④

問　題　Ⅵ	
(1)	①　②　③　④
(2)	①　②　③　④
(3)	①　②　③　④
(4)	①　②　③　④
(5)	①　②　③　④
(6)	①　②　③　④



1級模擬テスト（第2回）解答用紙

〔文字・語彙〕

問題 I

問1	(1)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④
	(4)	① ② ③ ④
問2	(1)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④
	(4)	① ② ③ ④
問3	(1)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④
	(4)	① ② ③ ④
問4	(1)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④

問題 III

問1	(1)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④
	(4)	① ② ③ ④
問2	(1)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④
	(4)	① ② ③ ④
問3	(1)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④
	(4)	① ② ③ ④
問4	(1)	① ② ③ ④
	(2)	① ② ③ ④
	(3)	① ② ③ ④

問題 V

(1)	① ② ③ ④
(2)	① ② ③ ④
(3)	① ② ③ ④
(4)	① ② ③ ④
(5)	① ② ③ ④
(6)	① ② ③ ④
(7)	① ② ③ ④
(8)	① ② ③ ④
(9)	① ② ③ ④
(10)	① ② ③ ④
(11)	① ② ③ ④
(12)	① ② ③ ④
(13)	① ② ③ ④
(14)	① ② ③ ④
(15)	① ② ③ ④

問題 II

(1)	① ② ③ ④
(2)	① ② ③ ④
(3)	① ② ③ ④
(4)	① ② ③ ④
(5)	① ② ③ ④

問題 IV

(1)	① ② ③ ④
(2)	① ② ③ ④
(3)	① ② ③ ④
(4)	① ② ③ ④
(5)	① ② ③ ④

問題 VI

(1)	① ② ③ ④
(2)	① ② ③ ④
(3)	① ② ③ ④
(4)	① ② ③ ④
(5)	① ② ③ ④
(6)	① ② ③ ④
(7)	① ② ③ ④
(8)	① ② ③ ④
(9)	① ② ③ ④
(10)	① ② ③ ④

〔聴解〕

問題 I

例	① ② ● ④
1 番	① ② ③ ④
2 番	① ② ③ ④
3 番	① ② ③ ④
4 番	① ② ③ ④
5 番	① ② ③ ④
6 番	① ② ③ ④
7 番	① ② ③ ④
8 番	① ② ③ ④
9 番	① ② ③ ④
10 番	① ② ③ ④
11 番	① ② ③ ④
12 番	① ② ③ ④
13 番	① ② ③ ④
14 番	① ② ③ ④

問題 II

例	正しい	① ② ③ ●
	正しくない	● ● ● ④
1番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
2番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
3番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
4番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
5番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
6番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
7番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
8番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
9番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
10番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
11番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
12番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④
13番	正しい	① ② ③ ④
	正しくない	① ② ③ ④

〔読解・文法〕

問　題　I				
問　1	①	②	③	④
問　2	①	②	③	④
問　3	①	②	③	④
問　4	①	②	③	④
問　5	①	②	③	④
問　6	①	②	③	④
問　7	①	②	③	④

問　題　II				
問　1	①	②	③	④
問　2	①	②	③	④
問　3	①	②	③	④
問　4	①	②	③	④
問　5	①	②	③	④
問　6	①	②	③	④
問　7	①	②	③	④

問　題　III				
(1)	①	②	③	④
(2)	①	②	③	④
(3)	①	②	③	④
(4)	①	②	③	④
(5)	①	②	③	④
(6)	①	②	③	④
(7)	①	②	③	④

問　題　IV				
(1)	①	②	③	④
(2)	①	②	③	④
(3)	①	②	③	④
(4)	①	②	③	④
(5)	①	②	③	④
(6)	①	②	③	④
(7)	①	②	③	④
(8)	①	②	③	④
(9)	①	②	③	④
(10)	①	②	③	④
(11)	①	②	③	④
(12)	①	②	③	④
(13)	①	②	③	④
(14)	①	②	③	④
(15)	①	②	③	④
(16)	①	②	③	④
(17)	①	②	③	④
(18)	①	②	③	④
(19)	①	②	③	④
(20)	①	②	③	④
(21)	①	②	③	④
(22)	①	②	③	④

問　題　V				
(1)	①	②	③	④
(2)	①	②	③	④
(3)	①	②	③	④
(4)	①	②	③	④
(5)	①	②	③	④
(6)	①	②	③	④
(7)	①	②	③	④

問　題　VI				
(1)	①	②	③	④
(2)	①	②	③	④
(3)	①	②	③	④
(4)	①	②	③	④
(5)	①	②	③	④
(6)	①	②	③	④



日本語能力試験の構成と認定基準

級	構成			認定基準
	類別	時間	配点	
1	文字・語彙 聴解 読解・文法 計	45分 45分 90分 180分	100点 100点 200点 400点	高度の文法・漢字(2,000字程度)・語彙(10,000語程度)を習得し、社会生活をする上で必要であるとともに、大学における学習・研究の基礎としても役立つような、総合的な日本語能力(日本語を900時間程度学習したレベル)
2	文字・語彙 聴解 読解・文法 計	35分 40分 70分 145分	100点 100点 200点 400点	やや高度の文法・漢字(1,000字程度)・語彙(6,000語程度)を習得し、一般的なことがらについて、会話ができ、読み書きできる能力(日本語を600時間程度学習し、中級日本語コースを修了したレベル)。
3	文字・語彙 聴解 読解・文法 計	35分 35分 70分 140分	100点 100点 200点 400点	基本的な文法・漢字(300字程度)・語彙(1,500語程度)を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできる能力(日本語を300時間程度学習し、初級日本語コースを修了したレベル)
4	文字・語彙 聴解 読解・文法 計	25分 25分 50分 100分	100点 100点 200点 400点	初歩的な文法・漢字(100字程度)・語彙(800語程度)を習得し、簡単な会話ができ、平易な文、または短い文章が読み書きできる能力(日本語を150時間程度学習し、初級日本語コース前半を修了したレベル)

著者

石崎晶子　（いしざき　あきこ）
TIJ東京日本語研修所　講師

古市由美子（ふるいち　ゆみこ）
元ロンドン大学キングスカレッジ校　講師

井江ミサ子（いえ　みさこ）
日本工業大学留学生別科　非常勤講師

合格できる！
1級　日本語能力試験対策　模擬テスト2回分つき
You Can Pass It!
Preparing for the Japanese Language Proficiency　Test Level One
With the Equivalent of Two Practice Tests
1999年10月20日初刷発行
2001年11月15日第2刷発行
著　者　石崎晶子・古市由美子　井江ミサ子
発行者　平本照磨
発行所　株式会社アルク
〒168-8611　東京都杉並区永福2-54-12
電話　03-3323-0026（日本語ジャーナル編集部）
03-3327-1101（カスタマーサービス部）
印刷所　株式会社ミリオン

編集協力　有限会社　アミューズ


Printed in Japan ISBN 4-7574-0133-7　C0081
乱丁・落丁本はお取り替えいたします。（定価はカバーに表示してあります。）

ISBN4-7574-0133-7

C0081 ¥1800E



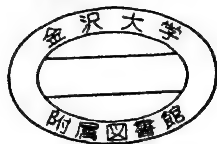
定価　本体1,800円+税





ISSN 0228-3775

日本文芸論叢



第十二号

平成十年三月

東北大学文学部国文学研究室

谷崎潤一郎「少年」における「眼瞼の裏の明るい世界」の形象

――〈光〉を巡る幻想の論理――

森岡卓司

一

ある級友との関わりを深めてゆく中で「眼瞼の裏の明るい世界」を見るに至る不思議な子供時代の体験を、およそ二十年を経過した時点の語り手が回想するという構成を持つ「少年」(『スバル』 明治44・6)は、次のように語り出される。

> もう彼れ此れ二十年ばかりも前にならう。漸くわたしが十くらゐで、蠣殻町二丁目の家から水天宮裏の有馬学校へ通つて居た時分――人形町通りの空が霞んで、軒並の商家の紺暖簾にぽか〳〵と日があたつて、取り止めのない夢のやうな幼心にも何となく春が感じられる陽気な時候の頃であつた。

この冒頭部分には、「刺青」などとの書き出し(舞台設定)におけるある種の類似、またはほぼ同時代に発表された北原白秋『思ひ出』(東雲堂 明治44・6)に代表されるような「追憶文学」的要素の流入など、様々な観点からの分析を加えることが可能であろう。が、まずは(冒頭に示した要約にも明らかなように)テクスト全体に、さらには谷崎文学全体に通底する〈光〉のモチーフが既に登場していることに注意を向けておこう。

「少年」の研究史においてはこれまで一貫して、日常性と乖離した世界、すなわち〈異界〉と呼ばれるテーマが取りあげられ、論じられてきた。[1] その〈異界〉概念の取り扱い方は勿論各論者によって様々に異なるが、塙家の内と外、あるいは日本館と西洋館という空間的設定自体を問題としてきた点において、それらの殆どは共通している。テクストに描かれてある数多くのモチーフの中で、何故そのような空間上の境界が取り立てて問題化されねばならないか問うてみるならば、「萩原の栄ちゃん」つまり少年時代の語り手「私」に体験される世界の推移の中にその答えは求められねばなるまい。その前提を無視して、「私」という基点を見失い空間的なる基準にのみ偏った〈異界〉区分及びその分析を行うならば、それはテクストの動的な側面を見えにくくしてしまうだろうし、その故にかえって〈異界〉そのものの内実をとらえ損ないかねないからだ。よって、以上の前提に立ちながら、本稿においてはその〈異界〉的なる体験

が如何なる形で「私」に感受されていくのかを辿ってみることにしたい。テクストのなかに一貫して登場する、そして既に幾たびか指摘されている(2)ように主人公の一人の名前にも示される〈光〉のモチーフは、この際にも重要な鍵を握ることとなろう。なぜならば、「私」の体験としての〈異界〉の極が「眼瞼の裏の明るい世界」という〈光〉を巡る特徴的な修辞をもって表される世界にあるとするならば、そこに至るまでの〈光〉の表現は、看過し得ぬ役割を担っていると考えざるを得ないからである。

しかしながら、以上のような趣意をもって論述を始めるに際しては、さらに些かの留意も必要とされよう。小説の表題にも明らかなように、その「私」の体験は、あくまで「少年」期、すなわち〈子ども〉時代として、語り手に回想されるものであるからだ。そしてそこには、〈大人〉の側からの、ある種の傾向性を帯びた視線の存在が、冒頭から、極めて自覚的に宣言されているのである。「ぽか〳〵と日があたつて、取り止めのない夢のやうな幼心にも何となく春が感じられる陽気な時候の頃」といふ極めて修辞的なフレーズに、そしてテクスト内に頻用される「不思議」という言葉の存在(3)に、それははっきりと示されている。また末尾には、「彼の青大将は果して本物だか贋物だか、今考へて見てもよく判らない。(4)」と、真偽の判断を宙吊りにしながら自らの〈子ども〉時代を幻想として形象化しようとする指向性を強く持った、語り手の現在から投げかけられる一文が置かれる。

このように、自らの〈子ども〉時代をある種のバイアスをかけた上で扱う方法は、同時代的には「追憶文学」と呼ばれ、耽美派の手法として広く行われたものであった。高村光太郎の次のような文章は、同時代におけるその方法意識の最も代表的な注解となっている。

　但し、追憶は、魂がただ昔に返るのではない。飽くまでも、今の心と今の体とに住して昔の世界を眺めるのである。住する地を問題の外にして、遠く瞳を放つのである。その瞳が疲れて、ふと、自分の立つてゐる地に眼を落すと、其処に複雑な追憶情調が涌いて来る。進歩した電動力機の前に立つて、フランクリンの凧を思ふ時のやうな神秘をも感ずる。(5)

ここで問題とされているのは、〈大人〉の立場から、必然的に発する歪みを十分に自覚した上で〈子ども〉の世界をとらえた後にはじめて「自分の立つてゐる地」に発生するとされる「情調」の存在である。「少年」における〈子ども〉のあり方にも、同様の態度を持ってあたることは、ある程度の妥当性を持とう。先述のような自覚を持つこのテクストに、実体としての〈子ども〉そのものを直接に見ようとすることは無益なことと言わざるを得ない。そうではなく、それが「眼瞼の裏の明るい世界」に至るまでの幻想世界の論理によって如何に形象化されているかを問わねばならない。

二

物語が動き出す以前、信一は学校で「誰も〳〵遊び相手になる者のない」全くの弱者であり、その状況の中で他の多数の子供たちと同じく「私」も彼に対して「日頃は弱虫だの何だのと悪口を云つていぢめ散らし」すという態度をとってきた。しかし、その「私」は、初めて塙家に招きを受けた夕方、自分の家に帰るころには「あの立

派な子供と仲好しになるのかと思ふと、何となく嬉しい気持がして」とまで言うようになる。では、「私」が態度を百八十度変更する契機となるのは、いったい何であろうか。西荘保は、「親の姿はなくとも存在は示され、さらには親の権威が、少年たちの遊びの世界にもはっきり影響を及ぼしている」と、このテクストに描かれる〈子ども〉四人の関係に影響を与える〈大人〉の存在の重要性を強調しているが、[6]その影響はここでも見逃すことが出来ないだろう。以下にはその指摘を、より「私」の体験に沿った形で敷衍することを試みたい。

「私」は「緋の打ち紐で括つたやうな口から、優しい、おづ〳〵した声」を出し「訴へるやうな眼差」を向ける信一に「少しうろたへ」た後、「有繫良家の子息だけに気高く美しいところがあるやうに思」う。また、「附添の女中」に「成る可く大人しいお可愛らしいお友達を誘つてお連れ申すやうにお母様のお云ひ附けがあつたものですから」と言われて、「心中得意にな」り、「わざと殊勝らしい答をした」りする。信一が学校という枠組みの中で弱い立場にあるのは、「附添人の女中を片時も側から離した事のない」という、ほかの子供とは異なる彼の家庭環境の表徴のためであり、そして、同じくその表徴の故に「私」は彼から声をかけられることに戸惑いを見せ、その結果彼の美しさ、立派さを認めている。「私」にとって、常に「附添の女中」を従えている信一の価値は、学校以外の社会の評価軸に支えられており、「私」は、「大人しいお可愛らしい」という言葉で自分をその他大勢の子供達から差別化し、その社会における評価軸上の優位性を与える「附添の女中」、さらには彼女の言葉の中に現れる「お母様」に対して心を動かすのである。

が、ここで忘れるべきでないのは、信一を支える〈大人〉社会における評価基準の根幹を、例えば信一の母親といった特定の存在、もしくはその経済的優位を支える当時の社会的構造等に実体化して把握することの危険性である。その何れも、このテクストの中には明確な形を取って登場してはいない。である以上、そのような評価基準は、あくまでそれを看取する側との関わりにおいて把握しておく必要があろう。何らかの超越的な評価基準と自己との間の整合及び不整合を問題にする感覚を〈正しさ〉の感覚と呼ぶならば、事後的遡及的に見いだされる〈正しさ〉の起源よりも、ここでの「私」が常に〈正しさ〉にとらわれた存在である、ということそのものこそが問題とされねばならない。[7]「お母様」を含めたそれら超越的なる具象の不在は、逆に〈子ども〉にとって予め内在化された、そして絶対に動かしようのない与件としての評価基準、すなわち制度の存在を証立てているものと考えられよう。

小関和弘も指摘するように、[8]「私」が塙の屋敷に入るに際して感じる戸惑いと不安とにも、〈大人〉の評価軸の存在は影を落としている。「長い〳〵塀を繞らした厳めしい鉄格子の門」の前で、「私」は逡巡する。いくら塙家に招待されたとはいえ、普段の「私」は「髱屋の幸吉」や「船頭の鉄公」と遊ぶ子供であり、この日も彼らの目を逃れるように屋敷まで辿り着いたのであり、「何となくさびれたやうな閑静な一廓」の中に「いかにも物持の住むらしい」威厳を備えている塙の屋敷の前で、「貧乏人の子供達」と「表門の番人」との二極に直面させられ、「貧乏人の子供達」と同様に「裏木戸」に

回ることを選択せざるを得ないのは、ごく理性的な「私」の〈正しい〉判断の結果である。屋敷内部の壮観を目の当たりにして、自らと信一との隔たりを意識し「もうとても今日は会へないやうな気」になるのも、「私」が塙家、そして信一に何を見ているかを考慮に入れるならば、当然のことと理解されるだろう。

屋敷の中で催される祭りの中で「私」はいっそう不安を募らせることになるのだが、そこで「私」にかけられる声と「私」の反応とにも、同様の注目をしておこう。「お銭は要らないんだよ」「お銭がなくつても上げるんだよ」という台詞が「私」を「お銭」のない子供として見なすことで「情けない声」や「胸にこみ上げて来」る「悲しさ」は呼び起こされている。「真紅に染めたお菓子の切符」を手渡されたときの悲嘆は、〈与える／与えられる〉という金銭的権力的な関係、〈大人〉の評価軸を基準とした関係の中において、塙家に対する自らの位置を確認させられた「私」のものであろう。そのような通過儀礼を経た後であるからこそ、「お母様」を代弁する「附添の女中」に発見され、「かう云ふ卑しい子供達の中でお遊びになつてはいけません」と差別化し、内在化された評価基準を遵守しながら〈正しく〉評価を引き上げる声をかけられ、「私は思はず涙ぐんで返事が出来な」い程に感動し、安堵を覚えるのである。[9]

塙家の持つ〈大人〉社会の論理、すなわち学校社会とは異なった、しかしそれより強固且つ強大なる現実的な制度の中に、信一、光子、仙吉の三人のみならず、一見局外者にも見えかねない「私」までもが取り込まれるこの過程には注意を払っておいてよいのではないだろうか。新保邦寛は「少年」内部の世界を、父親を手本とするパトリズム原理（新保によれば明治社会はこの典型だとされる）と、母親を手本とするマトリズム原理とによって分別し、仙吉に代表される前者から光子に代表される後者への移行を見る。[10] 確かに、学校社会から塙家へという「私」の道行きには、明治的な男性ホモソーシャリティーからの離脱を一面において認めることが出来るかも知れず（信一の姿は、「チヤリネの美人」や「芝居の子役か雛妓の手」といった女性的な形容をもって語られていたはずである）、信一に惹かれた「私」の心理には自らと異質なるものに対するロマンティックな憧憬が働いていたであろうことも想像に難くない。しかしながら、信一を中心とする世界に限っては、与件的な論理に支えられた〈正しさ〉を支えとするという点において、それは学校社会と何ら変わるところがないとも言うことが出来る。塙家内部において「私」が信一とついに邂逅を果たす場面は次のように描かれる。

あの臆病な子が、何処を押せばこんな元気の好い声が出るのだらうと、私は不思議に思ひながら、見違へる程盛装した友の様子をまぶしさうに見上げた。黒羽二重の熨斗目の紋附に羽織袴を着けて立つた姿は、縁側一杯に照らす麗かな日をまともに浴びて黒い七子の羽織地が銀沙のやうにきら／＼光つて居る。

学校とは反転したこの位置関係、「私」が信一を「まぶしさうに見上げ」るという構図は、明らかにこの時点の、そして今後塙家の日本館において展開される関係の力学を示唆するものである。ここで、「私」の眼前に信一の身体が〈光〉に照らされるものとして登場することの含意は深い。信一の身体は、決してそれ自体としてではなく、いわば超越的なる判断基準の象徴ともいうべき〈光〉[11]に受

け身的に照らされることによって、「私」をまぶしがらせる。信一は、〈大人〉社会の論理における〈正しさ〉の枠内において、「私」にとっての上位に顕在するのである。[12]

三

〈大人〉社会の論理が支配する制度的関係の内に君臨する信一に比べ、光子は、同じく塙家の一員でありながら、「毎日喧嘩して泣か」されることで信一の優位性の確認のために利用されるという、三者間においての弱者の立場にある。このテクストに父親が登場しないこと、そして信一の権威を支える存在として、幾たびか女中の口に上るのが「お母様」であったことも、妾腹の彼女が置かれる立場を浮き彫りにしていよう。「狐ごつこ」の「私と仙吉と二人の田舎者が狐退治に出かけると、却つて女に化けた光子の狐の為めに化かされて了ひ、散々な目に会つて居る所へ、侍の信一が通りかゝつて二人を救つた上、狐を退治てくれると云ふ趣向」は、ほぼ類型的な共同体創造神話であると言ってよい。敵を退治した英雄の権力が誇示されることで、構成員は英雄に帰属し、集権的共同体が成立するのである。光子に刻まれたバルネラビリティー（攻撃誘発性）[13]は、制度を補完、強化するためのものであった。もちろんそのことは、信一と光子との間に交わされるやりとりを見る塙家訪問の当初から「私」に強く意識されてもいる。

今述べたような役回りを押しつけられていた彼女が決定的な変身を遂げるのは、「狐ごつこ」が一段落した直後の場面においてである。

> 定めし又一と喧嘩持ち上るだらうと待ち構へて居ると、
> 「誰かに見つかるときまりが悪いから、そうッとお湯殿へ行つて落してきたの。——ほんとに皆乱暴だつたらありやしない」
> と、光子は物柔かに恨みを列べるだけで、而もにこ〳〵笑つて居る。すると信一は図に乗つて、
> 「今度は私が人間で三人犬にならないか。私がお菓子や何かを投げてやるから、皆四つ這ひになつて其れを喰べるのさ。ね、いゝだろ」と云ひ出した。
> 「よし来た、やりませう。——さあ犬になりましたよ。わん、わん、わん」
> 早速仙吉は四つ這ひになつて、座敷中を威勢よく駆け廻る。其の尾について又私が駆け出すと光子も何と思つたか、
> 「あたしは雌犬よ」
> と、私達の中へわり込んで来て、其処ら中を這ひ廻つた。

それまで、「勝ち気」な性分を発揮し、抵抗を繰り返していた光子は、ここで「私」に「何と思つたか」との困惑をもたらす程までに態度を大きく転換し、明らかな誘惑の姿勢を見せる。「いぢめられるのを喜ぶやうな素振り」を見せ、また後には「手頸をじり〳〵と捻ぢ上げ」られながら「拝むやうな素振りをしたが、別段大声を挙げるでも逃げようとするでもなく為すが儘に手を捻ぢられて身悶えし」、バルネラビリティーを逆に利用するのである。そして、ついには自分の支配する領域である西洋館に「私」と「仙吉」とを連れ込むことに成功する。

その、彼女に誘惑されて「私」が訪れることになる西洋館は、次

のように登場していた。

「あれは姉さんがピアノを弾いて居るんだよ」

「ピアノつて何だい」

「オルガンのやうなものだつて、姉さんがさう云つたよ。異人の女が毎日あの西洋館へ来て姉さんに教へてやつてるの」

かう云つて信一は西洋館の二階を指さした。肉色の布のかゝつた窓の中から絶えず洩れて来る不思議な響き。或る時は森の奥の妖魔が笑ふ木霊のやうな、或る時はお伽噺に出て来る侏儒共が多勢揃つて踊るやうな、幾千の細かい想像の綾糸で、幼い頭へ微妙な夢を織り込んで行く不思議な響きは、此の古沼の水底で奏でるのかとも疑はれる。

ピアノの音が、光子の魅力を最も強く示す、彼女の存在の象徴とも言うべきものになっていることは、従来繰り返し指摘されてきた。「私」にとって未知の楽器であったピアノは、内部にある様々な文物、「異人の女」そして西洋館という建物自体の性質とも相俟って、その弾き手である光子のひとつの側面を明確に示している。小関和弘はこのような光子＝ピアノ的な特色と水のイメージとを重ねることから、不定形という特色を示してみせるが[14]、本稿の文脈において、その指摘は以下のようにとらえ直される必要がある。

「お母さん」によって例外的に隔離された（確認するまでもないが、日本館における彼女の部屋は、女中によって信一に遊び場として宛われていた）西洋館は、〈大人〉の論理の中で〈正しく〉上位にある信一、そして彼と共にいる「私」とって決して手の届かぬ場所であり、そこに姿を隠している彼女は、確定的に把握することが不可能であり、それ故にどのようなロマンティックな想像、憧憬をも許す対象となる。この点においては、信一に惹かれたのと同様の心理が「私」の中に働いていたと考えるべきであろう。そして勿論、このようなロマンティシズムの構造を充分に利用する形で光子の誘惑は発動する。

しかしながら、その「私」の憧憬を誘うものに目を向けるならばどうだろうか。西洋館の二階から聞こえてくるはずのピアノの音は、時として「古沼の水底から奏でる」ようにも思われ、その出所を把握することすら「私」にとっては困難なものと感じられるのであった。常に与件的なるなにものかに評価される現実的な信一のあり方と、以上見てきたように、ピアノを奏で、「幾千の細かい想像の綾糸で、幼い頭へ微妙な夢を織り込んで行」き「ecstacy」を誘発し、「微妙な夢」のうちに「私」の輪郭を解体させるかのような、現実の身体的な直接性を離れた極めてエロティックな光子のあり方とは、決定的なまでにその質を違えていると言わざるを得ない。

「私」が夜自宅を抜け出して西洋館へと向かうとき、最初の訪問時と同じく「私」の心中には不安が引き起こされるのだが、その不安の質は前回とは全く異なるものとして描き出されている。西洋館に向かう「私」は「薄曇りのした黒い空が、ぼんやりと赤く濁染んで」見えるほどに賑々しい町を通り抜け塙家に到着した後に、静寂と暗闇、そこにある「いろ〳〵と少年の心を怯えさすやうな姿勢を取つた黒い物」によって「頭上へ蓋さつてくるやうな恐怖」に戦慄く。この情景描写も、「閑静な一廓」にあり「奥床しい構へ」と見える家の内側で行われる祭りの賑わい中でかえって孤独を感じる最

初の訪問時とは対照的であると言いうるのだが、より重要な相違は続く場面において認められる。

あゝ、こんな恐ろしい所へ来なければ好かつた、と思ひながら、

「神様、私は悪い事を致しました。もう決してお母様に嘘をついたり、内證で人の家へ這入つたり致しません」

と、夢中で口走つて手を合はせた。

すつかり後悔して、帰る事に決めて立ち上つたが、ふと玄関の硝子障子の扉の向うに、ぽつりと一点小さな蝋燭の灯らしいものが見えた。

「おや、二人共先へ這入つたのかな」

から思ふと、忽ち又好奇心の奴隷となつて、殆ど前後の分別もなく把手へ手をかけ、グルッと廻すと造作もなく開いて了つた。

この場面については既にいくつかの言及があり、例えば大野隆之は「日常生活を支える何ほどか超越的なもの」としての「神様」と光子との「二者択一を迫られ」、結局光子を選び取る場面であると注解を加えている[15]。妥当な注解であろうが、より詳しく検討しようとするならば、一方の存在を否定し、他方の存在を受け入れるといった明確な形での選択がここでなされるわけではないことに注意を向けねばならない。「神様」は単に意識の外に追いやられるのみであり、「私」の意識の中には「殆ど前後の分別もな」い。その「神様」は、欺いてはならない「お母様」の権威、もしくは「内證で人の家へ這入」ること禁止する社会的ルールの権威を守るものとして「私」の口に上る。本稿の文脈に照らすならば、大野の指摘に言う「日常生活を支える何ほどか超越的なもの」とは、先に見た信一の「お母様」と同様、一定の枠内における〈正しさ〉を支えるものとして「私」に見いだされた超越的なるなにものかの象徴である、とすることが可能であろう。彼女の手によって灯された蝋燭の灯によってかき立てられた「私」の「分別もな」い「好奇心」は、それを意識の外に追いやり、判断を留保した上で無視する、ドゥルーズに倣って言うならば〈否認〉[16]するのである。そこには、塙家で行われた祭りを通して〈大人〉の論理への参入を確認させられたような、別種の規範への移行・選択を見ることは出来ない。「私」が「好奇心」をかき立てられるのは、何かの論理、確定した枠組みではなく、先に言及したような性質を持つ西洋館に身を隠すことで、「私」にとって想像的、官能的な対象となっている光子そのものである。以上の意味において、この西洋館訪問の場面と信一を訪ねた最初の塙家訪問の場面とは、全く異なる性格を持つと言わねばならない。

光子が「私」に見いだされる様をここまで検討してくる時、先に彼女がある種の変身を遂げる場面として引用しておいた箇所の直前に、彼女の姿が次のように「私」の目に映っていたことが、重要な意味を担って想起されるであろう。

信一が空嘯いて威張つて居る所へ、今度はすうッと徐かに襖が開いて、光子が綺麗に顔を洗つて戻つて来た。餡と一緒にお白粉までも洗ひ落して了つたと見え、却つて前よりは冴え〲として、つやのある玉肌の生地が一と際透き徹るやうに輝いて居る。

ここにも〈光〉の修辞が効果的に使われているが、その〈光〉の描かれ方は、信一の身体を照らす〈光〉の場合とは微妙に、しかし

ある意味では明確な対照を成している。信一のように受け身的に照らされるのではなく、「餡と一緒にお白粉までも洗ひ落」すことで「つやのある玉肌の生地が一と際透き通るやうに輝」き、恰も彼女の身体自体が秘め持っていた〈光〉を解き放ち出すかのように描かれると共に、彼女の本領も徐々に発現して行くのである。

信一と光子とは、共に鮮やかな〈光〉をもって現れ、「私」に印象される。しかし、信一はなにものかに照らされる身体として、光子は自ら光る身体として、それぞれ描き分けられていることになる。ここまでの考察を踏まえるならば、「私」にとって、光子の存在が信一のそれとは明らかに異なることを示唆するものとして、その身体にまつわる〈光〉の描かれ方の違いを理解することが可能なのではないか。そして、他から評価されるような〈正しさ〉を離れた光子に導かれて、「私」の〈異界〉的なる体験も劇的な転換を迎えることとなるのである。

四

「私」の目に映る西洋館内部での出来事には、既に多く指摘されるごとく、先に確認した「ピアノ」の音色にも現れたような光子の特色が色濃く投影されている。例えば、本物か偽物か幾度も判断を覆した後にもはっきりと決定しがたい蛇の置物、「西洋の乙女の半身像」の下の「油絵に描いてある通りの乙女」の登場、そして呼びかけられて彼女が光子であることに気づき「始めて、彼の油絵が光子の肖像画であることに気が付」くといった絵画と光子とのいわば循環的な錯綜した認識と、それらは確実な正体を見極めがたいものとして「私」に感じられる。日本館に到達するまでの通過儀礼が現実的な〈大人〉の論理を「私」に認知させる役割を担っていたとするならば、感覚的把握とその錯綜とを強く押し出す西洋館における体験は、そのような認知を逆に混乱させる働きを担うと言えよう。

そのエピソード群の中で、最も重要な位置を占めることになるのが次に挙げる挿話である。

光子は私の手頸を放して、何処かへ消え失せて了つたが、やがて部屋の正面の暗い闇にピシピシと凄まじい音を立てゝ、細い青白い光の糸が無数に飛びちがひ、流星のやうに走つたり、波のやうにのたくつたり、図を画いたり、十文字を画いたりし始めた。

「ね、面白いだろ。何でも書けるんだよ」

から云ふ声がして、光子は又私の傍へ歩いて来た様子である。今迄見えて居た光の糸はだん／＼に薄らいで暗に消えかゝつて居る。

「あれは何?」

「燐寸で壁を擦つたのさ。暗闇なら何を擦つても火が出るんだよ。栄ちやんの着物を擦つて見ようか」

「お止しよ、あぶないから」

私は吃驚して逃げようとする。

「大丈夫だよ、ね、ほら御覧」

と、光子は無造作に私の着物の上ん前を引つ張つて燐寸を擦ると、絹の上を蛍が這ふやうに青い光がぎらぎらして、ハギハラと片仮名の文字が鮮明に描き出された儘、暫くは消えずに居る。

「私」の名前が、光子の手によって「青い光」の文字として描かれることの意味は決して軽くない。「私」の西洋館への道行きは、光子の手によって灯された〈光〉に誘われたのであった。先に見た光子の手の身体をめぐる〈光〉の修辞を併せて考慮に入れるならば、光子の手によって灯された「青い光」は、彼女のあり方そのものに重なるだろう。そして、名指された「ハギハラ」すなわち「私」の身体も、「無数に飛びちが」う〈光〉の中に転移されることになる。だとするならば、その〈光〉が、やがて定まった形を残すことなく消えてしまう燐寸のそれであることの意味はどのように理解すべきであろうか。

　この後の挿話に、「私」が仙吉と共に燭台代わりにされることが語られるが、この場面と物語の前半、信一、仙吉、「私」の三人が狼と旅人とに扮した遊戯の場面とが明らかな対照を示していると考えられよう。この二つのシーンは、虐待される仙吉を見ながら「私」が自らに起こるであろう出来事を期待する点において全く共通するのである。しかし、言うまでもないことだが、むしろ、そこにおいて際立つ違いにこそ注意は向けられねばならない。

　信一に弄ばれる場面においては、「甲斐絹の羽織の裏のさやくとこすれて鳴る」音、「着物から放つ樟脳の香」、そして「潤ほひのある唇や滑かな舌の端」と、五感を通じて信一の現実の身体を直接に感受することが快楽の要件となっている。まさにその要件のために、「穢い」事を叱る女中の出現によってその快楽は否定、中断されることとなり、「私」は「何か余程の悪事でも働いた後のやうな気になつて立ちすく」み、罪の意識を感じる。光子が「縮緬の裾をまくつて、真つ白な右足の脛に印せられた痣の痕を見せ」る場面に明らかなように、「私」が参入する以前のそれも含め、信一を中心にした遊びが、常に身体に何らかの確かな「痕」を伴うものであったことも想起しておいてよい。後には「私」は、母親に自らの身体に付いた「傷痕」を見つけられ、罰せられることに怯えるのである。この快楽の享受に対する罪意識は、端的に言って快楽の源泉たる現実の身体そのものに由来している。

　一方、光子によって両手両足を縛り上げられた「私」は、身体的に自由を奪われているかに見えるが、この拘束は実は装われたものである。「私」は「眼も口も塞がれ」たと言いながら、「隣にすわつて居る仙吉の方を横目で微かに見」てもいるのだ。安田孝も指摘するように「顔中へ饂飩粉に似た白い塊が二三分の厚さにこびり着いて盛り上り、牛蒡の天ぷらのやうな姿をしてゐる」奇怪な仙吉に自分の似姿を見、想像をたくましくする「私」は、しかし決して光子の姿、そして自分の身体を確認しようとはしない。[17] 感覚的な惑乱の果てに現出するこの疑似拘束によって、まさしく現実的な身体はその存在を〈否認〉されているのだと理解してよいだろう。そして「丁度二人は「浮かれ胡弓」の噺の中の人間のやうに、微妙な楽の音に恍惚と耳を傾けた儘、いつまでもいつまでも眼瞼の裏の明るい世界を視詰めてすわつて居た」と、「二人」に数えられる当事者には、物理的には全く不可能であったはずの（ということは、いくら年月を経ても語る事が出来ないはずの）把握、想像裡にある他ない情景を「私」は語り出す。「私」は、虐待される現実的な身体そのものではなく、その現実的な身体が虐待されているであろうとする想像

の内に、快楽に耽るのである。そして、その想像の世界こそが、「私」を魅了する〈光〉そのものを、光子の身体の直接性からすらも離れて内在化させる、「眼瞼の裏の明るい世界」として語られるものだったのである。

以上のように論述を進めてくるならば、「私」の名前が、形を長くはとどめぬ燐寸の〈光〉に書かれることの意味は、「私」における現実的な身体性の離脱と想像的世界の仮構とにおいてこそ認められねばならない。

五

信一を中心とした日本館における遊びがその終焉を迎えざるを得なかった原因について本稿に述べてきたことは、ごく簡潔には、単純なロマンティシズムの挫折と言い換えられるであろう。

「私」が学校社会の論理から離脱して、信一に別様の論理を見いだそうとするならば、その運動は必然的に元の地点である学校社会に相似しあるいは準ずるような論理体系の中に落ち着かざるを得ない。つまり、憧憬に導かれ、その実現を指向する行動は、常に失敗に終わらざるを得ないのである。

また同様に、光子について述べてきたことも、現実的要素の宙吊りと高次の想像的視点の仮構との中に、憧憬を憧憬のままに内在化する過程として言い換えることが出来よう。「長く此の国の女王」となる光子に、信一と同様の性質を認めることが一見可能であるかのごとく思われるが、それが「今考へて見てもよく判らない」とする「私」の姿勢によって支えられていることの重要性は、以上の論述に最早明白であろう。そのような憧憬の内在化こそ、「私」の体験の、そしてこのテクストにおける幻想の論理の極点だったのである。

付記

「少年」の引用は、中央公論社版『谷崎潤一郎全集』第一巻（昭和41・11）に拠る。なお、引用に際して適宜旧字体を新字体に改めルビを省略した。

注

（1）笠原伸夫『谷崎潤一郎　―宿命のエロス―』（冬樹社　昭和55・6）などをその嚆矢として挙げ得る。

（2）例えば西荘保「「少年」における光子像」（『稿本近代文学』13号　平成1・11）は、谷崎作品の中に「性的エネルギーを武器に、己不憫など毛頭もなく、苦境からしたたかに伸し上がっていく女性」、「光かがやく子、「光子」」の系譜を見いだすことが可能であると指摘している。谷崎の文学活動を通時的に俯瞰した場合、確かに検討に値する課題であろうが、本稿においては、「少年」というテクストにとどまり、その内部において喩としての〈光〉が物語の進行とどのような関係を取り結んでいるのか、より詳細に検討することを目する。

（3）このテクスト内に「不思議」という語が頻用されること自体については、注（1）前掲笠原論文などによって既に指摘さ

れている。

（4）「幻想」の定義は、ツヴェタン・トドロフ『幻想文学　構造と機能』（渡辺明正　三好郁郎訳　朝日出版社　昭和50・2）に拠るが、注（1）前掲笠原論文は、「そこは幻の界域であったのか、ケの幻想論を参照しながら、グスタフ・ルネ・ホッ一回的な悪の砦か、いずれにしても〈迷宮〉の中心部は、迷路の彼方にあり、徹底して不可解であるからこそ畏怖すべき場所でありつづけたのである」と、その幻想性を指摘している。

（5）高村光太郎「北原白秋の「思ひ出」」（『文章世界』明治44・9）

（6）西荘保「谷崎潤一郎『少年』―禁断の西洋館あるいは母親離れの物語―」（『稿本近代文学』20号　平成7・11）

（7）大澤真幸『身体の比較社会学Ⅰ』（勁草書房　平成2・4）は、近代的主体において、超越性はむしろ主体によって転倒的に錯視、産出されることを詳解している。

（8）小関和弘「谷崎潤一郎「少年」の世界」（『人文学部紀要』（和光大学）20号　昭和61・3）

（9）直前に描かれる「いらないよ、いらないよ」という「私」の懸命な拒絶とそれに続く諦めとは、自分が招待された客であり、常とは違って屋敷内に引き上げられるはずであるという期待、そしてその期待が実現されそうにないことへの落胆を示していた。そしてここでも、「私」は周囲から与えられる規制を乗り越えて屋敷に乗り込もうとはしないのである。

（10）新保邦寛「「少年」を読む　―谷崎潤一郎・初期小説論のために―」（『北海道教育大学紀要　第1部Ａ　人文科学編』36巻2号　昭和61・3）

（11）アンソニー・シノット『ボディ・ソシアル　身体と感覚の社会学』（高橋勇夫訳　筑摩書房　平成9・12）は、聖書や神話、または現代的なポップ・ミュージックの歌詞等、ある種のテクストにおいて、世界を照らし出す「太陽の光」が規範・超越としての神の寓意として働いていること指摘しているが、信一を照らす〈光〉も同様の性質を帯びていると考えることも出来るであろう。

（12）学校に再び戻ると、その社会のルールに従って「意気地なし」に戻っている信一の姿は、ここに言及したような彼の性質を証し立てるものであろう。

（13）東郷克美「子ども・遊び・祭り―谷崎潤一郎の快楽―」（『国文学』38巻14号　平成5・12）

（14）注（8）前掲小関論文

（15）大野隆之「谷崎潤一郎「少年」―光子という〈通路〉―」（『論樹』4号　平成2・9）

（16）ジル・ドゥルーズ『マゾッホとサド』（蓮實重彦訳　晶文社　昭和48・7）

（17）安田孝「谷崎潤一郎「少年」をめぐって」（『人文学報』146号　昭和56・1）

日本文芸論叢　第十二号

平成十年三月二十四日　印刷
平成十年三月三十一日　発行

編集兼発行者　仁平道明

発行所　(〒九八〇－八五七六)
仙台市青葉区川内
東北大学文学部
国文学研究室
電話〇二二(二一七)五九五七

印刷所　株式会社　仙台共同印刷